注3

大学番号:私立064

[令和2年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1



麗澤大学 国際学部国際学科 麗澤大学 国際学部グローバルビジネス学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 廣池学園 令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学事務局大学アドミニストレーションオフィス

職名・氏名 課長補佐 柳原佳弘

電話番号 04-7173-3601

(夜間)

F A X 04-7173-1100

e — mail DSyomuka@ad.reitaku-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

• 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際学部

<≣	国際学科>	^°-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	11
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	12
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	13
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	30
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	31
< ク	ブローバルビジネス学科>	^°-	-ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	36
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	40
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	46
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	47
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	48
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	65
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	66

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人廣池学園

- (2) 大 学 名 麗澤**大**学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ヒロイケ モトタカ) 廣 池 幹 堂 (平成元年2月)		
学長	(トクナガ スミノリ) 徳 永 澄 憲 (平成31年4月)		
学 部 長	(ノバヤシ ヤスヒコ) 野 林 靖 彦 (令和2年4月)		
学科長等	なし		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 - 令和2年度に報告する内容 → (2)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称(学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1佣
国際学部 国際学科 学士(国際コ ミュニケーショ ン)	文学関係	年 4	80	年次 -	人 320	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均入学定員		備	考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期		超 過 率	の平均入学定 員超過率	VĦ	75
A 入学定員					(一) [12]				
志願者数					1084 — (-) (-) [35] [-]				
受験者数	_ / _				1009 — (-) (-) [33] [-]	0. 91倍	-		
合格者数					490 — (-) (-) [26] [-]				
B 入学者数					73 — (-) (-) [22] [-]				
入学定員超過率 B/A	/	/		/	0. 91				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	8年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和 2	2年度	 備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	ин	, ,
		_	_	_	_	_	_	_	_	73	_		
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[22]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
				1	_	_	_	_	_	_	_		
	2 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						-	_	_	_	_	_		
	3 年次					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
						(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
								_	_	_	_		
	4 年次							[-]	[-]	[-]	[-]		
								(-)	(-)	(-)	(-)		
		-	_	_	_	_	_	-	_	7	3		
	計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[2	2]		
		(-	–)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)		

- ・令和2年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	+v 4r	主な退学理由
対象年度	在于·自然(b)	运于 自奴(a)	入学した年度	退字	者数	(留学生の理由は[]書き)
					うち留学生数	
平成28年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
平成29年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
十级25千及	X	X	平成29年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
平成30年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
令和2年度	73 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下・・学力不足・・他の教育機関への入学・転学 •海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#VALUE! % 平成28年度の在学者数(b) 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) **#VALUE!** 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) **#VALUE!** % 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) **#VALUE!** % 令和元年度の在学者数(b)

【令和2年度】

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a)

令和2年度の退学者数(a) % 令和2年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 国際学科>

(1)一① 授業科目表

【届出時】

【令和2年度】

	щ	- <u>-</u>			単位数	≸ ∀	声	[仁学	て 員等	の型	置	兼			<u></u> -1	- 皮』		l	単位数	tr	声	(4数	·旨笙	の配	青	兼
科目	図分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准		助		ポ 任・	科	目図タ	分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	X 自	教	准	講	助	助	任・新
<u> 202 2-1</u>	., .			修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担	3211	· 1	1 -			修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
学基礎専		[【] 社会活動演習 I	1前		1							1	学 基 科 磁		I	社会活動演習 I	1前		1							1
専専		社会活動演習Ⅱ	1後		1							1	専専	Ī	С	社会活動演習Ⅱ	1後		1							1
門門科目目	<u> </u> _/	IEC基礎演習 I	1前		1		1						門門科科		A	IEC基礎演習 I	1前		1		1					
目目	君	A IEC基礎演習 II	1後		1		3	1		1		,	科科目目		群	IEC基礎演習Ⅱ	1後		1		4	2		0		
	^木	纠 国際交流演習Ⅲ 目 国際交流演習Ⅳ	2前 2後		1							1			科	国際交流演習Ⅲ 国際交流演習IV	2前 2後		1							1
	$\prod_{i=1}^{n}$	国際協力演習皿	2版 2前		'		1					'				国際協力演習Ⅲ	2版 2前		1		1					'
		国際協力演習Ⅳ	2後		1		'									国際協力演習Ⅳ	2份		1		' 1					
		社会学概説	2前		2		'									社会学概説	2前		2		1					
		国際関係概説	2後		2		1									国際関係概説	2後		2		1					
		国際文化概説	2前		2		1									国際文化概説	2前		2		1					
	J	Global Studies I	1前	2			1	2		1		2		J	1	Global Studies I	1前	2			2	3		0		1
	I	Global Studies II	1後	2			1	2		1		2		C		Global Studies II	1後	2			2	3		0		1
		Global Studies Ⅲ	2前	2			2	1		1		2		ľ		Global Studies Ⅲ	2前	2			2	2		0		2
	A 群	Global Studies IV	2後	2			2	1		1		2		A 群		Global Studies IV	2後	2			2	2		0		2
	科	Japan Studies A	2前		2							1		科		Japan Studies A	2前		2							1
	目	Japan Studies B	2後		2							1		目		Japan Studies B	2後		2							1
		国際日本学入門	1前		2			1								国際日本学入門	1前		2			1				
		Japan Studies 一日本文化·事情一	2前		1							1				Japan Studies 一日本文化·事情一	2前		1							1
		JICアカデミックスキルズ I	1後		1			1								JICアカデミックスキルズ I	1後		1		1	0				
		JICアカデミックスキルズ Ⅱ A	2前		1			1								JICアカデミックスキルズ Ⅱ A	2前		1			1				
		JICアカデミックスキルズ II B	2前		1		1									JICアカデミックスキルズⅡB	2前		1		1					
		JICアカデミックスキルズⅢA	2後		1			1								JICアカデミックスキルズⅢA	2後		1			1				
		JICアカデミックスキルズⅢB	2後		1		1									JICアカデミックスキルズⅢB	2後		1		1					_
		Japan Studies in English I	1前		1							1				Japan Studies in English I	1前		1			1				0
		Japan Studies in English II	1後		1							1				Japan Studies in English II	1後		1			1				0
		多文化共生A	1前		1							1				多文化共生A	1後		1		1					0
	Η	日本語と世界	1後		2			6						\vdash	J	日本語と世界	1後		2			6				
		多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB	2前 2後		2		6	6								多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB	2前 2後		2		7	6		0		
		サービスラーニング体験実習A	1前・後		1		1	0		'						タスル共生ノロジェクトロ サービスラーニング体験実習A(未開講)	1前・後		1		1	O		U		
		海外ボランティア実習A	2前•後		'		l '			1						海外ボランティア実習A	2前•後		1		'	1		0		
		多文化共生B	1後		'					<u>'</u>						多文化共生B	1前		1			1		0		
		社会・文化調査法	2前		2					1						社会·文化調査法	2前		2			1		0		
		日本語教育入門	2前		2			1								日本語教育入門	2前		2		1	0				
		日本語教授法の基礎	2後		2							1				日本語教授法の基礎	2後		2							1
		記号と文化	2後		2		1									記号と文化	2後		2		1					
		国際交流史	2前		2			1								国際交流史	2前		2			1				
		国際ボランティア論	1前		2		1									国際ボランティア論	1前		2		1					
		News Media Studies	1前•後		2							1				News Media Studies	1前•後		2							1
		Introduction to Western Culture A	1前		2							1				Introduction to Western Culture A	1前		2							1
		Introduction to Western Culture B	1後		2							1				Introduction to Western Culture B	1後		2							1
	<u> </u>	小計(42科目)	ı	8	56	0	6	6	0	1	0	12			_	小計(42科目)	-	8	56	0	9	6	0	0	0	9
上級専	. ¹	I 国際交流上級演習A	3前		1		1						上級	-	I	国際交流上級演習A	3前		1		1					
専		国際交流上級演習B	3後		1					1			専	<u> </u>	C	国際交流上級演習B	3後		1			1		0		
· 門 科 目		国際協力上級演習A	3前		1		1						門			国際協力上級演習A	3前		1		1					
目目		A 国際協力上級演習B	3後		1		1						科目		群	国際協力上級演習B	3後		1		1					
	和 	料 国際協力論 目 同歌 4 0 0 22	3後		2		1								科 目	国際協力論	3後		2		1					
		国際社会学	3後		2		1								-	国際社会学	3後		2		1					
	J	多文化社会研究	3後		2		l ,							J	-	多文化社会研究 Global Issues A	3後		2			'				
	I	Global Issues A Global Issues B	3前 3後		'		'			1				I		Global Issues B	3前 3後		1		'	1		0		
		World Affairs A	3前		2			1		'				С		World Affairs A	3前		2			1		U		
	A 群	World Affairs B	3後		2			'						A 群		World Affairs B	3後		2			1				
	群 科	World Affairs C	3前		2			1						群科		World Affairs C	3前		2			1				
	E	World Affairs D	3後		2			1						🗎		World Affairs D	3後		2			1				
		Japan Studies-東アジアの視点から			2			1								 Japan Studiesー東アジアの視点から			2			1				
		対照言語学の方法	3後		2			1								対照言語学の方法	3後		2			1				
		ビジネス・コミュニケーション研究	3後		2		1									ビジネス·コミュニケーション研究	3後		2		1					
		現代社会とメディア	3前		2			1								現代社会とメディア	3前		2			1				
	Г	日本文化論	3後		2		1								_	日本文化論	3後		2		1					
		意味論	3前		2		1									意味論	3前		2		1					
		日本社会研究	3前		2			1								日本社会研究	3前		2			1				
		北米社会論	3後		2							1				北米社会論	3後		2							1
		国際開発論	3前		2			1								国際開発論	3前		2			1				
			3前		2							1				文化交流論	3前		2							1
		文化交流論		_	l 1		1									サービスラーニング体験実習B	3前•後		1		1					
		文化交流論 サービスラーニング体験実習B	3前•後		l '			1	1	1 4	ı I					多文化共生プロジェクトC	3前	1	_		1 _				I	
			3前•後 3前		2		6	6		1	J					> X 10 X = V 1 0	OHII		2		/	6		0		
		サービスラーニング体験実習B			2 2		6 6	6		1						多文化共生プロジェクトD	3後		2		7	6		0		
		サービスラーニング体験実習B 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B	3前 3後 3前・後					6		1 1 1						多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B					7	6 6 1				
		サービスラーニング体験実習B 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A	3前 3後 3前·後 3前					6 6 1		1 1						多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A	3後				7 7 1	6 6 1 0		0		
		サービスラーニング体験実習B 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B	3前 3後 3前・後 3前 3後		2			6		1 1						多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B	3後 3前·後 3前 3後		2 1		7 7 1 1	6		0		
		サービスラーニング体験実習B 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B 言語コミュニティ論A	3前 3後 3前·後 3前 3後 3前		2 1 2 2 2		6	6		1 1		1				多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B 言語コミュニティ論A	3後 3前·後 3前 3後 3前		2 1 2 2 2		7 1 1	6		0		1
		サービスラーニング体験実習B 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B 言語コミュニティ論A 言語コミュニティ論B	3前 3前·後 3前·後 3前 3前 3前 3後		2 1 2 2 2 2		6	6		1 1		1				多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B 言語コミュニティ論A 言語コミュニティ論B	3後 3前·後 3前 3後 3前 3後		2 1 2 2 2 2		7 7 1 1	6		0		1
		サービスラーニング体験実習B 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B 言語コミュニティ論A	3前 3後 3前·後 3前 3後 3前		2 1 2 2 2		6	6		1 1		1				多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B 共生のための日本語論A 共生のための日本語論B 言語コミュニティ論A	3後 3前·後 3前 3後 3前		2 1 2 2 2		7 1 1 1	6 1 0		0		1

	<u>፡</u> ሂ	授業科目の名称 言語と社会 人文科学とコンピュータA 物語と人間 文法から学ぶ日本語の論理 現代表象文化論 民俗学 国際コミュニケーション論 Culture and Religion	配年 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	必修	単位数 択 2 2 2 2	自由	教 授	准教	講師	助教	助	兼任・兼担 1 1		上級専門	図分	授業科目の名称 言語と社会 人文科学とコンピュータA	配 当 年 次 3前 3前	必修	単位数 選 択 2 2	自由	教 授 1	准教	講師	助教	助	兼任・兼担
学科與專門門	<u>፡</u> ሂ	言語と社会 人文科学とコンピュータA 物語と人間 文法から学ぶ日本語の論理 現代表象文化論 民俗学 国際コミュニケーション論	3前 3前 3後 3前 3後		択 2 2 2			教 <u>授</u>				兼 担 1				言語と社会	3前 3前		択 2 2			教 授				兼 担
門門]	人文科学とコンピュータA 物語と人間 文法から学ぶ日本語の論理 現代表象文化論 民俗学 国際コミュニケーション論	3前 3後 3前 3後		2 2 2	Ш	1	技	i iii	- 教	Ŧ	1	学科専	上級専			3前		2 2	ш_	1	技	П	权	+	ഥ
門門]	人文科学とコンピュータA 物語と人間 文法から学ぶ日本語の論理 現代表象文化論 民俗学 国際コミュニケーション論	3前 3後 3前 3後		2							1	科専	級専			3前		2							
門門]	物語と人間 文法から学ぶ日本語の論理 現代表象文化論 民俗学 国際コミュニケーション論	3後 3前 3後		2		4					1	守	一节						1	1					1
科目	1	現代表象文化論 民俗学 国際コミュニケーション論	3後		2		4						P9	門		物語と人間	3後		2	1 1	1 /					1
<u>п</u>		民俗学 国際コミュニケーション論											科日	科目		文法から学ぶ日本語の論理	3前		2		1					
		国際コミュニケーション論	a		2		1							ľ		現代表象文化論	3後		2		1					
			3前		2							1				民俗学	3前		2							1
		Culture and Religion	3前		2							1				国際コミュニケーション論	3前		2							1
			3後		2		1									Culture and Religion	3後		2		1					
		Commonwealth Studies	3前		2							1				Commonwealth Studies	3前		2							1
		Gender Studies	3前•後		2							1				Gender Studies	3前•後		2							1
		Intercultural Communication	3後		2							1				Intercultural Communication	3後		2							1
		Japanese Intellectual History	3後		2			1								Japanese Intellectual History	3後		2			1				
		Modern British Culture and Society A	3前		2							1				Modern British Culture and Society A	3前		2							1
		Modern British Culture and Society B	3後		2							1				Modern British Culture and Society B	3後		2							1
		Western Music and Culture	3前		2							1				Western Music and Culture	3前		2							1
		History of US-Japan Relations	3後		2							1				History of US-Japan Relations	3後		2							1
		海外日本語教育実習A	3前		2		1									海外日本語教育実習A	3前		2		1					
		海外日本語教育実習B	3後		2			1								海外日本語教育実習B	3後		2		1	0				
		海外日本語教育実習C	3後		2		1									海外日本語教育実習C	3後		2		1					
		日本語教育実習	3前		2							1				日本語教育実習	3前		2							1
		日本語の構造	3前		2							1				日本語の構造	3前		2							1
		対照言語学研究	3前		2							2				対照言語学研究	3前		2							2
		第二言語習得研究	3前		2		4	'								第二言語習得研究	3前		2			0				
		日本語教育学研究	3前 3後		2							,				日本語教育学研究	3前 3後		2							4
		言語政策と文化交流 社会言語学研究	3後 3後		2							'				言語政策と文化交流 社会言語学研究	3後 3後		2							1
		仕会言語字研究 人文科学とコンピュータB	3俊 3前		2							'				在会言語字研究 人文科学とコンピュータB	3俊 3前		2							1
		人又科字とコンヒューダ日 意味論・語用論研究	3削3後		2							'					3削3後		2							1
		日本語文法研究	3後		2							ˈ l				日本語文法研究	3後		2							1
1 1 '		日本語指導法A	3前		2		1					Ė				日本語指導法A	3前		2		1					'
		日本語指導法B	3前		2		, i	1								日本語指導法B	3前		2		1	0				
		コミュニケーションと日本語教育	3後		2		1									コミュニケーションと日本語教育	3後		2		1					
		第二言語習得と日本語教育	3後		2			1								第二言語習得と日本語教育	3後		2		1	0				
		小計(66科目)	-	0	124	0	6	6	0	1	0	15				小計(66科目)	-	0	124	0	7	6	0	0	0	15
学育	育初	スタートアップセミナー	1前	2			2						学		育初	スタートアップセミナー	1前	2			9	3				
学部共通科目	科年目次	基礎ゼミナール	1前	2			2	1					学部共通科目		科年 目次	基礎ゼミナール	1前	2			3	0				
通	教	小計(2科目)	_	4	0	0	4	1	0	0	0	0	通		教	小計(2科目)	_	4	0	0	9	3	0	0	0	0
科一		観光文化概説	2後		2							1	科日			観光文化概説	2後		2							1
		観光ホスピタリティ論	2前		2							2				観光ホスピタリティ論	2前		2							2
		観光フィールドワークA	2前•後		1							1				観光フィールドワークA	2前•後		1							1
		観光フィールドワークB	2前•後		1							1				観光フィールドワークB	2前•後		1							1
		観光ビジネス特論A	3前		2							1				観光ビジネス特論A	3前		2							1
		観光ビジネス特論B	3後		2							1				観光ビジネス特論B	3後		2							1
		観光デザイン論	3後		2							1				観光デザイン論	3後		2							1
		国際関係論	3後		2			1								国際関係論	3後		2			1				
		国際法	3前		2		1									国際法	3前		2		1					
		NPO/NGO論	3前		2					1						NPO/NGO論	3前		2			1		0		
		企業と社会	3後		2		1									企業と社会	3後		2		1					
		Corporate Social Responsibility	3後		2		1									Corporate Social Responsibility	3後		2		1					
		Population Studies	3後		2		1									Population Studies	3後		2		1					
		グローバル・ガバナンス論	3後		2		1									グローバル・ガバナンス論	3後		2		1	_				
*	太	小計(14科目)	-	0	26	0	2		0	1	0	3	\vdash		太	小計(14科目)	-	0	26	0	2		0	0	0	3
業	卒 業 研	専門ゼミナールA	3前	2			5	4		1				1	卒 業 研	専門ゼミナールA	3前	2			6	4		0		
研 穷	研	専門ゼミナールB	3後	2			5	4		1				7	研究	専門ゼミナールB	3後	2			6	4		0		
科	科	卒業研究A	4前	2			5	4		1				7	究 科 目	卒業研究A	4前	2			6	4		0		
	Ī	卒業研究B 小計(4科目)	4後 -	8	0	0	5 5	4	0	1	0	0		ĺ	目	卒業研究B 小計(4科目)	4後 -	2 8	0	0	6	4	0	0	0	0
全	道	小計(4科目) 現代社会と道徳科学A	 1前	ő	2	U	J	1	U	1	U	3	全	<u> </u>	道	小計(4科日) 現代社会と道徳科学A(未開講)	 1前	Ö	2	U	O	1	U	U	U	2
学	徳	現代社会と道徳科学A 現代社会と道徳科学B	1後		2							4	全学共通科目		徳	現代社会と道徳科学A(<mark>木開講)</mark> 現代社会と道徳科学B	1後		2							ى 8
八 通	科目	対れ社会と追ば科子日 文化の多様性と価値ー道徳科学A-		2	_		3	1				⁻	共 诵		科 目	次代社会と遺憾科学B 文化の多様性と価値ー道徳科学A-		2	_		3	'				J
科		道徳科学A	2前	_	2		1	1				9	科			道徳科学A	2前	-	2		1	1				9
F		道徳科学B	2前•後	2			1	1				9	I [□]			道徳科学B	2前•後	2			1	1				9
		小計(5科目)	-	4	6	0	3	1	0	0	0	13				小計(5科目)	-	4	6	0	3	1	0	0	0	15
	情	情報リテラシー	1前	2				1				7			情	情報リテラシー	1前	2				1				3
	報 科	情報科学	1後		2							4			報 科	情報科学	1後		2							3
	目														目	AIビジネス入門	1後		2							1
																統計学入門	1後		2							1
		PC実務演習	1前•後		2			1								PC実務演習(未開講)	1前•後		2			1				
		情報技術活用	1後		2			1				1				情報技術活用	1後		2			1				2
		マルチメディア活用	2後		2			1								マルチメディア活用	2後		2			1				
		Webオーサリング	2前		2							1				Webオーサリング	2前		2							1
		データ解析の基礎	2後		2			1								データ解析の基礎	2後		2			1				
		IT実務演習	3前•後		2							1				IT実務演習	3前•後		2							1
		基本情報実務演習	3後		2							1				基本情報実務演習	3後		2							1
		コンピューターネットワーク	3前		2							1				コンピューターネットワーク	3前		2							1
			3後		2							1				情報セキュリティ	3後		2	\bigsqcup	Ш					1
		情報セキュリティ							0	0	0	8				小計(13科目)	_	2	24	0	0	1 1	0	^	0	10
	ابو	情報セキュリティ 小計(11科目)	-	2	20	0	0	1	U		<u> </u>				ابط		-			 	\vdash	Ė	U	0		1
	外国	情報セキュリティ 小計(11科目) English Communication I	1前	2	20	0	0	1	U			9			外 国	English Communication I	1前	2					U	U		7
	国 語	情報セキュリティ 小計(11科目) English Communication I English Communication II	1前 1後			0	0	1	0	0	Ů	9 10			国 語	English Communication II	1後	2 2	_				0	U		7
	玉	情報セキュリティ 小計(11科目) English Communication I English Communication II English Communication II	1前 1後 2前	2	2	0	0	1	O	0		9			国	English Communication II English Communication III	1後 2前		2				U	U		7 7 7 -
	国 語 科	情報セキュリティ 小計(11科目) English Communication I English Communication II English Communication IV	1前 1後 2前 2後	2		0	0	1	0	0	0	9 10			国 語 科	English Communication II English Communication III English Communication IV	1後 2前 2後		2 2				U	U		7 7 7
	国 語 科	情報セキュリティ 小計(11科目) English Communication I English Communication II English Communication II	1前 1後 2前	2	2	0	0	1				9 10			国 語 科	English Communication II English Communication III	1後 2前						0	U		7 7 7 7 1

目図分	授業科目の名称	配当年次	必	単位数 選	自	教	准	講	の配置助	助	兼任・:	Į į	科目図分	授業科目の名称	配当年次	必	単位数 選	(1) 自	教	任教	貝寺講	助助	助
		# 次 	修	択	曲		教授	師			兼 担				平 火	修	択	曲	授	教	師		手
外 国 語 科	Business English A	1前		1							1	全学共通科目	外 国 語	Business English A	1前		1						
語	Business English B	1後		1							1	共	語	Business English B	1後		1						
科 目	English Summer Seminar	1前		4							1	通 科	科 目	English Summer Seminar	1前		4						
Н	Reading and Writing Workshop I	1前		2							2	目	н	Reading and Writing Workshop I	1前		2						
	Reading and Writing Workshop II	1後		2							2			Reading and Writing Workshop II	1後		2						
	Listening A	1前		1							3			Listening A	1前		1						
	Listening B	1後		1							3			Listening B	1後		1						
	Reading A	1前		1							3			Reading A	1前		1						
	Reading B	1後		1							3			Reading B	1後		1						
	Writing A	1前		1							3			Writing A	1前		1						
	Writing B	1後		1							3			Writing B	1後		1						
	英語特別演習A	1後		1							1			英語特別演習A	1後		1		1				
	英語特別演習B	2前		1							1			英語特別演習B	2前		1		1				
	海外語学研修(英語) I	1前•後		2							1			海外語学研修(英語) I	1前•後		2						
	海外語学研修(英語)Ⅱ	1前•後		2							1			海外語学研修(英語)Ⅱ	1前•後		2						
	中国語 I	1前		2							8			中国語 I	1前		2						
	中国語Ⅱ	1後		2							8			中国語Ⅱ	1後		2						
	中国語皿	2前		2							4			中国語皿	2前		2						
	中国語Ⅳ	2後		2							4			中国語Ⅳ	2後		2						
	中国語 特別演習A	1後		1							7			中国語特別演習A	1後		1						
											<u> </u>												
	中国語特別演習B	2前		'							<u> </u>			中国語特別演習B	2前								
	海外語学研修(中国語) I	1前・後		2							<u> </u>			海外語学研修(中国語) I	1前•後		2						
	海外語学研修(中国語)Ⅱ	1前•後		2							1			海外語学研修(中国語)Ⅱ	1前•後		2						
	韓国語I	1前		2			1				3			韓国語Ⅰ	1前		2			1			
	韓国語Ⅱ	1後		2			1				3			韓国語Ⅱ	1後		2			1			
	韓国語皿	2前		2			1							韓国語Ⅲ	2前		2			1			
	韓国語IV	2後		2			1							韓国語IV	2後		2			1			
	韓国語特別演習A	1後		1			1							韓国語特別演習A	1後		1			1			
	韓国語特別演習B	2前		1			1							韓国語特別演習B	2前		1			1			
	海外語学研修(韓国語) I	1前•後		2			1							海外語学研修(韓国語) I	1前•後		2			1			
	海外語学研修(韓国語)Ⅱ	1前•後		2			1							海外語学研修(韓国語)Ⅱ	1前•後		2			1			
	ドイツ語 I	1前		2							4			ドイツ語 I	1前		2						
	- ドイツ語 II	1後		2							4			ドイツ語 II	1後		2						
	ドイツ語皿	2前		2							2			ドイツ語皿	2前		2						
	ドイツ語Ⅳ	2後		2							2			ドイツ語Ⅳ	2後		2						
	ドイツ語特別演習A	1後		1							1			ドイツ語特別演習A	1後		1						
	ドイツ語特別演習B	2前		'							; I			ドイツ語特別演習B	2前		1						
	海外語学研修(ドイツ語) I	1前•後		2							;			海外語学研修(ドイツ語) I	1前•後		2						
	海外語学研修(ドイツ語) Ⅱ										¦			海外語学研修(ドイツ語)Ⅱ	1前・後								
		1前・後	_	2		_		_		_	00						2		4	4	_	_	
+	小計(45科目)	-	4	70	0	0	1	0	0	0	36	1 -	<u>+</u>	小計(45科目)	-	4	70	0	1	1	0	0	0
キャ	キャリア形成入門	2前		2							1		キャ	キャリア形成入門	2前		2						
IJ	キャリア形成研究	3後		2							1		IJ	キャリア形成研究	3後		2						
ア 科	キャリア形成演習	3後		2							1		ア	キャリア形成演習	3後		2						
目	麗澤スピリットとキャリア	1前		2							1		科 目	麗澤スピリットとキャリア	1前		2						
	ジェンダーとキャリア形成	1後		2							1			グローバルキャリア研究	2後		2						
	インターンシップA	2前•後		1		1								インターンシップA	2前•後		1		1				
	インターンシップB	2前•後		1		1								インターンシップB	2前•後		1		1				
	基礎·学際演習A	2前		2							2			基礎·学際演習A	2前		2						
	基礎·学際演習B	2後		2							1			基礎·学際演習B	2後		2						
	基礎·学際演習C	3前		2							2			基礎·学際演習C	3前		2						
	基礎·学際演習D	3前		2							1			基礎·学際演習D	3前		2						
	基礎·学際演習E	3後		2							2			基礎·学際演習E	3後		2						
	基礎·学際演習F	3後		2							1			基礎·学際演習F	3後		2						
	小計(13科目)	- O IX	0	24	0	1	0	0	0	0	3			小計(13科目)	- O IX	0	24	0	1	0	0	0	0
_	環境科学	 1前		24		+	-	"	-	٠	1			環境科学	 1前	J	24	"	+	J	J	J	
般											<u> </u>		般										
教 養	健康科学	1前		2							<u> </u>		教 養	健康科学	1前		2						
科	行政学	1後		2									科	行政学	1後		2						
目	行政法	1前		2							<u> </u>		目	行政法	1前		2						
	人間学	2前		2							!			人間学	2前		2						
	心理学	1前		2							1			心理学	1前		2						
	社会学	1後		2							1			社会学	1後		2						
	政治学A	1前		2							1			政治学A	1前		2						
	政治学B	1後		2							1			政治学B	1後		2						
	日本国憲法	1前•後		2							1			日本国憲法	1前•後		2						
	民法	1前		2							1			民法	1前		2						
	麗澤スタディーズ	1前		2			1				4			麗澤スタディーズ	1前		2		1	1			
	トラベルジオグラフィー	2後		2							1			トラベルジオグラフィー	2後		2						
	自主企画ゼミナール	1前•後		2		1								自主企画ゼミナール	1前•後		2		1				
	麗澤•地域連携実習	1前		2							1			麗澤·地域連携実習(未開講)	1前		2			1			
	メディア社会論	2後		2							₁]			メディア社会論	2後		2						
	世界史概論A	2後		2							1			世界史概論A	2後		2						
	世界史概論B	2版 2前		2							1			世界史概論B	2版 2前		2						
	世界史概論										¦			地誌	2削 2後		2						
	·	2後		2							<u> </u>						2						
	地理学概論A	2前		2]]			地理学概論A	2前		2						
	地理学概論B	2後		2							1			地理学概論B	2後		2						
	哲学概論A	2前		2							1			哲学概論A	2前		2						
	哲学概論B	2後		2							1			哲学概論B	2後		2						
	日本史概論A	2前		2							1			日本史概論A	2前		2						
	1	2後		2							1			日本史概論B	2後		2						
	日本史概論B		_		1	1	Ī	1		1	_			法学概論A					I		1		I
		2前		2					J	J	1	, ,			2 月11		2						
	法学概論A	2前 2後									1				2前 2後								
		2前 2後 1前		2 2 2							1 1 1			法学概論B イタリアの言語と文化	2削 2後 1前		2 2 2						

【届出時】

			#7 N/	į	単位数	ζ	教				兼 任	
杉	目図分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教		講	助	助	· 兼
L				修	択	由	授	授	師	教	手	担
全 学	一 般	スペイン語と文化	1後		2							1
共	教	台湾語と東アジアの文化	1後		2							1
通	養	海外語学研修(英語)A	1前•後		2							1
共通科目	科目	海外語学研修(英語)B	1前•後		2							1
		海外語学研修(ドイツ語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(ドイツ語)B	1前•後		2							1
		海外語学研修(中国語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(中国語)B	1前•後		2							1
		短期海外研修A	2前•後		2					1		
		短期海外研修B	2前•後		2					1		
		労働法入門	1前		2							1
		グローバル化と日本	2後		2							1
		国際情勢論	2前		2							1
		ライフスタイル論	2後		2							1
		スポーツ・健康と社会	1後		2							1
		スポーツ科学概論	2前		2							1
		スポーツとモラル	2後		2							1
		スポーツの理論と実習	1後		2							1
		スポーツコンディショニング実習	2後		2							1
		スポーツ実習S	1前•後		1							4
		救急処置法	3後		2							1
		レクリエーション理論と実習 I	1前		2							1
		レクリエーション理論と実習 Ⅱ	2前		2							1
		小計(52科目)	_	0	103	0	1	1	0	1	0	30
		合計(254科目)	-	30	429	0	6	6	0	1	0	91

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

- ①基礎専門科目:必修8単位を含め、30単位以上
- ただし、日本学・国際コミュニケーション専攻(JIC)の学生は、
- 合計2単位以上多く修得し、かつJIC A群科目より22単位修得すること。
- 国際交流・国際協力専攻(IEC)の学生は、IEC A群科目より22単位修得すること。
- ②上級専門科目:24単位以上
- ただし、JICの学生は、上級専門科目から合計4単位以上多く修得し、
- かつJIC A群科目より8単位修得すること。
- IECの学生は、IEC A群科目より4単位修得すること。
- ③卒業研究科目:必修8単位
- ④学部共通科目:必修4単位を含め、10単位以上
- ただし、JICの学生は、初年次教育科目より必修4単位、
- 学部共通科目より6単位修得すること。
- IECの学生は、合計2単位以上多く修得し
- かつ初年次教育科目より必修4単位、学部共通科目より8単位修得すること。
- ⑤全学共通科目:必修10単位を含め、28単位以上
- ただし、JICの学生は、道徳科目より必修4単位、 情報科目より必修2単位を含め4単位、外国語科目より必修4単位を含め12単位、
- キャリア科目より6単位修得すること。
- IECの学生は、合計2単位以上多く修得し、かつ道徳科目より必修4単位、 情報科目より必修2単位、外国語科目より必修4単位を含め12単位、
- キャリア科目より6単位修得すること。
- ⑥上記①~⑤を含めて、124単位以上修得すること。
- ⑦外国人留学生は、以下の卒業要件を含めて、124単位以上修得すること。
- 1)基礎専門科目:必修8単位を含め、26単位以上
- ただし、JIC A群科目より14単位修得すること。 2)上級専門科目:31単位以上
- ただし、JIC A群科目より7単位修得すること。 3) 卒業研究科目: 必修8単位
- 4) 学部共通科目: 必修4単位を含め、10単位以上
- ただし、初年次教育科目より必修4単位、
- 学部共通科目より6単位修得すること。
- 5)全学共通科目:必修10単位を含め、20単位以上 ただし、道徳科目より必修4単位、情報科目より必修2単位を含め4単位、
- 外国語科目より必修4単位、キャリア科目より6単位修得すること。

「履修科目の登録の上限:1・2年次は20単位(学期)、3・4年次は18単位(学期))

【令和2年度】

					単位数		専	任教	[員等	の配	置	兼 任
	科目図分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	助	· 兼		
				修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
全学		スペイン語と文化	1後		2							1
共		台湾語と東アジアの文化	1後		2							1
共通科		海外語学研修(英語)A	1前•後		2							1
目目		海外語学研修(英語)B	1前•後		2							1
		海外語学研修(ドイツ語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(ドイツ語)B	1前•後		2							1
		海外語学研修(中国語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(中国語)B	1前•後		2							1
		短期海外研修A	2前•後		2			1		0		
		短期海外研修B	2前•後		2			1		0		
	_	労働法入門	1前		2							1
	般	グローバル化と日本	2後		2							1
	教養	国際情勢論	2前		2							1
	科	ライフスタイル論	2後		2							1
	目	スポーツ・健康と社会	1後		2							1
		スポーツ科学概論	2前		2							1
		スポーツとモラル	2後		2							1
		スポーツの理論と実習	1後		2							1
		スポーツコンディショニング実習	2後		2							1
		スポーツ実習SA(未開講)	1前•後		1							4
		スポーツ実習SB(未開講)	1前•後		1							4
		救急処置法	3後		2							1
		レクリエーション理論と実習 I (未開講)	1前		2							1
1		レクリエーション理論と実習 Ⅱ	2前		2							1
L		小計(53科目)	-	0	104	0	2	2	0	0	0	32
		合計(257科目)	_	30	434	0	9	6	0	0	0	89

卒業要件及び履修方法

- 【卒業要件】 ①基礎専門科目:必修8単位を含め、30単位以上
- ただし、日本学・国際コミュニケーション専攻(JIC)の学生は、
- 合計2単位以上多く修得し、かつJIC A群科目より22単位修得すること。 国際交流・国際協力専攻(IEC)の学生は、IEC A群科目より22単位修得すること。
- ②上級専門科目:24単位以上
- ただし、JICの学生は、上級専門科目から合計4単位以上多く修得し、
- かつJIC A群科目より8単位修得すること。
- IECの学生は、IEC A群科目より4単位修得すること。
- ③卒業研究科目:必修8単位
- ④学部共通科目:必修4単位を含め、10単位以上
- ただし、JICの学生は、初年次教育科目より必修4単位、
- 学部共通科目より6単位修得すること。 IECの学生は、合計2単位以上多く修得し
- かつ初年次教育科目より必修4単位、学部共通科目より8単位修得すること。 ⑤全学共通科目:必修10単位を含め、28単位以上
- ただし、JICの学生は、道徳科目より必修4単位、 情報科目より必修2単位を含め4単位、外国語科目より必修4単位を含め12単位、
- キャリア科目より6単位修得すること。
- IECの学生は、合計2単位以上多く修得し、かつ道徳科目より必修4単位、
- 情報科目より必修2単位、外国語科目より必修4単位を含め12単位、
- キャリア科目より6単位修得すること。
- ⑥上記①~⑤を含めて、124単位以上修得すること。 ⑦外国人留学生は、以下の卒業要件を含めて、124単位以上修得すること。
- 1)基礎専門科目:必修8単位を含め、26単位以上
- ただし、JIC A群科目より14単位修得すること。
- 2)上級専門科目:31単位以上
- ただし、JIC A群科目より7単位修得すること。 3) 卒業研究科目: 必修8単位
- 4) 学部共通科目: 必修4単位を含め、10単位以上 ただし、初年次教育科目より必修4単位、
- 学部共通科目より6単位修得すること。 5)全学共通科目:必修10単位を含め、20単位以上
- ただし、道徳科目より必修4単位、情報科目より必修2単位を含め4単位、 外国語科目より必修4単位、キャリア科目より6単位修得すること。
- (履修科目の登録の上限:1・2年次は20単位(学期)、3・4年次は18単位(学期))

【令和2年度】

```
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「IEC基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「IEC基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、専任教員担当により、「Global Studies I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「Global Studies I」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、専任教員担当により、「Global Studies Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「Global Studies Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「Global Studies Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「Global Studies Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「IECアカデミックスキルズ I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、専任教員担当により、「Japan Studies in English I」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担
0」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、専任教員担当により、「Japan Studies in English II」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担
0」に変更。
・誤記により、「多文化共生A」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「多文化共生A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「多文化共生プロジェクトA」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「多文化共生プロジェクトB」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「サービスラーニング体験実習A」を未開講とした。
・担当者の教員身分昇格により、「海外ボランティア実習A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・誤記により、「多文化共生B」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「多文化共生B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「社会・文化調査法」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「日本語教育入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「国際交流上級演習B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「Global Issues B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「多文化共生プロジェクトC」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「多文化共生プロジェクトD」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「海外ボランティア実習B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「共生のための日本語論A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「言語コミュニティ論B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「ことばの学習と習得」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「海外日本語教育実習B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「第二言語習得研究」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「日本語指導法B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「第二言語習得と日本語教育」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「スタートアップセミナー」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授9」に、「准教授0」から「准教授3」変更。
・担当者の教員身分昇格により、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「NPO/NGO論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「専門ゼミナールA」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「専門ゼミナールB」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「卒業研究A」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「卒業研究B」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「現代社会と道徳科学A」を未開講とした。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「現代社会と道徳科学B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼担4」から「兼任・兼担6」に変更。
・全学から学部単位のクラス展開に変更したため、「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担3」に変更。
・担当予定者の退職および専任教員の採用による担当者変更により、「情報科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
・全学的にデータサイエンスの学びを強化するため、「AIビジネス入門」を新規科目として追加。
・全学的にデータサイエンスの学びを強化するため、「統計学入門」を新規科目として追加。
・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「PC実務演習」を未開講とした。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「情報技術活用」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「English Communication I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担7」に変更。
・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「English Communication II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担10」から「兼任・兼担7」に変更。
・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「English Communication II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担7」に変更。
・時間割調整に伴う担当者変更により、「TOEFL A」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担1」に変更。
・時間割調整に伴う担当者変更により、「TOEFL B」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担1」に変更。
・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「Reading and Writing Workshop I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「Reading and Writing Workshop II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
・時間割調整に伴う担当者変更により、「Listening A」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
・時間割調整に伴う担当者変更により、「Listening B」の専任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、専任教員担当により、「英語特別演習A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、専任教員担当により、「英語特別演習B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「海外語学研修(英語) I 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「海外語学研修(英語) II 」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「麗澤スピリットとキャリア」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
・誤記により、授業科目の名称を「ジェンダーとキャリア形成」から「グローバルキャリア研究」に変更。
・誤記により、「グローバルキャリア研究」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「麗澤スタディーズ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担4」から「兼任・兼担7」に変更。
 教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「麗澤・地域連携実習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「麗澤・地域連携実習」を未開講とした。
・担当者の教員身分昇格により、「短期海外研修A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・担当者の教員身分昇格により、「短期海外研修B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教1」から「助教0」に変更。
・カリキュラム充実のため、授業科目の名称を「スポーツ実習S」から「スポーツ実習SA」に変更。
・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「スポーツ実習SA」を未開講とした。
・カリキュラム充実のため、「スポーツ実習SB」を新規科目として追加。
・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「スポーツ実習SB」を未開講とした。
・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「レクリエーション理論と実習I」を未開講とした。
```

- (注)・2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更物	犬況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣 右
15 科目	239 科目	0 科目	254 科目	15 料目 []	242 科目 [3]	0 科目 []	257 科目 [3]	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	サービスラーニング体験実習	1	1前・後	専門	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、1学期(前期)分を 休講とした。
2	現代社会と道徳科学A	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため休講とし、代替措置 は無しとした。
3	PC実務演習	2	1前・後	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、1学期(前期)分を 休講とした。
4	麗澤・地域連携実習	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、2学期(後期)開講 とした。
5	スポーツ実習SA	1	1前・後	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、1学期(前期)分を 休講とした。
6	スポーツ実習SB	1	1前・後	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、1学期(前期)分を 休講とした。
7	レクリエーション理論と実習 I	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、2学期(後期)開講 とした。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、オンラインによる授業実施を導入したため、オンラインでは 実施が難しいと判断した科目を未開講とした。未開講7科目の内、4科目はもともと1学期(前期)・2学 期(後期)の両学期開講科目であるため、大きな影響はないものと判断した。1学期のみ開講を予定し ていた3科目の内、2科目は2学期に開講する代替処置をとった。残りの1科目は、次年度以降の履修機会 を利用することで問題ないと判断した。なお、学生へは本学ポータルシステムにて周知徹底した。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内	l					容					備考	
(1)		区	分		専		用	共	用			用する 校等の				計			
		校3	舎 敷 坮	þ		68, 4	475. 08 m²		0.00	m²		10,	617. 65	m²	79, 092. 73 m²		2.73 m²		
校		運動	力 場用地	ļ		7, 9	979. 00 m²		16, 794. 00	m²		27,	719. 00	m²		52, 492	2.00 m²	- 麗澤中学校と共用 (収容定員:450人) (面積基準:5,700㎡)	
地		小	計	-		76, 4	454. 08 m²		16, 794. 00	m²		38,	336. 65	m²	1	31, 584	4.73 m²	麗澤高等学校と共用 (収容定員:720人) (面積基準:8,400㎡)	
等		そ	の他	ļ		41, 5	514.00 m²		0.00	m²		54,	833. 35	m²		96, 347	7.35 m²		
)		合	計	•		117, 9	968. 08 m²		16, 794. 00	m²			170.00	m²	2	27, 932	2.08 m²		
					専		用	共	用			用する 校等の				計			
(2) 校			舎			37, 3	395.48 m²		0.0	0m²			0. 00)mi		37, 395	5.48 m²		
						(37, 395	5. 48 m²)		(0. 00n	n³)			(0.00m	າ້)	(37	, 395. 4	48 m ²)		
					講義室		演習	室	実験	実習室	<u> </u>	情報外	処理学習	『施設	語字	学学習	施設		
(3) 教		室	等			80 室		3 室			0 室			8 室			0 室	大学全体	
						00 <u>±</u>		0 ±			V ±	(補助	肋職員	0人)	(補助	肋職員	0人)		
(4) 専	仁教	'昌研堂	字		新設)名称					室		数				
(4)	工权	.实训力	υ±		国際学部 国際学科		科				15		5			室			
					図書		学術雑	学術雑誌 			────────────────────────────────────		機械・	哭旦	標	本	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数		
(5)	新	所設学 の名		(〔うち外国書〕		5外国書〕 〔うち外国		ト国書〕 電子ジャー		ャーナ	ル	1764105	r An	125, 125	ии УС	12K	7.	【図書・学術雑誌・電
						₩		種		外国書			点			点	子ジャーナル・視聴覚		
		学部			, 000 [182, , 400 [181,	210]	4, 091 (4, 400 (1, 320)	20, 044		872)	110		553 596			0	受入数変動による変更 (2)	
· 設	国際	学科		F0.0	[181, 67		(4, 091 [1, (4, 187 [1,	117〕)	(7, 056	(2	0, 044	(11,		553 - (596) _	((0)	【機械・器具】 除却による減少と	
備		計			, 000 〔182, , 400 〔181,	210]	4, 091 〔 4, 400 〔	1, 320]	20, 044		872]	110		553 596			0	2018・2019年度取得による増加(2)	
					(50 (181, 67	05, 618 77])	4, 091〔 〔4, 187〔1,	1,665] 117])	7, 05	66 [6, 6 (2	871) 1 <mark>0, 044</mark>	(11, -(11,	554) 547)	553 - (596)	((0)		
(6) 図	:	書	館		面		積 —————		閲覧	座席	数		収	納豆	能	 	数	大学全体	
							6, 228. 15 n	า้				321席				652	2, 500冊		
(7) 体		育	館		面積体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体									
							5, 142. 40n	า๋	1		テ	ニスコ	ート 3 <u>1</u>	<u> </u>					
		経費	Z		分	開記	没年度	完成年歷			分		前年度 00千円	開設年 16,80			战年度 800千円		
(8) 経費の		積り			研究費等		300千円	300=		書購入	.費	20, 0	61千円	20, 06	千円	20, (061千円	」【凶書賄人質】 プ昇変 ▼動による変更(2)	
程貸の 積り及 維持方	びし		<u> </u>		党 費 等		0千円	Ī		備購入 ┏		-	38千円	56, 034	4千円		187千円	図書費には、電子	
が 概	要	Ļ	1 人当 丿		1 年次	Э	第2年次		3 年次		第4年			5 年次		第6年		ジャーナル購入及び データベース運用経費	
		納付	寸金		1,390千円		1, 130千円	3	1, 130千円		1, 13	30千円		千	7		千円	を含む	
		学生	生納付金	è以外σ)維持方法(の概要	資産運用	収入、署	字付金、雜 ¹	収入等	<u> </u>								

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	麗	麗大	学								偐	= :	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地			
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年	度		
外国語学部			人										
外国語学科	4	220	-	880	学士	1. 15	1. 10	-	平成20	 千葉県柏市光ヶ 丘	令和2 更(<i>2</i>		員変
経済学部										丘 2丁目1番1号			
経済学科	4	110	-	440	学士	1. 16	1. 23	-	平成20	同上	令和2 更(<i>2</i> 令和2	年度定 260)	員変
経営学科	4	110	-	440	学士	1. 31	1. 24	-	平成20	同上	令和2 更(<i>2</i>		員変
<u>国際学部</u>													
<u>国際学科</u>	4	80	-	320	学士 (国際コ ミュニケー ション)	0. 91	0. 91	令和2	令和2	同上			
<u>グローバル</u> <u>ビジネス学科</u>	4	80	-	320	学士 (グローバ ルビジネ ス)	1. 07	1. 07	令和2	令和2	同上			
言語教育研究科													
日本語教育専攻 博士前期課程	2	6	-	12	修士 ^(文学)	1. 16	1. 00	-	平成8年度	同上			
日本語教育専攻博士後期課程	3	_	-	6	博士	_	_	_	平成10年度	同上	令和2 募集係		学生
比較文明文化専攻	2	_	_	_	修士	_	_	_	平成13年度	同上	平成3	1年よ	り学
博士前期課程 比較文明文化専攻	3	_	_	3	^(文学) 博士	_	_	_	平成13年度	同上	生募第平成3	1年よ	り学
博士後期課程 英語教育専攻				J	(文学) 修士			_	平成18年度		生募第平成3		り学
修士課程	2	_	_	_	(文学)	_	_	_	平成10年及	同上	生募集	[停止	
経済研究科													
経済学専攻 修士課程	2	-	-	-	修士 ^(経済学)	-	-	-	平成24年度	同上	平成3 生募集		り学
経営学専攻 修士課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0. 65	0. 6	-	平成24年度	同上			
経済学・経営学専攻 博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学) (経営学)	0. 22	0	-	平成24年度	同上			
学校教育研究科													
字校教育研究科 道徳教育専攻	2	6		12	修士	1. 16	1. 00	_	平成30年度	同上			
修士課程 ————————————————————————————————————	2	Ü		12	(教育学)	1. 10	1.00	_	十成30千度	ID] IL			
大学の名称	該当な	L									俳	=	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地			
	年	人	年次	人		倍	倍						
			人										

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際学科>

(1)一① 担当教員表

【届出時】

【令和2年度】

	出時】		 	口2年	支】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	イプザフトモコ 岩澤 知子 (57) 〈平成32年4月〉 Ph. D. (米国) IEC基礎演習 II ※ 国際文化概説 Global Studies I Global Studies II 多文化共生プロジェクト B 多文化共生プロジェクト B 日本文化共生プロジェクト C Ulture and Religion 専門ゼミナール B 卒業研究 B	専	教授	イワサワトモコ 岩澤 知子 (57) 〈令和2年4月〉 Ph. D. (米国) IEC基礎演習 I ※ 国際文化概説 Global Studies I Global Studies I 多文化共生プロジェクトB 日本文化共生プロジェクトB 日本文化共生プロジェクトC のはture and Religion スタートアップセミナー 専門ゼミナール 専門ゼミナール 専門ゼミナール 専門ゼミナール 専門ゼミナール 卒業研究 B
専	教授	ウパチ ・	専	教授	ウメダートが 特価 (63) 〈令和2年4月〉 法 (63) 〈令和2年修 Ⅲ (63) 〈令和2年修 Ⅲ (63) 〈令和2年修 Ⅲ (63) 「会和2年修 Ⅲ (63) 「会和2年修 Ⅲ (63) 「会和2年修 Ⅲ (63) 「会和2年修 Ⅲ (63) 「会和2年修 Ⅲ (63) 「会本 「「「「「「「「「「」」」」」 「「「「「「」」」」 「「「「」」」」 「「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「)」」」 「「)」」 「「)」」」 「「)」 「「)」」 「「)」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「
専	教授	クロス サトミ 黒須 (58) 〈平成32年4月〉 Ph. D. (米国) IEC基礎概説 Global Studies IV 多文と のは のは の	専	教授	クス サミ 黒 (58) (58) (58) (58) (58) (70) Ph. D. (** 選 (58) (10) IEC基礎概説 Global Studies IV 多文化共生A 多文化共生 A 多文化共生 上生 が のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、
専	教授	コンド族 (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54)	専	教授	コンド 藤 (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54) (54)

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	サクライリョウジュ 櫻井 良樹 (62) 〈平成32年4月〉 博士 プロジェクタン で、サイン・サイン・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・
兼任	講師	サクライ リョウジュ 櫻井 良樹 (65) 〈平成35年4月〉 博士(史学) 物語と人間 日本史概論 A 日本史概論 B
專	教授	スギ ウラ シゲコ 杉浦 滋子 (62) 〈平成32年4月〉 Ph. D. (米国) Global Studies I Global Studies II Global Studies IV 多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 対照言詩学研究【隔年】 英語特別演習 A 英語特別演習 B
専	教授	Manage
專	教授	マツシマ マサアキ (60) (60) (70)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	サクライ リョウジュ 櫻井 良樹 (62) 〈令和2年4月〉 博士 (史学) IEC基礎演習 II 多文化共生プロジェクト B 国際交化共生プロジェクト B 国際交化共生プロジェクト C 多文化共生プロプセミナー 基礎で高史 多文化共生プロプセミナー 基礎アール アール 国際と 事業と 国際と 新語と 関係 を 知識 国際と 大田 国際と 大田 国際 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田
兼任	講師	サクライ リョウジュ 櫻井 良樹 (62) 〈令和5年4月〉 博士(史学) 物語と人間 日本史概論 A 日本史概論 B
専	教授	スキ・ウラッケョ 杉浦 滋子 (62) 〈令和2年4月〉 Ph. D. (米国) Global Studies I Global Studies II Global Studies IV 多文化共生プロジェクトロ 多文化共生プロジェクトロ 対照言語学研究【隔年】※ スタートアップセミナー 英語特別演習 A 英語特別演習 B
専	教授	バヤスにコ 野 (51) イオ (55) イ (51) イ (51)
専	教授	マツス (60) マツス (60) マウス (60) マラン (70) マラン

また	1		 まな
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別
		担当授業科目名	
専	准教 授	大大文 大大 大	専
		サギサカ トモコ 匂坂 智子 (49) 〈平成32年4月〉 博士(工学)	
専	准教 授	JICアカデミックスキルズⅡA JICアカデミックスキルズⅢA 多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB 現代社会とメディア 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 情報リテラシー PC実務演習 情報技術活用 マルチメディア活用 データ解析の基礎	専
		ミヤシタ カス・ヒロ 宮下 和大 (47) 〈平成32年4月〉	
専	准教 授	博士(文学) 多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 専門ゼミナールA 専門ゼミナールB 卒業研究B 現代の多様性と価値ー道徳科学 A 徳科学A 道徳科学A 道徳科学B 麗澤スタディーズ※	専
		モーがン ジェイソン M. Morgan, Jason M. (42) 〈平成32年4月〉	
専	准教 授	Ph. D. History (米国) Global Studies I Global Studies I 国際日本学入門 多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB 日本社会研究 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD Japanese Intellectual History 国際関係論 国際交流史	専
		tリ ユウシュン 森 勇俊 (59) 〈平成32年4月〉 文学修士※	
専	准教 授	文学修士※ タ文化共生プロジェクトB Japan Studiesー東アジアの視点 から一京語学生プロール 多文化代表を文文では、 から一語学生生ナナーの 事専工を業研語 I 専国国語語が 韓国語語が 韓国語:I	専

氏 名

(年 齢)

<就任(予定)年月>

保有学位等

担当授業科目名

材t** + tos 大関 浩美 (57) 〈令和2年4月〉 博士(人文科学)

JICアカデミックスキルズ I 多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB

多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD

日本語教育入門

職名

専任・ 兼任の別
Part
Ionescu, Magdalena (41)
#############################
博士(国際
専
中部
専
特 特 特 特 特 特 特 特 特 特
World Affairs C 【隔年】 World Affairs D 【隔年】 国際年年
国家 (35) 年 (35) 年 (35) 年 (35) 年 (36) 日本 (35) 年 (35) 年 (35) 年 (36) 日本 (35) 年 (35) 年 (36) 日本 (35) 年 (35) 年 (36) 日本 (35) 年 (36) 年 (36
事理事理事専業第4本中な中な中な中なおすおなおなおなおなよ
Page
Provided Research Pr
Page
博士(国際貢献) IEC基礎演習 II ※ Global Studies II Global Studies II Global Studies II Global Studies II Global Studies IV ククタン タン サイン クラン アンション アン・アン ア
Part
Part
専Global Studies IV 多文化共生プロンフター 多文化共生型プロンファイン 多文文化共享
専
専助教表表多女多法国のなる「ないで、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、ので、で、で、で、で、
(Global Issues B 多文化共生プレクタンクリーの (スカイタカオ 大 (カイタカイタ) を 海の (カイタカイタ) を 海の (カイタカイタ) を 事専ででは、 事専ででは、 一の (カイタカイタカイタ) を ででは、 ででは、 (カイタカイタカイタカイタカイタカイタカイタ) でででは、 (カイタカイタカイタカイタカイタカイタカイタ) でででは、 (カイタカイタカイタカイタカイタカイタ) でででは、 (カイタカイタカイタカイタ) でででは、 (カイタカイタカイタカイタカイタ) でででは、 (カイタカイタカイタカイタ) ででは、 (カイタカイタ) ででは、 (カイタカイタ) ででは、 (カイタカイタ) では、 (カイタカイタ) では、 (カイタカイタカイタ) では、 (カイタカイタ) では、 (カイタ) では、 (カイタ) では、 (カイタカイタ) では、 (カイタ) では、 (カイタ) では、 (カイタカイタ) では、 (カイタ) では、 (カ
多次 本の 多次 大 次 大 (57) 大 本 本 (57) 本 本 (57) 本 本 (57) 本 本 (57) 本 本 (57) 本 本 本 (57) 本 本 本 (56) 本 本 本 (56) 本 本 本 (56) 本 本 本 大 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本<
専門ゼミナール B 専門ゼミナール B 卒業研究 B 短期海外研修 B イヌカイ タカオ 大飼 を A 短期海外研修 B イヌカイ タカオ 大飼 孝夫 (57) 〈平成32年4月〉 文学修士、国際学修士 道徳科学 B オオタ ヒディヤ 太田 秀也 (56) 〈平成32年4月〉 博士 (工学) 行政学
幸業研究 A 卒業研究 B 短期海外研修 A 短期海外研修 B 様担 4又カイタカオ 大飼 孝夫 (57) 〈平成32年4月〉 文学修士、国際学修士 道徳科学 A 道徳科学 B オオタ ヒディ 太田 秀也 (56) 〈平成32年4月〉 情士(工学) 行政学
短期海外研修 A 短期海外研修 B
兼担教授犬飼 孝夫 (57) 〈平成32年4月〉 文学修士、国際学修士道徳科学 A 道徳科学 Bおり ヒデヤ 太田 秀也 (56) 〈平成32年4月〉 博士(工学)行政学
兼担教授犬飼 孝夫 (57) 〈平成32年4月〉 文学修士、国際学修士道徳科学 A 道徳科学 Bおり ヒデヤ 太田 秀也 (56) 〈平成32年4月〉 博士(工学)行政学
文学修士、国際学修士 道徳科学 A 道徳科学 B おり ヒデヤ 太田 秀也 (56) 〈平成32年4月〉 博士(工学) 行政学
道徳科学B
太田 秀也 (56) (56) (平成32年4月) 博士(工学) 行政学
博士(工学)
行政法
オオツカ ヒデ・ハル 大塚 秀治 (63)
〈平成32年4月〉 文学修士
兼担 教授 情報リテラシー 情報科学
情報セキュリティ 材/ ヒトミ
大野 仁美 (56)
(平成32年4月) 兼担 教授 文学修士
日本語の構造【隔年】 対照言語学研究【隔年】※ 社会言語学研究【隔年】
付会言語字研究【隔年】 日本語文法研究【隔年】 オオノマサヒテ・
大野 正英 (57)
〈平成32年4月〉 経済学修士 兼担 教授
現代社会と道徳科学A※ 現代社会と道徳科学B※
道徳科学 A 道徳科学 B 麗澤スタディーズ※
(66) 兼担 教授 〈平成32年4月〉
Ph. D. in Economics (インド) ライフスタイル論
#/ LD7
小野 宏哉 (65) 兼担 教授 〈平成32年4月〉
工学博士
現代社会と道徳科学B※

専任・ 兼担・ 兼任	Then A	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等 ————————————————————————————————————
		ヨネスク マク゛タ゛レーナ
		Ionescu, Magdalena (41) 〈令和2年4月〉 博士(国際貢献)
専	准教 授	IEC基礎演習 II ※ Global Studies I Global Studies II Global Studies II Global Studies IV 多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB 多文化社会研究 World Affairs A【隔年】 World Affairs B【隔年】
		World Affairs D【隔年】 国際開発論 多文化共生プロジェクトC 多文化共生プロジェクトD 専門ゼミナールA 専門ゼミナールB 卒業研究A 卒業研究B
		ウチオ タイチ 内尾 太一 (35) 〈令和2年4月〉
		博士(国際貢献)
	准教	IEC基礎演習 II ※ Global Studies I Global Studies II Global Studies II Global Studies II Global Studies IV 多文化共生プロジェクトA 多文化共生プロジェクトB 海外ボランティア実習 A 多文化共生B
専	授	社会·文化調査法 国際交流上級演習 B Global Issues B 多文化共生プロジェクト C
		多文化共生プロジェクトD 海外ボランティア実習B スタートアップセミナー NPO/NGO論
		専門ゼミナール A 専門ゼミナール B 卒業研究 A 卒業研究 B
		麗澤・地域連携実習※ 短期海外研修A 短期海外研修B
		イヌカイ タカオ 犬飼 孝夫
兼担	教授	(57) 〈令和2年4月〉 文学修士、国際学修士
		道徳科学A
兼担	教授	道徳科学B 対タ ヒデヤ 太田 秀也 (56) 〈令和2年4月〉
		博士(工学) 行政学 行政法
		オオノ ヒトミ 大野 仁美 (56) 〈令和2年4月〉
兼担	教授	文学修士 日本語の構造【隔年】 対照言語学研究【隔年】※ 社会言語学研究【隔年】 日本語文法研究【隔年】
		材/ マサヒデ 大野 正英 (57) 〈令和2年4月〉 経済学修士
兼担	教授	現代社会と道徳科学A※ <mark>現代社会と道徳科学B※</mark> 道徳科学A 道徳科学B 麗澤スタディーズ※
兼担	教授	材が ヒロユキ 大場 裕之 (66) 〈令和2年4月〉 Ph. D. in Economics(インド) ライフスタイル論
		オノ ヒロヤ
兼担	教授	小野 宏哉 (65) 〈令和2年4月〉 工学博士
		現代社会と道徳科学B※

専任・ 兼担・		氏 名
兼任	-1.	(年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		上 担当授業科目名
		カコ゛ヨシキ
		籠 義樹 (51)
		〈平成32年4月〉
		工学博士
兼担	教授	観光ビジネス特論A 観光ビジネス特論B
XK1_	3/1/	キャリア形成入門 キャリア形成研究
		キャリア形成演習
		麗澤スピリットとキャリア ジェンダーとキャリア形成
		環境科学 麗澤・地域連携実習
		カミムラ ショウシ゛
		上村 昌司 (48)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 理学博士
		情報リテラシー 情報科学
		コモリ ヨシヒサ
		古森 義久
兼担	教授	(79) 〈平成32年4月〉
		経済学士 グローバル化と日本
		国際情勢論
		サトウ ヒトシ 佐藤 仁志
		(47) 〈平成32年4月〉
		〈平成32年4月〉 博士(社会工学)
兼担	教授	基礎·学際演習A※
		基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 C ※
		基礎・学際演習 D 基礎・学際演習 E ※
		基礎・学際演習F
) = 1
		シモダ タテヒト 下田 健人
兼担	教授	(62) 〈平成32年4月〉
WIT	秋1文	経済学修士※
		現代社会と道徳科学A※
		9 <u>1</u> 1 <u>1</u> 21
		高 巖 (64)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 商学博士
		チバ ショウジュ 千葉 庄寿
		(49) 〈平成32年4月〉
		修士(文学)※
兼担	教授	人文科学とコンピュータ A 人文科学とコンピュータ B 【隔
		年】
		意味論・語用論研究【隔年】 情報リテラシー
		Webオーサリング
		トヨシマータテヒロ
		豊嶋 建広 (67)
		〈平成32年4月〉 博士(体育科学)
兼担	教授	
		健康科学 スポーツ・健康と社会
		スポーツ科学概論 スポーツの理論と実習
		スポーツ医習S
	Ī	

	1	
専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
נינל כס	40.70	保有学位等
		担当授業科目名
		カコ゛ ヨシキ 籠 義樹
		(51) 〈令和2年4月〉
		工学博士
		観光ビジネス特論A
兼担	教授	観光ビジネス特論B キャリア形成+AW202入門
		キャリア形成研究 キャリア形成演習
		麗澤スピリットとキャリア グローバルキャリア研究
		環境科学
		麗澤・地域連携実習※ カミムラ ショウシ
		上村 昌司
兼担	教授	(48) 〈令和2年4月〉
WIE.	7人1人	理学博士 情報リテラシー
		情報科学 情報セキュリティ
		カワカミ カス・ヒサ
		川上 和久 (62)
兼担	教授	〈令和2年4月〉 修士(社会心理学)※
		社会学
		政治学A 政治学B
		コモリ ヨシヒサ 古森 義久
** +0	*/- +立	(79) 〈令和2年4月〉
兼担	教授	経済学士
		グローバル化と日本 国際情勢論
		2.59*
		^{シミス*} ウララ 清水 麗
兼担	教授	(52) 〈 令和2年4月 〉
		博士(国際政治経済学) 中国語 I
		中国語Ⅱ
		シミス [*] チヒロ 清水 干弘
兼担	教授	(52) 〈 令和2年4月 〉
		博士(環境学)
		AI ビジネス入門 シモダ タテヒト
		下田 健人
兼担	教授	(62) 〈令和2年4月〉
		経済学修士※
		現代社会と道徳科学A※
		タカ イワオ 高 巖
兼担	教授	(64) 〈令和2年4月〉
- 114 12		商学博士
		現代社会と道徳科学B※
		タカツジ ヒデオキ 高辻 秀興
兼担	教授	(67) 〈令和2年4月〉
水但	扒顶	博士(工学)
		IT実務演習 コンピューターネットワーク
		チバ ショウジュ 千葉 庄寿
		(49)
		〈令和2年4月〉 修士(文学)※
兼担	教授	人文科学とコンピュータ A 人文科学とコンピュータ B 【隔
		年】
		意味論・語用論研究【隔年】 情報リテラシー
		Webオーサリング
		トクナカ [・] スミノリ 徳永 澄憲
兼担	教授	(68) 〈令和2年4月〉
-11×1-2	ZI.XI	Ph. D. (米国)
		現代社会と道徳科学B※ 麗澤スタディーズ※
		トヨシマ タテヒロ 豊嶋 建広
		豊嶋 建広 (67)
		豊嶋 建広
兼担	教授	豊嶋 建広 (67) 〈令和2年4月〉 博士(体育科学) 健康科学
兼担	教授	豊嶋 建広 (67) 〈令和2年4月〉 博士(体育科学) 健康科学 スポーツ・健康と社会 スポーツ科学概論
兼担	教授	豊嶋 建広 (67) 〈令和2年4月〉 博士(体育科学) 健康科学 スポーツ・健康と社会 スポーツ科学概論 スポーツの理論と実習 スポーツ実習SA
兼担	教授	豊嶋 建広 (67) 〈令和2年4月〉 博士(体育科学) 健康科学 スポーツ・健康と社会 スポーツ科学概論 スポーツの理論と実習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		—————————————————————————————————————
兼担	教授	ナカガワ トシアキ 中川 敏彰 (69) 〈平成32年4月〉 学士(文学)
N JE	4X1X	キャリア形成入門 キャリア形成研究 キャリア形成演習 麗澤スピリットとキャリア ジェンダーとキャリア形成 †カノ チアキ
兼担	教授	中野 千秋 (64) 〈平成32年4月〉 Ph. D(米国) 現代社会と道徳科学B※
		村が カス・ノフ・
		堀内 一史 (65) 〈平成32年4月〉 M. A. (米国)
兼担	教授	北米社会論【隔年】 道徳科学A 道徳科学B TOEFL A TOEFL B
		English Summer Seminar 社会学
兼担	教授	マサムネ スス゛カ 正宗 鈴香 (55) 〈平成32年4月〉 M. Ed. (米国)
		多文化共生A
		₹₹ヅキ マサミチ 望月 正道
兼担	教授	(61) 〈平成32年4月〉 Ph. D(英国)
		海外語学研修(英語) I 海外語学研修(英語) II 海外語学研修(英語) A 海外語学研修(英語) B
		ヤギ ヒデッグ 八木 秀次 (58) 〈平成32年4月〉
兼担	教授	法学修士※ 日本国憲法 法学概論 A
		法学概論B ヤマカワ カス・ヒコ
		山川 和彦 (60) 〈平成32年4月〉 国際学修士
兼担	教授	文化交流論 言語政策と文化交流【隔年】 観光文化概説 観光ホスピタリティ論
		観エホスピダリティ語 観光フィールドワーク A 観光フィールドワーク B 観光デザイン論
	X+ ±L	イェダ ショウコ 家田 章子 (47)
兼担	准教 授	〈平成32年4月〉 博士(学術)
		日本語教授法の基礎
		イ/シタ カオリ 井下 佳織 (42) 〈平成32年4月〉
		博士(体育科学)
兼担	准教 授	健康科学 スポーツ・健康と社会 スポーツ科学概論 スポーツの理論と実習 スポーツコンディショニング実 習
		スポーツ実習S 救急処置法 レクリエーション理論と実習 I レクリエーション理論と実習 II
		エシマ ケンイチ 江島 顕一 (38) 〈平成32年4月〉 修士(教育学)※
兼担	准教 授	現代社会と道徳科学A※ 道徳科学A 道徳科学B
		麗澤スタディーズ※ スポーツとモラル

専任・ 兼担・		氏 名
兼任		(年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		—————————————————————————————————————
		<u> </u>
		中川 敏彰
		(69) 〈令和2年4月〉
兼担	教授	学士(文学)
		キャリア形成入門 キャリア形成研究
		キャリア形成演習 麗澤スピリットとキャリア
		グローバルキャリア研究
		ホリウチ カス・ノフ・
		堀内 一史 (65)
		〈令和2年4月〉 M. A. (米国)
		北米社会論
		現代社会と道徳科学B
兼担	教授	道徳科学A 道徳科学B
		TOEFL A
		English Summer Seminar 社会学
		海外語学研修(英語) I
		海外語学研修(英語) Ⅱ 麗澤スタディーズ
		マツタ* テツ
		松田 徹 (62)
兼担	教授	〈令和2年4月〉
		文学修士 中国語 I
		中国語 II モチッ キ マサミチ
		望月 正道
		(61) 〈令和2年4月〉
兼担	教授	Ph. D (英国)
		海外語学研修(英語) I 海外語学研修(英語) Ⅱ
		海外語学研修(英語) A 海外語学研修(英語) B
		ヤキ゛ヒテ゛ツク゛
		八木 秀次 (58)
兼担	教授	〈令和2年4月〉 法学修士※
		日本国憲法
		法学概論 A 法学概論 B
		ヤマカワ カス゛ヒコ
		山川 和彦 (60)
		〈令和2年4月〉 国際学修士
兼担	教授	文化交流論
ᄯᄪ	拟顶	言語政策と文化交流【隔年】 観光文化概説
		観光ホスピタリティ論
		観光フィールドワーク A 観光フィールドワーク B
		観光デザイン論 イエタ゛ ショウコ
		家田 章子
兼担	准教	(47) 〈令和2年4月〉
\r\1	授	博士(学術)
		日本語教授法の基礎
		イノシタ カオリ 井下 佳織
		(42)
		〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		健康科学
	准教	スポーツ・健康と社会 スポーツ科学概論
兼担	授	スポーツの理論と実習
		スポーツコンディショニング実 習
		スポーツ実習SA スポーツ実習SB
		対急処置法 レクリエーション理論と実習 I
		レクリエーション埋論と実習 I レクリエーション理論と実習 II
		エシマ ケンイチ
		江島 顕一 (38)
	\JL 111	〈令和2年4月〉 修士(教育学)※
兼担	准教 授	現代社会と道徳科学A※
		道徳科学A 道徳科学B
		麗澤スタディーズ※
		スポーツとモラル

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教 授	か リン 温 琳 (41) 〈平成32年4月〉 博士(文学) 中国語 I
		中国語址中国語址中国語Ⅳ
兼担	准教 授	川久保 剛 (46) 〈平成32年4月〉 修士(国際文化)※ 道徳科学A 道徳科学B
		人間学 麗澤スタディーズ※ クサモト アキラ 草本 晶
兼担	准教 授	(49) 〈平成32年4月〉 修士(文学)※ ドイツ語 I
		ドイツ語Ⅱ /マノ ルリコ
		熊野 留理子 (50) 〈平成32年4月〉 PhD in Education(米国)
兼担	准教 授	Global Studies I Global Studies II Global Studies III Global Studies IV History of US-Japan Relations 道徳科学A 道徳科学B Listening A Listening B
		_U. a* bua= .
兼担	准教 授	コリンズ クリスティ Collins, Kristie (46) 〈平成32年4月〉 博士(Interdisciplinary Studies) Introduction to Western
		Culture A Introduction to Western Culture B Gender Studies
		サイトウ タカシ 齋藤 貴志 (44) 〈平成32年4月〉 修士(言語学)
兼担	准教 授	中国語 I 中国語 II 中国語 II 中国語 IV 中国語特別演習 A 中国語特別演習 B 海外語学研修 (中国語) I 海外語学研修 (中国語) A 海外語学研修 (中国語) B
		サイトウ ユキタカ 齋藤 之誉 (53) 〈平成32年4月〉
兼担	准教 授	修士 (教育学) 民俗学 トラベルジオグラフィー 地誌
		地理学概論 A 地理学概論 B
		シュッテレ ホルガ- Schuetterle, Holger (46) 〈平成32年4月〉 Magister Artium(ドイツ)
兼担	准教 授	ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語特別演習 A
兼担		th り マユミ 瀬川 真由美 (56) 〈平成32年4月〉
	准教 授	文学修士 海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) A 海外語学研修(ドイツ語) B
兼担	准教 授	タカモト カオリ 高本 香織 (46) 〈平成32年4月〉 Ph.D. in Communication(米国) 対照言語学研究【隔年】※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教 授	おりり 温琳 (41) (令和2年4月) 博士(文学) 中国語 I 中国語 I 中国語 II 中国語 II
兼担	准教 授	がか、ツヨシ 川久保 剛 (46) 〈令和2年4月〉 修士(国際文化)※ 道徳科学A 道徳科学B 人間学 麗澤スタディーズ※
兼担	准教 授	カマノルリコ 熊野 留理子 (50) 〈令和2年4月〉 PhD in Education(米国) Global Studies I Global Studies II Global Studies IV History of US-Japan Relation 道徳科学 A 道徳科学 B TOEFL A TOEFL B Listening A Listening B
兼担	准教 授	コリンス クリスティ Collins, Kristie (46) 〈令和2年4月〉 博士(Interdisciplinary Studies) Introduction to Western Culture A Introduction to Western Culture B Gender Studies
兼担	准教 授	サイトウ タカシ 齋藤 貴志 (44) (44) (44) (44) (44) (44) (44) (44
兼担	准教 授	サイトウ ユキタカ 齋藤 之誉 (53) 〈令和2年4月〉 修士(教育学) 民俗学 トラベルジオグラフィー 地誌 地理学概論 A 地理学概論 B
兼担	准教 授	ジュッテレ ホルが - Schuetterle, Holger (46) 〈令和2年4月〉 Magister Artium(ドイツ)ドイツ語 I ドイツ語明 ドイツ語明 ドイツ語明 ドイツ語明 ドイツ語明 ドイツ語明 ドイツ語の ドイツ語の 海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) A 海外語学研修(ドイツ語) B
兼担	准教 授	th [*] ワマユミ 瀬川 真由美 (56) 〈令和2年4月〉 文学修士 ドイツ語 I ドイツ語 I 海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) A 海外語学研修(ドイツ語) A 海外語学研修(ドイツ語) B
兼担	准教 授	タカモト カオリ 高本 香織 (46) 〈令和2年4月〉 Ph.D. in Communication(米国) 対照言語学研究【隔年】※

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		トリキアン マーウィン. K
兼担	准教 授	Torikian, Merwyn. K (51) 〈平成32年4月〉 M. Ed(英国) Modern British Culture and Society A Modern British Culture and Society B
		パンモト トミタロウ 橋本 富太郎
兼担	准教 授	(45) 〈平成32年4月〉 博士(神道学) 道徳科学 A
		道徳科学B 麗澤スタディーズ※
兼担	准教 授	マケノートン アント・リュー S. MacNaughton, Andrew (50) 〈平成32年4月〉 PhD(中国) News Media Studies
		Commonwealth Studies
		山下 美樹 (52) 〈平成32年4月〉 Doctor of Education(米国)
兼担	准教 授	国際交流演習Ⅲ 国際交流演習Ⅳ 国際コミュニケーション論 Intercultural Communication 道徳科学A 道徳科学B TOEFL A TOEFL B
		3シタ [*] ケンイチロウ 吉田 健一郎
	准数	(42) 〈平成32年4月〉
兼担	准教 授	博士(経営情報学) 観光ホスピタリティ論 情報リテラシー 情報科学
兼担	講師	ウォーカー リチャート Walker, Richard John (46) 〈平成32年4月〉 MSc(Masters)in TESOL(英国)
		Western Music and Culture ウ゛ルカ゛リス ケ゛ラシモス
	講師	Voulgaris, Gerasimos (35) 〈平成32年4月〉 博士(地球環境科学)
兼担		Global Studies I Global Studies II English Communication I English Communication II English Communication III
		ภัリマルディ アレサンドロ Grimaldi, Alessandro (31)
兼担	講師	〈平成32年4月〉 Bachelor of Science in Commerce(米国)
NI I		English Communication I English Communication III English Communication IV
		コウラカタ リエ 小浦方 理恵
兼担	講師	(37) 〈平成32年4月〉 修士(人文科学)
		日本語教育実習
兼担	講師	サンプ - ジャヤ ラクシミ Samboo, Jaya Luxmi (40) 〈平成32年4月〉 M.A.(International
		Relations)(英国) Global Studies III Global Studies IV English Communication I English Communication II
		English Communication III English Communication IV

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教 授	f) f* a/1ウ 陳 玉雄 (54) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
兼担	教授	現代社会と道徳科学B※ トリキアン マーウィン K Torikian, Merwyn. K (51) 〈令和2年4月〉 M. Ed(英国) Modern British Culture and Society A Modern British Culture and Society B
兼担	准教 授	ハシモトトミタロウ 橋本 富太郎 (45) 〈令和2年4月〉 博士(神道学) 道徳科学A 道徳科学B
兼担	准教 授	麗澤スタディーズ※ マケノートン アント・リュー S. MacNaughton, Andrew (50) 〈令和2年4月〉 PhD(中国) News Media Studies Commonwealth Studies
兼担	教授	ヤマシタ ミキ 山下 美樹 (52) 〈令和2年4月〉 Doctor of Education(米国) 国際交流演習Ⅲ 国際交流演習Ⅳ 国際コミュニケーション論 Intercultural Communication 道徳科学A 道徳科学B TOEFL A TOEFL B English Summer Seminar Reading A Reading B
兼担	准教 授	3シダ ケンイチロウ 吉田 健一郎 (42) 〈令和2年4月〉 博士(経営情報学) 観光ホスピタリティ論 情報リテラシー 情報科学 基本情報実務演習【隔年】
兼担	准教授	ウォーカー リチャート Walker, Richard John (46) 〈令和2年4月〉 MSc(Masters) in TESOL(英国) Western Music and Culture
兼担	講師	ウ・ルが・リス ケ・ラシモス Voulgaris, Gerasimos (35) 〈令和2年4月〉 博士(地球環境科学) Global Studies I Global Studies I English Communication I English Communication II English Communication II English Communication II English Communication IV
兼担	講師	ク゛リマルデ・ィ アレサント゛ロ Grimaldi, Alessandro (31) 〈令和2年4月〉 Bachelor of Science in Commerce(米国) English Communication I English Communication IV Reading and Writing Workshop I Reading and Writing Workshop II
兼担	講師	コウラカタ リエ 小浦方 理恵 (37) 〈令和2年4月〉 修士(人文科学) 日本語教育実習
兼担	講師	サンプ・・ジャヤ ラクシミ Samboo, Jaya Luxmi (40) 〈令和2年4月〉 M.A.(International Relations)(英国) Global Studies III Global Studies IV English Communication I English Communication II English Communication II English Communication II English Communication IV

+		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		スニース ロビン S. Sneath, Robin Neil S.
兼担	講師	(45) 〈平成32年4月〉 学士(History、European studies)(英国)
		English Communication II English Communication III English Communication IV パーカー フェラット・リー
兼担	講師	Barker, Bradley (39) 〈平成32年4月〉 M.A.(オーストラリア) English Communication Ⅲ
		English Communication IV 英語特別演習 A 英語特別演習 B
		A 7/14(1 1/7 1/7 1/7 1/7 1/7 1/7 1/7 1/7 1/7 1/
兼担	講師	学) (ドイツ) ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I
	講師	ドイツ語特別演習B ^゙ロプロヴィ アンナ Belobrovy, Anna (41) 〈平成32年4月〉
兼担		M. A. (TESOL) (米国) English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV
	講師	マクリーシュ デイビッド McLeish, David (51) 〈平成32年4月〉 M.A.(Fine Arts)、 M.A.(Education)(米国)
兼担		English Communication II English Communication III English Communication IV Reading and Writing Workshop I Reading and Writing Workshop II
		ミッチェル コリン Mitchell, Colin (34) 〈巫 は22年4日〉
兼担	講師	〈平成32年4月〉 M.A.(Applied Linguistics and TESOL)(英国) English Communication I
		English Communication II English Communication III English Communication IV Reading and Writing Workshop II
	助教	キュウィーキ 邱 瑋琪 (50) 〈平成32年4月〉 博士(文学)
兼担 		中国語 I 中国語 II 中国語 II 中国語 IV 台湾語と東アジアの文化
		ナカツカ コス [*] ェ 中司 梢
兼担	助教	(39) 〈平成32年4月〉 博士(文学) 中国語 I 中国語 II 中国語 II
		中国語IV ハナダ・タイへイ 花田 太平 (38)
兼担	助教	〈平成32年4月〉 Ph.D. (English Studies)(英国) メディア社会論

専任・		氏 名
兼担・ 兼任		(年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		W H 1 IZ (
		担当授業科目名
		ジョンストン シェイマス
		Johnston, Seamus (38)
		〈令和2年4月〉 M. A. (TESOL) (米国)
兼担	講師	English Communication I
		English Communication I
		English Communication III English Communication IV
		Engiron communication is
		ハ゛ッハマイヤー エルウ゛ィラ
		Bachmaier, Elvira (35)
		〈令和2年4月〉 修士(日本学・ドイツ文学・社会
兼担	講師	学) (ドイツ)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
		ドイツ語皿
		ドイツ語Ⅳ ドイツ語特別演習B
		マクリーシュ デイビッド
		McLeish, David (51)
		〈令和2年4月〉 M.A.(Fine Arts)、
		M. A. (Education)(米国)
兼担	講師	English Communication I
		English Communication II English Communication III
		English Communication IV Reading and Writing
		Workshop I Reading and Writing
		Workshop II
		+ュウ イーキ 邱 瑋琪
		(50) 〈令和2年4月〉
		博士(文学)
兼担	助教	中国語 I 中国語 II
		中国語皿
		中国語Ⅳ 中国語特別演習A
		台湾語と東アジアの文化
		ナイトウ チカエ 内藤 知加恵
兼担	助教	(40) 〈令和2年4月〉
水坦	功狄	博士(商学)
		情報科学
		ナカツカ コス゛ェ
		中司 梢 (39)
兼担	助教	〈令和2年4月〉 博士(文学)
NV 1	->J+X	中国語 I
		中国語 I 中国語 II
		中国語IV
		ハナダ゛タイへイ 花田 太平
兼担	准教	(38) 〈令和2年4月〉
ANIL	授	Ph. D. (English Studies) (英国
		メディア社会論
	<u> </u>	I.

+ ~		1
専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月>
	122 1	保有学位等
		担当授業科目名
		-11
		7キヤマ マキコ 秋山 まき子
並に	≘典点で	(57) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		English Communication I
		English Communication II
		荒谷 友碩 (25)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 学士(文学)
		スポーツ実習S
		イケザ・キ・シンヤ
** **	-4.4-	池崎 真也 (48)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 学士(文学)
		TOEFL A TOEFL B
		イシミツトシアキ
		石光 俊明 (44) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	修士(大学アドミニストレーショ
XXII	нтти	ン)
		基礎・学際演習A※ 基礎・学際演習C※
		基礎・学際演習E※
		イ ジョンミ 李 貞美
兼任	講師	(51) 〈平成32年4月〉
		修士(教育学)※ 韓国語 I
		韓国語 Ⅱ イ ホンギョン
		李 憲卿 (58)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 博士(文学)
		韓国語I
		韓国語Ⅱ
		オオツカ テツヤ 大塚 哲也
兼任	∓ # 6≖	(35) 〈平成32年4月〉
水江	講師	修士(法学)※
		民法
		オオヌマ ヒロヤス 大沼 博靖
兼任	講師	(52) 〈平成32年4月〉
	er	修士(体育学)※
		スポーツ実習S オルラント゛ダビデ
		Orlando, Davide
		(49) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	修士(ドイツ)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
		カシ゛タ ユキオ
		梶田 幸雄 (65)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 法学博士
		労働法入門
		L

専任・ 兼担・		氏名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
しょりり	4以仁	保有学位等
		担当授業科目名
		フジノ シンヤ 藤野 真也
兼担	助教	(37) 〈令和2年4月〉
		博士(経営学) 現代社会と道徳科学B※
		モリタリュウシ
		森田 龍二 (43)
		〈令和2年4月〉 修士(経済学)
兼担	助教	基礎・学際演習A※ 基礎・学際演習B
		基礎·学際演習C※ 基礎·学際演習D
		基礎・学際演習E※ 基礎・学際演習F
		339 リウ横田 理宇
* 1□	at +v	横田 埋于 (39) 〈令和2年4月〉
兼担	助教	博士(経営学)
		情報リテラシー 情報科学
		ノシミッ トシマナ
		イシミツ トシアキ 石光 俊明 (44)
		(キャ) 〈令和2年4月〉 修士(大学アドミニストレーシ
兼任	講師	ン)
		麗澤スピリットとキャリア 基礎・学際演習A※
		基礎・学際演習 C ※ 基礎・学際演習 E ※
		イ ジョンミ 李 貞美
兼任	講師	(51) 〈令和2年4月〉
1	an a mar	修士(教育学)※ 韓国語 I
		韓国語Ⅱ イポンキ・ョン
		1 ポンキョン 李 憲卿 (58)
兼任	講師	(58) 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		韓国語 I
		韓国語Ⅱ イリエ タマヨ
		入江 珠代 (55)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 学士(法学)
		イタリアの言語と文化
		オオツカ テツヤ 大塚 哲也
兼任	講師	(35) 〈令和2年4月〉
-110 14	HLT HILL	修士(法学)※
		民法
		が3₹ ヒロヤス 大沼 博靖 (52)
兼任	講師	〈令和2年4月〉
		修士(体育学)※ スポーツ実習SA
		スポーツ実習SB オルラント゛ダビデ
		Orlando, Davide (49)
<u></u>	سه عهو	〈令和2年4月〉 修士(ドイツ)
兼任	講師	ドイツ語 I ドイツ語 I
		ト 1 ソ語□ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
		ドイツ語特別演習A
_		カジタ ユキオ 梶田 幸雄
兼任	講師	(65) 〈令和2年4月〉
		法学博士
		労働法入門

専任・ 兼担・		氏 名
兼任	11th 67	(年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		カトウ アキラ 加藤 朗
		(68)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(政治学)
		│ 政治学A
		政治学B
		カトウ スミェ 加藤 澄恵
		(53)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 Master of Education (英国)
		TOEFL A
		Reading A Reading B
		カワハ゛タ ケンシ゛ リロ端 健嗣
**	=# AT	(40)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(社会学)
		情報リテラシー
		カンリフ デイヴィッドJ
		Cunliffe, David John Dominic (54)
		〈平成32年4月〉 M.A.in Applied Linguistics(英
		国)
兼任	講師	Business English A
		Business English B Listening A
		Listening B Reading A
		Reading B
		クニハラ コウイチロウ
		國原 幸一朗 (53)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(教育学)※
		世界史概論 A 世界史概論 B
		コウ カン
		耿 函 (56)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(国際学)
		中国語 I 中国語 I
		コ゛ート゛ン ピーター Gordon, Peter Frederick
		(55) 〈平成32年4月〉
		B. A. (英国)
兼任	講師	
		Writing A
		Writing B
		ササハラ ケン 笹原 健
		(47) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	修士(文学)※
		情報リテラシー
		シェー スティーフ゛ン R. Shea, Steven Russell
		(50) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	Bachelor of Arts(Sociology)(米国)
<u> </u>		
		English Communication I English Communication II
		シミス゛ テツロウ
		フスペープログ 清水 哲郎 (62)
兼任	講師	(02) 〈平成32年4月〉 文学士
		情報技術活用

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		カワハ゛タ ケンシ゛ 川端 健嗣 (40)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 修士(社会学) 情報リテラシー 情報技術活用
		カンリフ デイヴィッドJ Cunliffe, David John Dominio (54) 〈令和2年4月〉
		M. A. in Applied Linguistics(多重) English Communication I
兼任	講師	English Communication II English Communication III English Communication IV Business English A
		Business English B Listening A Listening B Reading A Reading B
		Writing A Writing B
兼任	講師	國原 幸一朗 (53) 〈令和2年4月〉 修士(教育学)※
		世界史概論 A 世界史概論 B コウ カン
兼任	講師	耿 函 (56) 〈令和2年4月〉 修士(国際学)
		中国語 I 中国語 II コ [*] ート [*] ン ピーター
		Gordon, Peter Frederick (55) 〈令和2年4月〉 B.A.(英国)
兼任	講師	English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV
		Listening A Listening B Writing A Writing B
兼任	講師	サイトウ マサキ 齋藤 正樹 (45) 〈令和2年4月〉
		修士(工学)、修士(文学)※ ドイツ語 I
		シェー スティープン R. Shea, Steven Russell (50) 〈令和2年4月〉 Bachelor of
兼任	講師	Arts(Sociology)(米国) English Communication I English Communication II
		English Communication Ⅲ English Communication Ⅳ シミズ・テツロウ 清水 哲郎
兼任	講師	(62) 〈令和2年4月〉 文学士 情報技術活用
		シュテーカ・ー クリスティアン
兼任	講師	Steger, Christian (36) 〈令和2年4月〉 修士(日本学、ドイツ文学、ド
		イツ語教育学) ドイツ語 I ドイツ語 II
	1	1 1 2 HH M

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		スズ [*] キミエ 鈴木 未恵 (44) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	修士(文学) Japan Studies in English I Japan Studies in English II
兼任	講師	タカハシ カオル 高橋 薫 (56) 〈平成32年4月〉 博士(学術) Japan Studies - 日本文化・事情
		ー 言語コミュニティ論A
兼任	講師	fョン シfュン 丁 時春 (41) 〈平成32年4月〉 修士(文学)※
		韓国語 I 韓国語 II
兼任	講師	ナカハタ クニオ 中畑 邦夫 (48) 〈平成32年4月〉 博士(哲学)
		哲学概論 A 哲学概論 B
		ナカモト ケンサク
兼任	講師	中本 健作 (63) 〈平成32年4月〉 学士(文学)
		情報リテラシー情報科学
兼任	講師	ニシ /ブ・コ 西 暢子 (45) 〈平成32年4月〉 修士(文学)※ 中国語 I
		中国語 I 中国語 II =>hり ∃>hツ
兼任	講師	-7/17 37/17 西川 佳克 (54) 〈平成32年4月〉 修士(体育学)
		スポーツ実習S
兼任	講師	tがチ7キ 樋口有記 (38) 〈平成32年4月〉 Bachelor of Arts specialized in Chinese Studies, International Business(オース トラリア)
		Writing A Writing B
		フーパー ト・ノウ・ァン. A Hooper, Donevan Antonio (56) 〈平成32年4月〉 M. A. TEFL/TESL(英国)
兼任	講師	English Communication I English Communication II Reading A Reading B Writing A Writing B
		7クダ ダイジ 福田 大治
兼任	講師	(53) 〈平成32年4月〉 修士(地域研究) スペイン語と文化
		】
兼任	講師	Poupi, Damien Georges Arnaud (45) 〈平成32年4月〉 学士(文学)
		フランス語と文化

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		ソウ タケシ
		宗 健 (54)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 博士(社会工学)
		統計学入門 タカハシ カオル
		高橋 薫 (56)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 博士(学術)
		Japan Studies —日本文化·事作 ー 言語コミュニティ論 A
		チョン シチュン 丁 時春
兼任	講師	(41) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※
		韓国語 I 韓国語 II
		ナカハタ クニオ 中畑 邦夫
兼任	講師	(48) 〈令和2年4月〉 博士(哲学)
		哲学概論 A 哲学概論 B
		ナカミチ ヨシヒコ 中道 嘉彦 (67)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 教育学修士※
		麗澤スタディーズ※
		ニシノブコ
兼任	講師	西 暢子 (45) 〈令和2年4月〉
米江	ᄚᅲᄞᆘ	修士(文学)※ 中国語 I
		中国語Ⅱ ニシカワ ヨシカツ
兼任	講師	西川 佳克 (54) 〈令和2年4月〉
		修士(体育学) スポーツ実習SA
		スポーツ実習SB
		7/9゛9゛イジ 福田 大治
兼任	講師	(53) 〈令和2年4月〉 修士(地域研究)
		スペイン語と文化
		プピック・ミアン Poupi, Damien Georges Arnaud (45)
兼任	講師	(45) 〈令和2年4月〉 学士(文学)
		フランス語と文化

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	71/1 リリ 冬月 律 (40) 〈平成32年4月〉 修士(宗教学)※ 社会活動演習 I 社会活動演習 I 道徳科学 A 道徳科学 B
兼任	講師	#Jウチ マサヒコ 堀内 正彦 (50) 〈平成32年4月〉 修士(心理学)※
兼任	講師	マハルザン ラビ Maharjan, Ravi (37) 〈平成32年4月〉 博士(英語学) English Communication I English Communication II Listening A Listening B
兼任	講師	ヤマサキ アヤ 山崎 彩 (44) 〈平成32年4月〉 博士(文学) イタリアの言語と文化
兼任	講師	3차/ 1ミ 米井 由美 (34) 〈平成32年4月〉 修士(文学)※ 中国語 I 中国語 II
兼任	講師	ラフピーター アルバート Luff, Peter Albert (65) 〈平成32年4月〉 D. Phil. (英国) Japan Studies A Japan Studies B
兼任	講師	リュウ コウセキ 劉 光赤 (64) 〈平成32年4月〉 文学士(中国) 中国語 I 中国語 II

専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		担当技業件日名
		冬月 律 (40)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 修士(宗教学)※
N IT	יוים פים	社会活動演習 I 社会活動演習 II
		道徳科学A 道徳科学B
		ポリウチ マサヒコ 堀内 正彦
兼任	講師	(50) (令和2年4月)
水江	i 라이	修士(心理学)※
		心理学
		マハルサ゛ン ラヒ゛ Maharjan, Ravi (37)
		(37) 〈令和2年4月〉 博士(英語学)
		English Communication I
兼任	講師	English Communication II Listening A
		Listening B Reading A
		Reading B Writing A
		Writing B
		ラフヒ゜ーター アルハ゛ート
		Luff, Peter Albert (65)
		〈令和2年4月〉 D. Phil. (英国)
兼任	講師	Japan Studies A Japan Studies B
жц	마다마	English Communication I English Communication I
		English Communication III English Communication IV
		Business English A Business English B
		リュウコク
± 1+	all Ar	李 鴻谷 (68) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	修士(文学)
		中国語 I 中国語 I

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

```
岩澤 知子教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
黒須 里美教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
近藤 彩教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
櫻井 良樹教授において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
|杉浦 滋子教授において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
松島 正明教授において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
|大関 浩美教授において、准教授から教授に昇格および担当科目の見直しにより、科目追加
匂坂 智子准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
宮下 和大准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
Morgan, Jason M. 准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
内尾 太一准教授において、助教から准教授に昇格および担当科目の見直しにより、科目追加
大塚 秀治(兼担)教授において、退職により就任辞退
大野 正英(兼担)教授において、所属学部の都合により、科目削除
籠 義樹(兼担)教授において、担当科目の名称変更およびオムニバスによる開講の追加
上村 昌司(兼担)教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
川上 和久(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
佐藤 仁志(兼担)教授において、死亡により就任辞退
清水 麗(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
清水 千弘(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
|髙辻 秀興(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
|徳永 澄憲(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
豊嶋 建広(兼担)教授において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
中川 敏彰(兼担)教授において、担当科目の名称変更
中野 千秋(兼担)教授において、所属学部の都合により、就任辞退
|堀内 一史(兼担)教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
正宗 鈴香(兼担)教授において、退職により就任辞退
|松田 徹(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
井下 佳織(兼担)准教授において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
草本 晶(兼担)准教授において、所属学部の都合により、就任辞退
|熊野||留理子(兼担)准教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
|齋藤 貴志(兼担)准教授において、所属学部の都合により、科目削除
Schuetterle, Holger(兼担)准教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
瀬川 真由美(兼担)准教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
陳 玉雄(兼担)准教授において、新しく科目を担当することになり就任
Torikian, Merwyn. K(兼担)教授において、准教授から教授に昇格
山下 美樹(兼担)教授において、准教授から教授に昇格および所属学部の都合により、科目追加および削除
吉田 健一郎(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
Walker, Richard John(兼担)准教授において、助教から准教授に昇格
Voulgaris, Gerasimos(兼担)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
|Grimaldi, Alessandro(兼担)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
|Samboo, Jaya Luxmi(兼担)講師において、所属学部の都合により、科目削除
Johnston, Seamus(兼担)講師において、新しく科目を担当することになり就任
Sneath, Robin Neil S.(兼担)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Barker, Bradley(兼担)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Belobrovy, Anna(兼担)講師において、退職により就任辞退
McLeish, David(兼担)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
Mitchell, Colin(兼担)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
|邱 瑋琪(兼担)助教において、担当科目の見直しにより、科目追加
内藤 知加恵(兼担)助教において、新しく科目を担当することになり新規採用就任
||花田 太平(兼担)准教授において、助教から准教授に昇格
|藤野 真也(兼担)助教において、新しく科目を担当することになり就任
森田 龍二(兼担)助教において、新しく科目を担当することになり就任
横田 理宇(兼担)助教において、新しく科目を担当することになり就任
|秋山 まき子(兼任)講師において、退職により就任辞退
荒谷 友碩(兼任)講師において、退職により就任辞退
池崎 真也(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
石光 俊明(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加
|入江 珠代(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
|大沼 博靖(兼任)講師において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
Orlando, Davide(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加
|加藤 朗(兼任)講師において、退職により就任辞退
加藤 澄恵(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
川端 健嗣(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
Cunliffe, David John Dominic(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
Gordon, Peter Frederick(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加
齋藤 正樹(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
笹原 健(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Shea, Steven Russell(兼任)講師において、担当科目の見直しにより
Steger, Christian(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
|鈴木 未恵(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
|宗 健(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
中道 嘉彦(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
中本 健作(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
西川 佳克(兼任)講師において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
樋口有記(兼任)講師において、退職により就任辞退
Hooper, Donevan Antonio(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Maharjan, Ravi(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
山﨑 彩(兼任)講師において、退職により就任辞退
||米井||由美(兼任)講師において、退職により就任辞退
Luff,Peter Albert(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加
|李 鴻谷(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
劉 光赤(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
```

- 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - · <u>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。<u>AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。</u>
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

ウザケウサルカルフ	
完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況							
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')		
6	6	0	1	13	0	9	6	0	0	15	0		
(9)	(6)	(0)	(0)	(15)	(0)								
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画							
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')		
7	6	0	0	13	0	7	6	0	0	13	0		
[1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[0]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、</u> 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目		後任	補充状況	兄	京	忧任辞退	(未	就任)の理Ⅰ	由	
1			該当なし														
2																	
			合計	(D)							後	· 经任補充状況	の集計	(E))		
疗	就任	を辞	退した教員数	担当科目	関数の合計	· (a)	+ (b) + (c)	1	の合計	·数(a)		②の合計	十数(b)		③の合計	数(c))
				必	修		科目	必	修		科目	必修		科目	必修		科目
				選	択		科目	選	፤ 択		科目	選択		科目	選択		科目
		0	人	自	由		科目	自	由		科目	自由		科目	自由		科目
					†	0	科目	Ī	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目		後任	補充状況	5		辞任	£等(の理由		
1			該当なし														
2																	
			合計	(F)							後	经任補充状況	の集計(G)			
	辞	任し	した教員数	担当科目	目数の合計	(a)	+ (b) + (c)) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合				③の合計	数(c)			
				必	修		科目	必作	修		科目	必修		科目	必修		科目
				選	択		科目	選扎	択		科目	選択		科目	選択		科目
		0	人	自	由		科目	自日	由		科目	自由		科目	自由		科目
				į	H	0	科目	計	t I	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)		後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合					
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
0	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	0	_	0	04
(2)-②設置時の計画(A)	_	13	_	U	70

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況			辞任等の	理由	
1			該当なし										
2													
			4	計						後任補充物	犬況の集計		
	話	辞任し	ンた教員数	担当科目数の合詞	† (a) + (l	b) + (c)	①の合計	·数(a)		②の合計	十数(b)	③の合計	·数 (c)
				必修		科目	必修		科目	必修	科目	必修	科目
		•		選択		科目	選択		科目	選択	科目	選択	科目
		0	Α	自由		科目	自由		科目	自由	科目	自由	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
	経済学部経営学科の入 学定員超過の是正に努 めること。	遵守事項	経営学科の昨年度入学定員 超過率が1.26倍だったが、 今年度は1.24倍に是正し た。	履行中	入学定員の是正に引き続き 努めていく。
		•			

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

全学的な組織としてファカルティディベロップメント(FD)委員会を設置し、研究科(大学院)の代表も委員として委嘱し、全学的な取り組みとして実施している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

<2019年度>

第1回:6月13日(木) 教員12名中10名参加 第2回:12月12(木) 教員12名中10名参加

c 委員会の審議事項等

<2019年度>

第1回:授業評価アンケートの件

第2回:2019年度第2学期授業評価アンケートにおける記名の件、2020年度以降の授業評価アンケートの件

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ①アクティブラーニングの基礎と実践(授業方法について研究会)
 - ②新任教員研修会
 - b 実施方法
 - ①外部講師を招き、実際にアクティブラーニングを取り入れ、実践的にFDを実施した。
 - ②学内にて集合型の研修を行った。
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)

①第1回:7月11日(木)45名参加 第2回:9月11日(水)35名参加 第3回:11月7日(火)35名参加 ②9月11日(火)新任教員4名、大学執行部3名、事務局1名参加

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ①各授業へのアクティブラーニング取り組みに向け、各専攻及び教員が授業計画及びシラバス作成を行ってい

る。 ②建学の理念や教育目的に関する理解を深め、麗澤大学の一員としての自覚を深めた。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・授業評価アンケート:1学期(7月11日(木)~7月24日(水))、 2学期(1月6日(月)~1月20日(月))に行った。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・集計結果を該当教員にフィードバックし、必要な回答を求めた。その結果は、図書館で閲覧可能にした。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

当	な	L.
=	φ.	$\overline{}$

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・本学部設置の趣旨・目的およびその教育内容を入試要項、ホームページ等で分かりやすく紹介した。 入学者選抜の段階から、提出された書類の審査や口頭試問を実施することによって、学部で の学習に適合しているかどうかをより明確に審査した。
- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・自己点検・評価の結果は『麗澤大学年報』に取りまとめ、令和2年7月末 公表(予定)
 - b 公表方法
 - ・大学ウェブサイト上に公開予定(令和2年7月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・2014年度に大学機関別認証評価を受け、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」 と認定された。次回認証評価は、2021年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

O 設置計画履行状況報告書(令和 2 年度)	
a 公表予定の有無 〔 有 · 無 〕	
≪ a で「有」の場合≫ b 公表(予定)時期 [◆調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降 c 公表方法 [◆ウェブサイトへの掲載)・ その他()]
≪aで公表「無」の場合≫ d 公表しない理由 〔)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

麗澤大学委員会規程

昭和62年4月1日制定令和元年6月13日最近改正

(目的)

第1条 この規程は、麗澤大学学則第13条第2項の規定に基づき、本学に設置する委員会に関する総括的事項について定めることを目的とする。

(委員会の種類)

第2条 本学に設置する常設の委員会は、次のとおりとする。

- (1) 学生委員会
- (2) 自己点検委員会
- (3) FD 委員会
- (4) 入学試験委員会
- (5) 教員倫理委員会
- (6) 紀要編集委員会
- (7) 寮教育委員会
- 2 臨時の委員会は、必要に応じ学長が設置するものとする。

(任務・業務)

第3条 委員会は、学長の諮問に答えるとともに、必要事項の立案及び実施に当たる。

2 委員会の業務は、本学の中期計画及び当該年度の事業計画に基づき、毎年度当初に確認する。

(構成・委嘱・任期)

第4条 委員会は、委員長並びに委員をもって構成する。ただし、必要に応じて副委員長を置くことができる。

- 2 委員長、副委員長及び委員は、学長がこれを委嘱する。
- 3 委員長、副委員長及び委員の任期は1年とし、毎年4月1日付けで委嘱する。ただし、 再任を妨げない。

(委員長・副委員長)

第5条 委員長は、委員会を主宰するとともに、学長の諮問事項について、答申及び報告の 義務を負う。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第6条 削除

第7条 削除

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、大学事務局教育研究支援グループが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学執行部会議の意見を聴取した後、学長がこれを定める。

附則

- 1 この規程は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成2年4月1日から改定施行する。
- 3 この規程は、平成4年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、次の規程は、廃止する。
 - (1) 運営会議規程(昭和 62 年 4 月 1 日施行)
 - (2) 企画常任委員会規程(昭和62年4月1日施行)
 - (3) 規程委員会規程(昭和62年4月1日施行)
 - (4) 留学生制度検討委員会規程(平成2年4月1日施行)
- 4 この規程は、平成5年4月1日から改定施行する。
- 5 この規程は、平成6年4月1日から改定施行する。
- 6 この規程は、平成6年7月16日から改定施行する。
- 7 この規程は、平成7年4月1日から改定施行する。
- 8 この規程は、平成9年4月1日から改定施行する。
- 9 この規程は、平成12年4月1日から改定施行する。
- 10 この規程は、平成14年4月1日から改定施行する。
- 11 この規程は、平成 15年 10月1日から改定施行する。
- 12 この規程は、平成16年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学同和教育推進委員会規程、麗澤大学安全衛生委員会規程及び麗澤大学奨学生委員会規程は廃止する。
- 13 この規程は、平成16年6月1日から改定施行する。
- 14 この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学特別教育活動委員会細則は、廃止する。
- 15 この規程は、平成18年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学図書館委員会細則、麗澤大学紀要等編集委員会 細則、麗澤大学就職指導委員会細則、麗澤大学入試制度検討委員会細則及び麗澤大学麗澤教 育編集委員会細則は、廃止する。

- 16 この規程は、平成20年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の道徳科学教育委員会細則は、廃止する。
- 17 この規程は、平成22年4月1日から改定施行する。
- 18 この規程は、平成23年4月1日から改定施行する。
- 19 この規程は、平成24年4月1日から改定施行する。
- 20 この規程は、平成25年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学 I-Lounge 委員会細則は、廃止する。
- 21 この規程は、平成27年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学広報戦略委員会細則、麗澤大学ホームカミング デイ委員会細則、麗澤大学社会的責任推進委員会細則、麗澤大学寮教育委員会細則及び麗澤 大学出版会運営委員会細則は、廃止する。
- 22 この規程は、平成29年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学教職課程委員会細則は、廃止する。
- 23 この規程は、平成30年4月1日から改定施行する。
- 24 この規程は、平成30年10月1日から改定施行する。
- 25 この規程は、令和元年6月13日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学学生委員会細則、麗澤大学自己点検委員会細則、 麗澤大学教育課程委員会細則、麗澤大学 FD 委員会細則、麗澤大学入学試験委員会細則、麗 澤大学教員倫理委員会細則、麗澤大学紀要編集委員会細則、麗澤大学留学・国際交流委員会 細則及び麗澤大学寮教育委員会細則は廃止する。

- 調査対象大学等の概要等 1
- (1) 設置者

学校法人廣池学園

- (2) 大 学 名 麗澤大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒277−8686 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ヒロイケ モトタカ) 廣 池 幹 堂 (平成元年2月)		
学長	(トクナガ スミノリ) 徳 永 澄 憲 (平成31年4月)		
学 部 長	(ノバヤシ ヤスヒコ) 野 林 靖 彦 (令和2年4月)		
学科長等	なし		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 - 令和2年度に報告する内容 → (2)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告 された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を 記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1佣 右
国際学部 _{グローバルビジネス学科} 学士(グロー バルビジネス)	経済学関係	年 4	人 80	年次 -	人 320	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均入学定員		備	考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期		超 過 率	の平均入学定 員超過率	VĦ	75
A 入学定員					80人 — (一) [16]				
志願者数					572 — (-) (-) [11] [-]				
受験者数	_ / _		_ / _		536 — (-) (-) [10] [-]	1. 07倍	-		
合格者数					328 — (-) (-) [10] [-]				
B 入学者数					86				
入学定員超過率 B/A	/	/		/	1. 07				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	8年度	平成2	9 年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和 2	2年度	 備	考
学	年	春季入学	その他の学期	ин	7								
		_	_	_	_	_	_	_	_	86	_		
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[6]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
				_	_	-	_	_	_	_	_		
	2 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						-	1	_	_	_	_		
	3 年次					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
						(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
								_	_	_	_		
	4 年次							[-]	[-]	[-]	[-]		
								(-)	(-)	(-)	(-)		
		-	_	_	_	_	-	_	_	8	6		
	計	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[(ô]		
		(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)		

- ・令和2年5月1日 公表
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

_ ::						
区分	在学者数(b)	退党考数(公)		内訳	- 	主な退学理由
対象年度	在于10 数(D)	返于有奴(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
					うち留学生数	
平成28年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
平成29年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
十级23年及	X		平成29年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
平成30年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
令和2年度	86 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下・学力不足・他の教育機関への入学・転学 •海外留学 ・就職・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#VALUE! % 平成28年度の在学者数(b) 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) **#VALUE!** 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) **#VALUE!** % 平成30年度の在学者数(b) 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) **#VALUE!** %

【令和2年度】

令和元年度の在学者数(b)

【平成28年度】

<u>平成28年度の退学者数(a)</u>

令和2年度の退学者数(a) % 令和2年度の在学者数(b)

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 グローバルビジネス学科>

(1)一① 授業科目表

【届出時】

【令和2年度】

41 F F **	jet alk 4.1	配当		単位数				員等			兼 任			a — ··		120 제대 주기 (주	配当		単位数			任教				_
科目図分	授業科目の名称 	配 当年 次	必修		自由	教授	准 教授	講師	助教	助手	· 兼 担			目図分		授業科目の名称	配 当年 次	必修	選択	自由由	教授	准 教 授	講師	助教	助	
基及	Principles of Economics A	1後		2	<u> </u>		X	Hill	- 72		1	亨	学 基	. Α k ====	F	Principles of Economics A	1後	- 12	2		1		, Hill	7%		Ť
基基群科目	Principles of Economics B	2前		2							1	1 車	斗 啶 享 専	A 群 I 科	F	Principles of Economics B	2前		2							
門目	Principles of Management A	1前		2		1						門	門 門	引 目		Principles of Management A	1前		2		1					
 科 目	Principles of Management B	1後		2		1							4 目 目		F	Principles of Management B	1後		2		1					
	経営学概論A	1前		2					1				- -		弁	経営学概論A	1前		2					1		
	経営学概論B	1後		2					1						弁	経営学概論B	1後		2					1		
	経済原論A	1後		2							1				弁	経済原論A	1後		2		1					
	経済原論B	2前		2							1					経済原論B	2前		2		Ι΄.					
	Accounting A	2前		2			1				Ċ					Accounting A	2前		2			1				
	Accounting B	2前		2												Accounting B	2前		2							
																_										
	Macroeconomics	2前		2							'					Macroeconomics	2前		2							
	Marketing A	2前		2		1										Marketing A	2前		2							
	Marketing B	2後		2		1										Marketing B	2後		2		1					
	Microeconomics	2前		2							1					Microeconomics	2前		2							
	Statistics A	2前		2							1				S	Statistics A	2前		2							
	Statistics B	2前		2							1				S	Statistics B	2前		2							
	グローバル基礎演習A	2前		2		2	1								1	グローバル基礎演習A	2前		2		2	1				
	グローバル基礎演習B	2後		2		2	1								1	グローバル基礎演習B	2後		2		2	1				
	マーケティング総論A	2前		2							1				-	マーケティング総論A	2前		2							
	マーケティング総論B	2後		2							1				-	マーケティング総論B	2後		2							
	マクロ経済学	2前		2							1					マクロ経済学	2前		2							
	ミクロ経済学	2前		2							1					ミクロ経済学	2前		2			[1			
	経営情報A	2前		2												ミグロ 柱海子 経営情報A	2前		2			[1			
															- 1							[1			
	経営情報B	2後		2							1				- 1	経営情報B	2後		2			[1			
	経営組織論A	2前		2		1									- 1	経営組織論A	2前		2		1					
	経営組織論B	2後		2		1									- 1	経営組織論B	2後		2		1					
	世界経済論	2前		2		1									ļt	世界経済論	2前		2		1					
	統計学A	2前		2							1				糸	統計学A	2前		2							
	統計学B	2後		2							1				糸	統計学B	2後		2							
	入門計量経済学	2前		2							1				ز	入門計量経済学	2前		2							
	簿記原理	2前		4			1								ş	簿記原理	2前		4			1				
	国際地域研究入門	1後	2			1										国際地域研究入門	1後	2			1					
	グローバルリーダー論	2前	2				1									グローバルリーダー論	2前	2			1	0				
▎┕			1	2		1										ァー・バルノーダー海外研修(初級)			2		'	ľ				
		2前				l					,						2前				Ι΄					
	Philosophy and Economic Behavior			2							'					Philosophy and Economic Behavior			2							
	Japan Studies A	2前		2							1					Japan Studies A	2前		2							
	Japan Studies B	2後		2							1					Japan Studies B	2後		2							
	Cultural Studies A	2前		2							1				C	Cultural Studies A	2前		2							
	Cultural Studies B	2後		2							1				C	Cultural Studies B	2後		2							
	国際開発協力概論	2前		2		1									[国際開発協力概論	2前		2		1					
	国際社会論	2前		2		1									E	国際社会論	2前		2		1					
	国際コミュニケーション論	2前		2			1								E	国際コミュニケーション論	2前		2		1	0				
	コンピュータ科学	2前		2							1				-	コンピュータ科学	2前		2							
	データベース	2前		2							1				- -	データベース	2前		2							
	情報技術実務演習	2後		2							1				- 1	情報技術実務演習	2後		2							
	プログラミング	2後		2							1				- 1	プログラミング	2後		2							
	金融論	2前		2							'					金融論	2前		2							
											'															
	経営史	2前		2							'				- 1	経営史	2前		2							
	日本経済史	2後		2							'					日本経済史	2後		2							
	簿記実務演習(初級)	2後		2			1									簿記実務演習(初級)	2後		2			1				
	経済学入門(中国語)	2前		2			1								糸	経済学入門(中国語)	2前		2			1				
	経済数学	2前		2							1				糸	経済数学	2前		2							
	中国専門書講読A	2前		2			1								-	中国専門書講読A	2前		2			1				
	中国専門書講読B	2後		2			1								r.	中国専門書講読B	2後		2			1				
	現代中国入門A	2前		2							1				Ŧ	現代中国入門A	2前		2							
	現代中国入門B	2後		2							1				Ī	現代中国入門B	2後		2							
	小計(56科目)	_	4	110	0	4	3	0	1	0	12				7	小計(56科目)	_	4	110	0	6	2	0	2	0	-
上 A	Finance	3前	Ė	2	Ť		É			\vdash	1		上	- A	_	Finance	3前		2	-	Ė	<u> </u>	Ť		Ė	-
級群	L	3前		2		1							上級専門	A 群	: <u>'</u>	International Economics	3前		2		1	1	1			
専 科門 目	グローバルマーケティング	3後											専	[科] 目	·	がローバルマーケティング	3後					1	1			
上級専門科目A群科目				2							'		科目	[]	1				2			1	1			
目	東南アジア経済社会論	3前		2		1							目			東南アジア経済社会論	3前		2		1	[1			
	北米経済論	3前		2		1										北米経済論	3前		2		1					
	会計学原理A	3前		2							1				É	会計学原理A	3前		2			1	1			
	会計学原理B	3後		2							1				É	会計学原理B	3後		2			[1			
	経営戦略論	3前		2							1				弁	経営戦略論	3前		2			[1			
	国際開発経済論	3前		2		1									- 1	国際開発経済論	3前		2		1	[1			
	International Business	3前		2		1										International Business	3前		2		1					
		3後					1										3後				4	0	1			
	Intercultural Communication			2] ,										Intercultural Communication			2			١ '				
	Strategic Management	3前		2		1										Strategic Management	3前	1	2		1	1	1			
	ビジネスエシックス	3前	1	2	1	1	I	1	ı	. 1	1	- 1	- 1	1	lt	ビジネスエシックス	3前	1 /	2	1 '	1	1	1	1	1	

	T	I	Ι,	出口:	*-	-	5 /~ +″	, 므 ^^-	· ~ =-	甲	兼	F.	<u> </u>	7 TH Z +			ı	꿈ᄼᅩᄬ	ėh-	T -	5 l~ +'	, 무 ሎ	~ ^{π−}	罕	兼
科目図分	授業科目の名称	配当年次	必	単位3	自	教	准教	講	助	助	任·兼		科	目図分	授業科目の名称	配 当年次	必	単位数	自	教	准 准 教 授	講	助	助	兼任・兼担
学上	国際経営論	3後	修	. 択 2	<u> 由</u> 	<u>授</u>	授	師	教	手	担	学	<u>- []</u>	L A 取 群	国際経営論	3後	<u> </u>	. 択. 2	<u> 由</u> 	<u>授</u>	<u>授</u>	師	教	手	<u>担</u>
字科専門科目上級専門科目	人事管理論	3前		2		ľ					1	科専	上一般	及	人事管理論	3前		2							1
門門	— 機械学習	3後		2							1	一門	31P'		機械学習	3後		2							1
科 科 目 目	AIビジネス	3前		2							1	科 目	 	} }	AIビジネス	3前		2							1
	グローバルファイナンス	3後		2							1				グローバルファイナンス	3後		2							1
	グローバルリーダー海外研修(上級	3前•後		2		1			1						グローバルリーダー海外研修(上級)	3前•後		2		1			1		
	中国経済論	3前		2			1								中国経済論	3前		2			1				
	ビッグデータ分析	3後		2							1				ビッグデータ分析	3後		2							1
	経済倫理	3前		2							1				経済倫理	3前		2							1
	計量経済学	3前		2							1				計量経済学	3前		2							1
	国際金融論	3後		2							1				国際金融論	3後		2							1
	中級マクロ経済学	3前		2							1				中級マクロ経済学	3前		2							1
	中級ミクロ経済学	3後		2							1				中級ミクロ経済学	3後		2							1
	Corporate Governance and Business Ethics	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		2							1				Corporate Governance and Business Ethics			2							1
	Human Resource Management	3後		2		1									Human Resource Management	3後		2		1					
	Accounting System and Financial management	- 13-3		2			1								Accounting System and Financial management	3前		2			1				
	Intermediate Macroeconomics	3前		2							1				Intermediate Macroeconomics	3前		2							1
	Intermediate Microeconomics	3後		2		1									Intermediate Microeconomics	3後		2		1					
	Japan and Asia	3後		2		1									Japan and Asia	3後		2		1					
	Japanese Culture and Religion	3前		2		1									Japanese Culture and Religion	3前		2							
	Japanese Management	3前		2											Japanese Management	3前		2							
	Marketing Policy	3後		2		1									Marketing Policy	3後		2		1					
	Japanese Business Leaders	3後		2		2									Japanese Business Leaders	3後		2		2					
	Econometrics Japanese Economy and Policy	3前 3前		2 2											Econometrics Japanese Economy and Policy	3前 3前		2 2							1 .
		3削 3後									l '				'	3後		_							Ι'
	Advanced Management History of US-Japan Relations	3後		2 2			1								Advanced Management History of US-Japan Relations	3後 3後		2 2			١,		'		
	EU経済社会論	3後		2							1				EU経済社会論	3後		2							1
	イスラム経済圏	3後		2		١,					l '				イスラム経済圏	3後		2		١,					Ι΄
	アフリカ経済論	3後		2		¦									アフリカ経済論	3後		2		Ι,					
	インド経済論	3前		2		Ι,									インド経済論	3前		2		ľ					
	北米社会論	3後		2											北米社会論	3後		2		ľ					
	中国社会論	3後		2							1				中国社会論	3後		2							l ,
	国際協力論	3後		2							1				国際協力論	3後		2							1
	ファミリービジネス論	3前		2							1				ファミリービジネス論	3前		2							1
	労働経済学	3前		2							1				労働経済学	3前		2							1
	財務分析論	3前		2							1				財務分析論	3前		2							1
	小計(50科目)	-	0	100	0	5	4	0	1	0	16				小計(50科目)	-	0	100	0	6	3	0	1	0	16
学科初	スタートアップセミナー	1前	2			1						学	:	科初	スタートアップセミナー	1前	2			1	1		1		Т
学部共通科目	│基礎ゼミナールA	1前	2			2			1			学部共通科目	اد	目年 次	基礎ゼミナールA	1前	2			2			0		
通教	 基礎ゼミナールB	1後	2			2			1			通	i	4/	基礎ゼミナールB	1後	2			2			1		
科育	小計(3科目)	_	6	0	0	3	0	0	1	0	0	目目	iL	育	小計(3科目)	_	6	0	0	3	1	0	2	0	0
	観光文化概説	2後		2							1				観光文化概説	2後		2							1
	観光ホスピタリティ論	2前		2							2				観光ホスピタリティ論	2前		2							2
	観光フィールドワークA	2前•後		1							1				観光フィールドワークA	2前•後		1							1
	観光フィールドワークB	2前•後		1							1				観光フィールドワークB	2前•後		1							1
	国際関係論	3前		2							1				国際関係論	3前		2							1
	国際法	3前		2							1				国際法	3前		2							1
	観光ビジネス特論A	3前		2							1				観光ビジネス特論A	3前		2							1
	観光ビジネス特論B	3後		2							1				観光ビジネス特論B	3後		2							1
	観光デザイン論	3後		2							1				観光デザイン論	3後		2							1
	NPO/NGO論	3前		2							1				NPO/NGO論	3前		2							1
	企業と社会	3後		2							1				企業と社会	3後		2							1
	Corporate Social Responsibility	3後		2							1				Corporate Social Responsibility	3後		2							1
	Population Studies	3後		2							1				Population Studies	3後		2							1
	グローバル・ガバナンス論	3後		2	_		_	-	_	-	1				グローバル・ガバナンス論	3後		2	1	1			-	-	1
	小計(14科目)		0	26	0	0	0	0	0	0	7	\vdash	_	<u></u>	小計(14科目)		0	26	0	0	0	0	0	0	7
卒 業 研	ゼミナールA	3前	2			5	4				ĺ			業	ゼミナールA	3前	2			6	3		1		
研究	ゼミナールB	3後	2			5	4		1 .		ĺ			卒 業 研 究 科	ゼミナールB	3後	2			6	3		1		
究 科	ゼミナールC	4前	2			5	4		1		ĺ			科	ゼミナールC	4前	2			6	3		1		
目	ゼミナールロ	4後	2	<u> </u>	-	5	4	_	1	-	_			目	ゼミナールD	4後	2	-	+-	6	3	<u> </u>	1	_	<u> </u>
全道	小計(4科目)	1前	8	0	0	5	4	0	1	0	0	<u>수</u>	·Τ		小計(4科目)	1前	8	0	0	6	3	0	1	0	0
学 徳	現代社会と道徳科学A 現代社会と道徳科学B	1前		2							4	全学共通科	<u>.</u>	徳	現代社会と道徳科学A(未開講)	1前		2					4		4
共 通 目	現代社会と道徳科学B	1後		2							3	 语		17	現代社会と道徳科学B	1後 1後		2		2					3
科	文化の多様性と価値ー道徳科学A-		_	2			_				4	科	į]	_	文化の多様性と価値ー道徳科学Aー		_	2							4
[道徳科学A 道徳科学B	2前・後	2			'	2 2				8	目			道徳科学A 道徳科学B	2前 2前·後	2			2 2	¦				8 8
		2前•後	_	_	_	1	+	_	_	_							+-	6	1	+-	1	_	4	_	13
	小計(5科目)	1 🕁	4	6	0	2	2	0	0	0	13		\vdash	情	小計(5科目)	1 24	4	6	0	3	2	0	1	0	13
報	情報リテラシー 情報科学	1前 1後		2							8			報	情報リテラシー	1前 1後		2 2					4		4
科目	月〒以1寸一丁	□□按		_							4			17	情報科学 AIビジネス入門	1俊 1 後		2 2							2
														_	AICンネス人門 統計学入門	1俊 1後		2 2							
	PC実務演習	1前•後		2							1				RC実務演習(未開講)	□俊 1前•後		2 2							
	PC美務演音 情報技術活用	1後		2							,				情報技術活用	11 1後		2							,
	「同報技術活用 マルチメディア活用	2後		,							1				マルチメディア活用	1仮 2後		2							1
				,							\							I -							
[]	Webオーサリング	2前	I	2	I	I			1		1	l	1		Webオーサリング	2前	I	2		1					

<u> </u>	届出 版	T.A.	 	1		kı_		- I 1··	e e	· ~ -		並	【令和2	+戌』 	-		22/ 11 .	L		⊨				並
科	-目図分	 授業科目の名称	配当年次	必	単位		教		(員等 ┃講	の配助		兼 任 ・	科目図分	 授業科目の名称	当次	<u>i</u> 必	単位数選	女 T 自	教	∮任教 准	₹ は は は は は は は は は は は は は は は は は り は り は り は り は り は り は り も り も	の配り	遺動	任
1-1	L L //	IXAME VENT	年次	修		1		教				兼 担	14127	4	次	修	択			教			手	兼担
全		データ解析の基礎	2後		2				Hill	70		1	全	データ解析の基礎 2	後		2				1 402			1
字共	.1.==	IT実務演習	3前•後		2							1	全学共通科情報科	IT実務演習 3前	ī∙後		2							1
通	情 報	基本情報実務演習	3後		2							1	通報	基本情報実務演習 3	後		2							1
全学共通科目	:: 報 科 目	コンピューターネットワーク	3前		2							1	科目目	コンピューターネットワーク 3	前		2							1
	H	情報セキュリティ	3後		2							1		情報セキュリティ 3	後		2							1
		小計(11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	9		小計(13科目)	-	0	26	0	0	0	0	1	0	10
	外 国	English Communication I	1前	2								9	外国	English Communication I 1	前	2								7
	語	English Communication II	1後	2								10	国語科目	English Communication II	後	2								7
	科 目	English Communication III	2前		2							8	科 日	English Communication III 2	前		2							7
	н	English Communication IV	2後		2							7		English Communication IV 2	後		2							7
		TOEFL A	1前	1			1	1				2			前	1			0	1				0
		TOEFL B	1後	1			1	1				2			後	1			0	1				0
		Business English A	1前		1							1			前		1							1
		Business English B	1後		1							1			後		1		١.					1
		English Summer Seminar	1前	4			1								前	4			1					L
		Reading and Writing Workshop I	1前		2							2			前		2							Ľ
		Reading and Writing Workshop II	1後		2							2			後前		2							
		Listening A	1前									2			前		۱ ۱			0				2
		Listening B	1後 1前					'				3			後 前		1		l,	0				2
		Reading A Reading B	1後									3			後		1		[¦					2
		Writing A	1前									3			前		1		Ι'					3
		Writing B	1後									3			後		1							3
		英語特別演習A	1後									1			後		1							1
		英語特別演習B	2前									1			前		1							1
		海外語学研修(英語) I	1前•後		2							1			ī·後		2		1					1
		海外語学研修(英語)Ⅱ	1前・後		2							1]•後		2		1					1
		中国語 I	1前		2							8			前		2							8
		中国語Ⅱ	1後		2							8		中国語 I 1	後		2							8
		中国語皿	2前		2							4			前		2							4
		中国語Ⅳ	2後		2							4		中国語Ⅳ 2	後		2							4
		中国語特別演習A	1後		1							1		中国語特別演習A 1	後		1							1
		中国語特別演習B	2前		1							1		中国語特別演習B 2	前		1							1
		海外語学研修(中国語) I	1前•後		2							1		海外語学研修(中国語) I 1前	ӯ•後		2							1
		海外語学研修(中国語)Ⅱ	1前•後		2							1		海外語学研修(中国語)Ⅱ 1前	ӯ•後		2							1
		韓国語 I	1前		2							4		韓国語 I 1	前		2							4
		韓国語Ⅱ	1後		2							4		韓国語Ⅱ 1	後		2							4
		韓国語皿	2前		2							1		韓国語皿 2	前		2							1
		韓国語Ⅳ	2後		2							1		韓国語Ⅳ 2	後		2							1
		韓国語特別演習A	1後		1							1		韓国語特別演習A 1	後		1							1
		韓国語特別演習B	2前		1							1		韓国語特別演習B 2	前		1							1
		海外語学研修(韓国語) I	1前•後		2							1		海外語学研修(韓国語) I 1前	ӯ∙後		2							1
		海外語学研修(韓国語)Ⅱ	1前•後		2							1			ӯ∙後		2							1
		ドイツ語 I	1前		2							4			前		2							4
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							4			後		2							4
		ドイツ語皿	2前		2							2			前		2							2
		ドイツ語IV	2後		2							2			後 (2							2
		ドイツ語特別演習A	1後		1										後		1							
		ドイツ語特別演習B	2前		1										前		1							
		海外語学研修(ドイツ語) I	1前・後	1	2										ī•後 ī•後		2							
		海外語学研修(ドイツ語) Ⅱ 小計(45科目)	1前•後	10	2 64	0	1	2	0	0	0	35]•後 -	10	2 64	0	2	4	0	0	0	30
╽┟	+	トキリア形成入門	 2前	10	2	"	+			"	"	1	+	1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	- 前	10	2	"		+	"	۳	"	1
	ヤ リ	キャリア形成研究	3後		2							1	ヤリ		後		2							'
	ア	キャリア形成演習	3後		2							1	ア		後		2							1
	科 目	麗澤スピリットとキャリア	1前		2							1	科目		前		2							2
	П	ジェンダーとキャリア形成	1後		2							1			後		2							1
		インターンシップA	2前•後		1							1]•後		1							1
		インターンシップB	2前•後		1							1			〕・後		1							1
		基礎·学際演習A	2前		2							2			前		2							2
		基礎·学際演習B	2後		2							1			後		2							1
		基礎·学際演習C	3前		2							2			前		2							2
		基礎·学際演習D	3前		2							1		基礎·学際演習D 3	前		2							1
		基礎·学際演習E	3後		2							2		基礎·学際演習E 3	後		2							2
		基礎·学際演習F	3後		2							1		基礎·学際演習F 3	後		2							1
		小計(13科目)	-	0	24	0	0	0	0	0	0	4		小計(13科目)	-	0	24	0	0	0	0	0	0	5
	— 般	環境科学	1前		2							1	般	環境科学 1	前	T	2							1
	教	健康科学	1前		2							1	人	健康科学 1	前		2							2
	養 科	行政学	1後		2							1	養 科	行政学 1	後		2							1
	科 目	行政法	1前		2							1	科	行政法 1	前		2							1
		人間学	2前		2							1			前		2							1
		心理学	1前		2							1			前		2							1
		社会学	1後		2		1								後		2		0					1
		政治学A	1前		2							1			前		2							1
		政治学B	1後		2							1		-	後		2							1
] [日本国憲法	1前•後		2		1	1	1	1			1 1	日本国憲法 1前	ӯ•後┃		2		1			Ī	1	1

【届出時】 【令和2年度】

				Ĺ	単位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科	目図分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	
				修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担
全学	般	民法	1前		2							1
共 通	教	麗澤スタディーズ	1前		2							5
通科	養 科	トラベルジオグラフィー	2後		2			1				
目	目	自主企画ゼミナール	1前•後		2							
		麗澤·地域連携実習	1前		2							1
		メディア社会論	2後		2							1
		世界史概論A	2後		2							1
		世界史概論B	2前		2							1
		地誌	2後		2			1				
		地理学概論A	2前		2			1				
		地理学概論B	2後		2			1				
		哲学概論A	2前		2							1
		哲学概論B	2後		2							1
		日本史概論A	2前		2							1
		日本史概論B	2後		2							1
		法学概論A	2前		2		1					
		法学概論B	2後		2		1					
		イタリアの言語と文化	1前		2							1
		フランス語と文化	1前		2							1
		スペイン語と文化	1後		2							1
		台湾語と東アジアの文化	1後		2							1
		海外語学研修(英語)A	1前•後		2							1
		 海外語学研修(英語)B	1前•後		2							1
		 海外語学研修(ドイツ語)A	1前•後		2							1
		 海外語学研修(ドイツ語)B	1前•後		2							1
		 海外語学研修(中国語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(中国語)B	1前•後		2							1
		短期海外研修A	2前•後		2							1
		 短期海外研修B	2前•後		2							1
		労働法入門	1前		2							1
		グローバル化と日本	2後		2							1
		国際情勢論	2前		2							1
		ライフスタイル論	2後		2		1					
		スポーツ・健康と社会	1後		2							1
		スポーツ科学概論	2前		2							1
		スポーツとモラル	2後		2							1
		スポーツの理論と実習	1後		2							1
		スポーツコンディショニング実習	2後		2							1
		スポーツ実習S	1前•後		1							4
		救急処置法	3後		2							1
		レクリエーション理論と実習 I	1前		2							1
		レクリエーション理論と実習 Ⅱ	2前		2							1
Ш	_	小計(52科目)	-	0	103	0	3	1	0	0	0	29
		合計(253科目)	ı	32	455	0	6	5	0	1	0	93

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

①基礎専門科目:必修4単位を含め、34単位以上

ただし、A群科目より必修4単位を含め24単位修得すること。

②上級専門科目:26単位以上

ただし、A群科目より16単位修得すること。

③卒業研究科目:必修8単位

④学部共通科目:必修6単位を含め、10単位以上

ただし、初年次教育科目より必修6単位、学部共通科目より4単位修得すること。 5全学共通科目:必修14単位を含め、34単位以上

ただし、道徳科目より必修4単位、情報科目より4単位、

外国語科目より必修10単位を含め16単位、キャリア科目より6単位修得すること。

⑥上記①~⑤を含めて、124単位以上修得すること。

⑦外国人留学生は、以下の卒業要件を含めて、124単位以上修得すること。 1) 基礎専門科目: 必修4単位を含め、34単位以上

ただし、A群科目より必修4単位を含め24単位修得すること。 2)上級専門科目:26単位以上

ただし、A群科目より16単位修得すること。

3) 卒業研究科目: 必修8単位

4) 学部共通科目: 必修6単位を含め、10単位以上

ただし、初年次教育科目より必修6単位、学部共通科目より4単位修得すること。

5)全学共通科目:必修4単位を含め、28単位以上 ただし、道徳科目より必修4単位、情報科目より4単位、

外国語科目より10単位、キャリア科目より6単位修得すること。 ⑧GBSコースを選択する学生は、「経済原論A」、「経済原論B」、

「経営学概論A」、「経営学概論B」、「簿記原理」、「マクロ経済学」、

「マーケティング総論A」、「マーケティング総論B」、「ミクロ経済学」、 「統計学A」、「統計学B」、「中級マクロ経済学」、「中級ミクロ経済学」、

「計量経済学」の履修単位を卒業要件に含めることはできない。

⑨GBSコース以外を選択する学生は、「Principles of Economics A」、 [Principles of Economics B], [Principles of Management A],

[Principles of Management B], [Accounting A], [Accounting B],

[Macroeconomics], [Marketing A], [Marketing B], [Microeconomics], 「Statistics A」、「Statistics B」、「Intermediate Macroeconomics」、

「Intermediate Microeconomics」、「Econometrics」の履修単位を 卒業要件に含めることはできない。

(履修科目の登録の上限:1・2年次は20単位(学期)、3・4年次は18単位(学期))

					単位数	Ţ	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科	目図分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准数	講	助	助	
Ļ				修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
全 学	— 般	民法	1前		2							1
共通	教	麗澤スタディーズ	1前		2		2					7
通 科	養 科	トラベルジオグラフィー	2後		2			1				
目	目	自主企画ゼミナール	1前•後		2							
		麗澤·地域連携実習(未開講)	1前		2							2
		メディア社会論	2後		2							1
		世界史概論A	2後		2							1
		世界史概論B	2前		2							1
		地誌	2後		2			1				
		地理学概論A	2前		2			1				
		地理学概論B	2後		2			1				
		哲学概論A	2前		2							1
		哲学概論B	2後		2							1
		日本史概論A	2前		2							1
		日本史概論B	2後		2							1
		法学概論A	2前		2		1					
		法学概論B	2後		2		1					
		イタリアの言語と文化	1前		2							1
		フランス語と文化	1前		2							1
		スペイン語と文化	1後		2							1
		台湾語と東アジアの文化	1後		2							1
		海外語学研修(英語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(英語)B	1前•後		2							1
		海外語学研修(ドイツ語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(ドイツ語)B	1前•後		2							1
		海外語学研修(中国語)A	1前•後		2							1
		海外語学研修(中国語)B	1前•後		2							1
		短期海外研修A	2前•後		2							1
		短期海外研修B	2前•後		2							1
		労働法入門	1前		2							1
		グローバル化と日本	2後		2							1
		国際情勢論	2前		2							1
		ライフスタイル論	2後		2		1					
		スポーツ・健康と社会	1後		2							1
		スポーツ科学概論	2前		2							1
		スポーツとモラル	2後		2							1
		スポーツの理論と実習	1後		2							1
		スポーツコンディショニング実習	2後		2							1
		スポーツ実習SA(未開講)	1前•後		1							4
		スポーツ実習SB(未開講)	1前•後		1							4
		救急処置法	3後		2							1
		レクリエーション理論と実習 I (未開講)	1前		2							1
		レクリエーション理論と実習 Ⅱ	2前		2							1
l		小計(53科目)	_	0	104	0	4	1	0	0	0	30
		合計(256科目)	-	32	460	0	9	4	0	2	0	88

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

①基礎専門科目:必修4単位を含め、34単位以上

ただし、A群科目より必修4単位を含め24単位修得すること。

②上級専門科目:26単位以上

ただし、A群科目より16単位修得すること。

③卒業研究科目:必修8単位 ④学部共通科目:必修6単位を含め、10単位以上

ただし、初年次教育科目より必修6単位、学部共通科目より4単位修得すること。

5全学共通科目:必修14単位を含め、34単位以上 ただし、道徳科目より必修4単位、情報科目より4単位、

外国語科目より必修10単位を含め16単位、キャリア科目より6単位修得すること。

⑥上記①~⑤を含めて、124単位以上修得すること。 ⑦外国人留学生は、以下の卒業要件を含めて、124単位以上修得すること。

1) 基礎専門科目: 必修4単位を含め、34単位以上

ただし、A群科目より必修4単位を含め24単位修得すること。

2)上級専門科目:26単位以上 ただし、A群科目より16単位修得すること。

3)卒業研究科目:必修8単位

4) 学部共通科目: 必修6単位を含め、10単位以上

ただし、初年次教育科目より必修6単位、学部共通科目より4単位修得すること。

5)全学共通科目:必修4単位を含め、28単位以上 ただし、道徳科目より必修4単位、情報科目より4単位、

外国語科目より10単位、キャリア科目より6単位修得すること。 ⑧GBSコースを選択する学生は、「経済原論A」、「経済原論B」、

「経営学概論A」、「経営学概論B」、「簿記原理」、「マクロ経済学」、

「マーケティング総論A」、「マーケティング総論B」、「ミクロ経済学」、 「統計学A」、「統計学B」、「中級マクロ経済学」、「中級ミクロ経済学」、

「計量経済学」の履修単位を卒業要件に含めることはできない。 9GBSコース以外を選択する学生は、「Principles of Economics A」、

[Principles of Economics B], [Principles of Management A], [Principles of Management B], [Accounting A], [Accounting B],

[Macroeconomics], [Marketing A], [Marketing B], [Microeconomics], 「Statistics A」、「Statistics B」、「Intermediate Macroeconomics」、

「Intermediate Microeconomics」、「Econometrics」の履修単位を

卒業要件に含めることはできない。

(履修科目の登録の上限:1・2年次は20単位(学期)、3・4年次は18単位(学期))

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・教育上の効果を向上させるため、専任教員採用により、「Principles of Economics A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に 変更。 ・教育上の効果を向上させるため、専任教員採用により、「経済原論A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「グローバルリーダー論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「国際コミュニケーション論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「Intercultural Communication」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「スタートアップセミナー」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」変更。 ・担当予定者の健康上の理由により、担当者変更のため、「基礎ゼミナールA」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「ゼミナールA」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「ゼミナールB」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「ゼミナールC」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「ゼミナールD」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「現代社会と道徳科学A」を未開講とした。 ・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「現代社会と道徳科学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に、「助教0」から 「助教1」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「道徳科学A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当者の教員身分昇格により、「道徳科学B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・全学から学部単位のクラス展開に変更したため、「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担4」に変更。 ・担当予定者の退職および専任教員の採用による担当者変更により、「情報科学」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に、「兼任・兼担4」から「兼任・兼担2」に変更。 ・全学的にデータサイエンスの学びを強化するため、「AIビジネス入門」を新規科目として追加。 ・全学的にデータサイエンスの学びを強化するため、「統計学入門」を新規科目として追加。 ・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「PC実務演習」を未開講とした。 ・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「情報技術活用」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。 ・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「English Communication I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担7」に変更。 ・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「English Communication II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担10」から「兼任・兼担7」に変更。 ・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「English Communication III」の専任教員等の配置を「兼任・兼担8」から「兼任・兼担7」に変更。 ・時間割調整に伴う担当者変更により、「TOEFL A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担0」に変更。 ・時間割調整に伴う担当者変更により、「TOEFL B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担0」に変更。 ・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「Reading and Writing Workshop I」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 ・担当予定者の退職のため、担当者変更により、「Reading and Writing Workshop II」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。 ・時間割調整に伴う担当者変更により、「Listening A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・時間割調整に伴う担当者変更により、「Listening B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・時間割調整に伴う担当者変更により、「Reading A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。 ・時間割調整に伴う担当者変更により、「Reading B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。 ·教育上の効果を向上させるため、専任教員追加により、「海外語学研修(英語) I 」の専任教員等の配置を「教授 O 」から「教授 1 」に変更。 ・教育上の効果を向上させるため、専任教員追加により、「海外語学研修(英語) II」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。 ・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「麗澤スピリットとキャリア」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。 ・誤記により、授業科目の名称を「ジェンダーとキャリア形成」から「グローバルキャリア研究」に変更。 ・誤記により、「グローバルキャリア研究」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。 教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「健康科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。 時間割調整に伴う担当者変更により、「社会学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。 ・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「麗澤スタディーズ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、「兼任・兼担5」から「兼任・兼担7」に変更。 ・教育上の効果を向上させるため、担当者追加により、「麗澤・地域連携実習」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。 ・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「麗澤・地域連携実習」を未開講とした。 ・カリキュラム充実のため、授業科目の名称を「スポーツ実習S」から「スポーツ実習SA」に変更。 ・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「スポーツ実習SA」を未開講とした。 ・カリキュラム充実のため、「スポーツ実習SB」を新規科目として追加。 ・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「スポーツ実習SB」を未開講とした。 ・新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、「レクリエーション理論と実習I」を未開講とした。

- (注)・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状	況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣 右
16 科目	237 科目	0 科目	253 科目	16 科目	240 科目 [3]	0 科目	256 科目 []	

(注) ・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	現代社会と道徳科学A	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため休講とし、代替措置 は無しとした。
2	PC実務演習	2	1前・後	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、1学期(前期)分を 休講とした。
3	麗澤・地域連携実習	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンラインによる授業のため、2学期(後期)開講とした。
4	スポーツ実習SA	1	1前・後	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、1学期(前期)分を 休講とした。
5	スポーツ実習SB	1	1前・後	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、1学期(前期)分を 休講とした。
6	レクリエーション理論と実習I	2	1前	一般	選択	新型コロナウイルスに伴うオンライン による授業のため、2学期(後期)開講 とした。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - · 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、オンラインによる授業実施を導入したため、オンラインでは 実施が難しいと判断した科目を未開講とした。未開講6科目の内、3科目はもともと1学期(前期)・2学 期(後期)の両学期開講科目であるため、大きな影響はないものと判断した。1学期のみ開講を予定し ていた3科目の内、2科目は2学期に開講する代替処置をとった。残りの1科目は、次年度以降の履修機会 を利用することで問題ないと判断した。なお、学生へは本学ポータルシステムにて周知徹底した。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内	l					容					備考										
(1)		区	分		専	J	用	共	用			用する 校等の				計												
++		校3	舎 敷 坮	也		68,			0.00	m²		10,	617. 65	m²		79, 092	2.73 m²											
校		運動	动 場用地	ļ		7, 9	979.00 m²		16, 794. 00	m²		27,	719.00	m²		52, 492	2.00 m²	- 麗澤中学校と共用 (収容定員:450人) (面積基準:5,700㎡)										
地		小	計	-			154.08 m²		16, 794. 00	m²		38,	336. 65	m²	1	31, 584	4.73 m²	麗澤高等学校と共用 (収容定員:720人) (面積基準:8,400㎡)										
等		そ	の他	ļ		41, 5	514.00 m²		0.00	m²		54,	833. 35	m²		96, 347	7.35 m²											
J		合	計	-		117,9	968. 08 m²		16, 794. 00	m²			170.00	m²	2	27, 932	2.08 m²											
					専	J	用	共	用			用する 校等の				計												
(2) 校			舎			37, 3	395.48 m²		0. 0	0m²			0. 00	0m²		37, 395	5.48 m²											
						(37, 395	5. 48 m²)		(0. 00n	ที่)			(0.00m	า๋)	(37	, 395. 4	48 m²)											
					講義室		演習	室	実験	実習室		情報外	処理学 習	『施設	語:	学学習	施設											
(3) 教	教 室		等			80 室		3 室			0 室			8 室			0 室	大学全体										
						00 <u>±</u>		0 ±		`	· ±	(補助	助職員	0人)	(補助	助職員	0人)											
(4) 恵	仁約	新設学部等の名称 7員研究室 新設学部等の名称						室数				令和2年4月専任教員2名																
(4) 4	工权	.实训力	υ <u>±</u>		国際学部	祭学部 グローバルビジネス			学科		16 14			室	を新規採用のため(2)													
					図書		学術雑	誌				視聴官	党資料	機械・	哭旦	標	本	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数										
(5)	親	所設学 の名			電子ジ	ャーナル				【図書・学術雑誌・電																		
						⊞		種		外国書〕			点		点		点	子ジャーナル・視聴覚										
	グローバル		グローバル					国际字部		ゲローバル		除字部 ローバル 50		506, 000 [182, 000] 509, 400 [181, 210]		, 210] 4, 400 ([1, 320] 20, 04			[19, 872]		600 553 620 596			0	受入数変動による変更(2)	
· 設	ビジ	ネス質	学科	500	[181, 67		(4, 091 [1, (4, 187 [1,	117])	(7, 056	(20,	, 044	(11, (11,	547)	553 (596)	((0)	【機械・器具】 除却による減少と										
備		計			, 000 〔182, , 400 〔181,	210]	4, 091 (4, 400 (1, 320]	20, 044	6 (6, 8) (19, 8)	72]	110		553 596			0	2018・2019年度取得による増加(2)										
					(50 (181, 67	05, 618 77])	4, 091 〔 (4, 187 〔1,	1, 665] 117])	7, 05	66 [6, 8] (20,	, 044	(11, -(11,	554) 547)	553 - (596)	((0)											
(6) 図			面		積		閲覧座席		座席	ま数 収 に		納可	可 能 冊 数		数	大学全体												
				6, 228. 15m²			321席 652, 500冊				2, 500冊																	
(7) 体		育	館		面		積			体育飢	官以外	のスホ	パーツ施	設の概要	<u> </u>			大学全体										
							5, 142. 40m	า๋	1		テ	ニスコ	ート 3	面														
		経費	Z		分	開記	没年度	完成年月					前年度 00千円	開設年16,800			发年度 800千円											
(8) 経費の		の見	の見	の見	揺り	の見	の見	の見	の見	の見	の見	の見			研究費等		300千円	300∃		書購入費		20, 0	61千円	20, 06 1	千円	20, (061千円	」【凶書賄人質】 プ昇変 ▼動による変更(2)
程質の 積り及 維持方	の見 及び 方法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					0千円	ı		構購入費 ┏			38千円	56, 034	千円		187千円	図書費には、電子											
の概				1 年次	第	2年次		3年次		4年		第	5年次	_	第6年		ジャーナル購入及び データベース運用経費											
					1,390千円							を含む																
	学生納付金以外の維持方法の概要 資産運用収入、寄付金、雑収入等																											

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	麗	麗大	学									備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在	地		
	年	人		人		倍	倍	年度	年度		年度		
外国語学部			人										
外国語学科	4	220	_	880	学士	1. 15	1. 10	_	平成20	千葉県柏市	光ヶ		度定員変
経済学部					(文字)					丘 2丁目1番1 5	를 -	更(△80	J)
経済学科	4	110	-	440	学士	1. 16	1. 23	_	平成20	同上	-		度定員変 (1)
経営学科	4	110	-	440	学士(経営学)	1. 31	1. 24	-	平成20	同上	-	令和2年 更(△20	0) 度定員変 n)
国際学部					,								0,
<u>国際学科</u>	4	80	-	320	学士 ^{(国際コ} ミュニケー ション)	0. 91	0. 91	令和2	令和2	同上	:		
<u>グローバル</u> <u>ビジネス学科</u>	4	80	-	320	学士 (グローバ ルビジネ ス)	1. 07	1. 07	令和2	令和2	同上	-		
言語教育研究科													
日本語教育専攻博士前期課程	2	6	_	12	修士	1. 16	1. 00	_	平成8年度	同上			
日本語教育専攻	3	_	_	6	(文学)	_	_	_	平成10年度	同上			より学生
博士後期課程 比較文明文化専攻	2	_	_	_	^(文学) 修士	_	_	_	平成13年度	同上		募集停业平成31年	■より学
博士前期課程 比較文明文化専攻	3	_	_	3	(文学)	_	_	_	平成13年度	同上		生募集停 平成31年	⊑より学
博士後期課程 英語教育専攻				3	(文学) 修士							生募集停平成31年	
修士課程	2	_	_	_	(文学)	_	_	_	平成18年度	同上	_	生募集停	
経済研究科													
経済学専攻 修士課程	2	-	-	_	修士 ^(経済学)	-	-	-	平成24年度	同上		平成31年 生募集停	
経営学専攻 修士課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0. 65	0. 6	_	平成24年度	同上	-		
ド エ 杯 住 経済学・経営学専攻 博士後期課程	3	3	_	9	博士	0. 22	0	_	平成24年度	同上	<u>.</u>		
					(経営学)								
学校教育研究科													
道徳教育専攻 修士課程	2	6	-	12	修士 (教育学)	1. 16	1. 00	-	平成30年度	同上	-		
大 学 の 名 称	該当な	L										備	考
	修業	入学	編入学	収容	学位又	平均入学	令和2年度	定員変更 年度	開設				
既設学部等の名称	年限	定員	定員	定員	は称号	定員 超過率	入学定員 超過率	年度 (AC期間の 学科のみ)	年度	所 在	地		
	年	人		人		倍	倍						
			人										

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 グローバルビジネス学科>

(1)一① 担当教員表

【届出時】

【令和2年度】

1					- ' '	~2
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		担当授業科目名 がイクトリア ミロシュニック Victoria, Miroshnik (50) 〈平成32年4月〉 PhD in Management(英国)				ウェイクトリア ミロシュニック Victoria, Miroshnik (50) 〈令和2年4月〉 PhD in Management(英国)
専 教授	教授	Marketing A Marketing B グローバル基礎演習 A グローバル基礎演習 B International Business Strategic Management Human Resource Management Marketing Policy ゼミナール A ゼミナール B ゼミナール C ゼミナール D		専	教授	Marketing A Marketing B グローバル基礎演習 A グローバル基礎演習 B International Business Strategic Management Human Resource Management Marketing Policy ゼミナール A ゼミナール B ゼミナール C ゼミナール D
専	教授	材が ヒロュキ 大場 裕之 (66) 〈平成32年4月〉 Ph. D. in Economics(インド) 国際経営論 グローバルリーダー海外研修(上級) Japanese Management Japanese Business Leaders※ アフリカ経済論【隔年】 インド経済論【隔年】 基礎ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール D ゼミナール D ライフスタイル論		専	教授	材が、ヒロュキ 大場。裕之 (66) 〈令和2年4月〉 Ph. D. in Economics(インド) 国際経営論 グローバルリーダー海外研修(上級) Japanese Management Japanese Business Leaders※ アフリカ経済論【隔年】 インド経済論【隔年】 インド経済論【隔年】 ゼミナールA ゼミナールB ゼミナールB ゼミナールB ゼミナールD ライフスタイル論
争	教授	トクナが スミノリ 徳永 澄憲 (68) 〈平成32年4月〉 Ph. D. (米国) Principles of Economics B 経済原論 B Macroeconomics マクロ経済学 グローバルリーダー海外研修(初級)		専	教授	トクナが、スミノリ 徳永、澄憲 (68) 〈令和2年4月〉 Ph. D. (米国) Principles of Economics B 経済原論 B Macroeconomics マクロ経済学 グローバルリーダー海外研修 (初級) 現代社会と道徳科学 B ※ 麗澤スタディーズ※
専	教授	th・9 マサヒロ 永田 雅啓 (68) 〈平成32年4月〉 学士(農業経済学) Principles of Economics A 経済原論 A Microeconomics ミクロ経済学 世界経済論		専	教授	ナがタマサヒロ 永田 雅啓 (68) 〈令和2年4月〉 学士(農業経済学) Principles of Economics A 経済原論 A Microeconomics ミクロ経済学 世界経済論
専	教授	ナカノ チアキ 中野 千秋 (64) 〈平成32年4月〉 Ph. D(米国) Principles of Management A Principles of Management B 経営組織論 A 経営組織論 B Japanese Business Leaders※ 基礎ゼミナール A 基礎ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール C ゼミナール D 現代社会と道徳科学 B ※		専	教授	サカノ チ7キ 中野 千秋 (64) 〈令和2年4月〉 Ph. D(米国) Principles of Management A Principles of Management B 経営組織論A 経営組織論B グローバルリーダー海外研修(初級) Japanese Business Leaders※ 基礎ゼミナールA 基礎ゼミナールB ゼミナールB ゼミナールB ゼミナールB ゼミナールC ゼミナールC ゼミナールD 現代社会と道徳科学B※
				専	教授	サルラ 7キピロ 中村 昭裕 (60) 〈令和2年4月〉 修士(経済学) Principles of Economics A 経済原論 A 基礎ゼミナール A
						基礎ゼミナールB

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
晦	教授	制が かぶ /フ 堀内 一史 (65) 〈平成32年4月〉 M. A. (米国) 国際地域研究入門 グローバルリーダー海外研修(初級) 国際社会論 Japanese Culture and Religion 北米社会論【隔年】 スタナーールムゼミナールロ ゼミナールロ 道徳科学 B TOEFL A TOEFL B English Summer Seminar 社会学
専	教授	*** Lデッグ 八木 秀次 (58) 〈平成32年4月〉 法学修士※ 日本国憲法 法学概論 A 法学概論 B
専	教授	ラウシン イー Lau, Sim yee (58) 〈平成32年4月〉 国際文化博士 グローバル基礎演習 A グローバル基礎演習 B 国際開発協力概論 International Economics 東南アジア経済社会論【隔年】 北米経済論【隔年】 国際開発経済論 Intermediate Microeconomics Japan and Asia イスラム経済圏【隔年】 ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール C ゼミナール D 世界経済論
中	准教授	りマノルリコ 熊野 留理子 (50) 〈平成32年4月〉 PhD in Education(米国) History of US-Japan Relations ゼミナールム ゼミナールB ゼミナールC ゼミナールD 道徳科学A 道徳科学B Listening A
専	准教 授	#/トウ ユキタカ 齋藤 之誉 (53) 〈平成32年4月〉 修士(教育学) トラベルジオグラフィー 地誌 地理学概論 A 地理学概論 B
専	准教授	ッ/トウ リョウコ 篠藤 涼子 (39) 〈平成32年4月〉 博士(経営学) Accounting A Accounting B グローバル基礎演習 A グローバル基礎演習 B 簿記原理 簿記実務演習(初級) Accounting System and Financial management ゼミナール A ゼミナール B ゼミナール D

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		利がチ カズノブ 堀内 一史 (65) 〈令和2年4月〉 M. A. (米国) 国際地域研究入門
専	教授	<mark>グローバルリーダー海外研修</mark> (初級) 国際社会論 Japanese Culture and Religio 北米社会論 スタートアップセミナー ゼミナール A ゼミナール D 現代社会と道徳科学 B TOEFL A TOEFL B English Summer Seminar 海外語学研修(英語) I 海外語学研修(英語) I 海外語学子イーズ※
専	教授	ヤキ゛ヒデッグ 八木 秀次 (58) 〈令和2年4月〉 法学修士※ 日本国憲法
		法学概論 A 法学概論 B
		5ウ シン イー Lau, Sim yee (58) 〈令和2年4月〉 国際文化博士
専	教授	グローバル基礎演習 A グローバル基礎演習 B 国際開発協力概論 International Economics 東南アジア経済社会論【隔年】 北米経済論【隔年】 国際開発経済論 Intermediate Microeconomics Japan and Asia イスラム経済圏【隔年】 ゼミナール A ゼミナール B ゼミナール C ゼミナール D 世界経済論
		カマノ ルリコ 熊野 留理子 (50) 〈令和2年4月〉 PhD in Education(米国) History of US-Japan Relation
専	准教 授	ゼミナールA ゼミナールB ゼミナールC ゼミナールD 道徳科学A 道徳科学B TOEFL A TOEFL B Listening A Listening B
専	准教 授	サイトウ ユキタカ 齋藤 之誉 (53) 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		トラベルジオグラフィー 地誌 地理学概論 A 地理学概論 B シ/トウ リョウコ
	准教 授	篠藤 涼子 (39) 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
専		Accounting A Accounting B グローバル基礎演習 A グローバル基礎演習 B 簿記原理 簿記実務演習(初級) Accounting System and Financial management スタートアップセミナー ゼミナール A ゼミナール B ゼミナール C
		ゼミナールD ゼミナールD

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専	准教 授	担当授業科目名
専	准教 授	ヤマシタ ミキ 山下 美樹 (52) 〈平成32年4月〉 Doctor of Education(米国) グローバルリーダー論 国際コミュニケーション論 Intercultural Communication ゼミナールA ゼミナールB ゼミナールD 道徳科学B TOEFL A TOEFL B
専	助教	7ジ / シンヤ 藤野 真也 (37) 〈平成32年4月〉 博士(経営学) 経営学概論 A 経営学概論 B グローバルリーダー海外研修(上 級) Advanced Management 基礎ゼミナール A 基礎ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール B ゼミナール C ゼミナール D
兼担	教授	(ヌカイ タカオ 犬飼 孝夫 (57) 〈平成32年4月〉 文学修士、国際学修士 道徳科学 A 道徳科学 B
兼担	教授	ウメダトオル 梅田 徹 (63) 〈平成32年4月〉 法学修士※ 国際法 企業と社会 Corporate Social Responsibility グローバル・ガバナンス論 文化の多様性と価値ー道徳科学 A一※ 道徳科学 A 道徳科学 B
兼担	教授	### tデヤ 太田 秀也 (56) 〈平成32年4月〉 博士(工学) 行政学 行政法
兼担	教授	オッカ ヒデ・ハル 大塚 秀治 (63) 〈平成32年4月〉 文学修士 コンピュータ科学 情報技術実務演習 情報リテラシー 情報科学 IT実務演習 基本情報実務演習【隔年】 コンピューターネットワーク 情報セキュリティ

	ī	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教 授	おとキョウェウ陳玉雄 (54) (令和2年4月) 博士(経済学)経済中国語) 中国語) 中国国経済ルス 中国経済ルルロ 中国とナールルロ ゼミナールレロ 現代社会と道徳科学B※
専	教授	ヤマジタ ミキ 山下 美樹 (52) 〈令和2年4月〉 Doctor of Education(米国) グローバルリーダー論 国所ではいる スタートアップセミナー ゼミナール B ゼミナール C ゼミナールル C ゼミナールル D 道徳科学 B TOEFL A TOEFL B English Summer Seminar Reading A Reading B
専	助教	ナハウ チカェ 内藤 知加恵 (40) 〈令和2年4月〉 博士(商学) 経営学概論 B 基礎ゼミナール B 情報科学
専	助教	7ジ/ シンヤ 藤野 (37) 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 経営学概論B グロー級) Advanced Management 基礎ゼミナールB スターナールB スターナールB スターナールB スターナールB スターナールB スターナールB ゼミナナール ゼラマール ガーム ゼラマール ガーム ガーム ガーム ガーム ガーム ガーム ガーム ガーム ガーム ガーム
兼担	教授	イヌカイ タカオ 犬飼 孝夫 (57) 〈令和2年4月〉 文学修士、国際学修士 道徳科学A 道徳科学B
兼担	教授	ウメダトオル 梅田 徹 (63) 〈令和2年4月〉 法学修士※ 国際法 企業と社会 Corporate Social Responsibility グローバル・ガバナンス論 文化の多様性と価値ー道徳科学 Aー※ 道徳科学 A 道徳科学 B
兼担	教授	オタ ヒデヤ 太田 秀也 (56) 〈令和2年4月〉 博士(工学) 行政学 行政法

専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	(年
		担当授業科目名
		材/ マサヒデ 大野 正英
		(57) 〈平成32年4月〉
兼担	教授	経済学修士 経済倫理
		現代社会と道徳科学A※ 現代社会と道徳科学B※
		道徳科学A 道徳科学B
		麗澤スタディーズ※
		オノ ヒロヤ 小野 宏哉
		(65) 〈平成32年4月〉 工学博士
兼担	教授	Principles of Economics A
		経済原論 A Microeconomics
		ミクロ経済学 中級ミクロ経済学
		現代社会と道徳科学B※
		新 籠 義樹 (51)
		〈平成32年4月〉 工学博士
		データベース
兼担	教授	観光ビジネス特論A 観光ビジネス特論B
		キャリア形成入門 キャリア形成研究
		キャリア形成演習 麗澤スピリットとキャリア
		ジェンダーとキャリア形成環境科学
		麗澤・地域連携実習 カミムラ ショウシ
	教授	上村 昌司 (48)
		〈平成32年4月〉 理学博士
兼担		経済数学 Finance
		グローバルファイナンス 財務分析論
		機械学習情報リテラシー
		情報科学
		クロス サトミ
		黒須 里美 (58)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 Ph. D. (米国)
		Population Studies 文化の多様性と価値-道徳科学
		スにの多様ほと価値一道総科子 A 一※ コモリ ヨシヒサ
		コモリ ヨンピサ 古森 義久 (79)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 経済学士
		グローバル化と日本
		国際情勢論 サクライ リョウシ・ュ
		櫻井 良樹 (62)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 博士(史学)
		国際関係論
		日本史概論 A 日本史概論 B
		サトウ ヒトシ 佐藤 仁志
		(47) 〈平成32年4月〉
兼担	教授	博士(社会工学)
兼担	1212	基礎·学際演習A※ 基礎·学際演習B 基礎·学際演習C※
		基礎・学際演習 D 基礎・学際演習 E ※
		基礎・学際演習F
		サトウ マサノリ 佐藤 政則
兼担	教授	(65) 〈平成32年4月〉 経済学博士
		経営史
		日本経済史

	,	
専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		オオノ マサヒデ
		大野 正英 (57)
		〈令和2年4月〉 経済学修士
兼担	教授	経済倫理 現代社会と道徳科学A※
		現代社会と道徳科学B※ 道徳科学A
		道徳科学B 麗澤スタディーズ※
		オ/ ヒロヤ 小野 宏哉
		(65) 〈令和2年4月〉
兼担	* #+亚	工学博士
来担	教授	Principles of Economics A 経済原論 A
		Microeconomics ミクロ経済学 中級ミクロ経済学
		現代社会と道徳科学B※
		カコ゛ョシキ 籠 義樹 (51)
		(51) (令和2年4月) 工学博士
		データベース
兼担	教授	観光ビジネス特論A 観光ビジネス特論B
		キャリア形成入門 キャリア形成研究
		キャリア形成演習 麗澤スピリットとキャリア
		グローバルキャリア研究 環境科学 麗澤・地域連携実習※
		カミムラ ショウシ゛
		上村 昌司 (48)
		〈令和2年4月〉 理学博士
兼担	教授	情報技術実務演習 経済数学
米担	教技	Finance 機械学習
		グローバルファイナンス 財務分析論
		情報リテラシー 情 報 科学
		情報セキュリティ カワカミ カズヒサ
		川上 和久 (62)
兼担	教授	〈令和2年4月〉 修士(社会心理学)※
		社会学 政治学A
		から か
		黒須 里美 (58) 〈令和2年4月〉
兼担	教授	Ph. D. (米国)
		Population Studies 文化の多様性と価値ー道徳科学 Aー※
		A - ※ コモリ ヨシヒサ 古森 義久
兼担	教授	(79) 〈令和2年4月〉
VV]T	7人1又	経済学士 グローバル化と日本
		国際情勢論サクライリョウシュ
		櫻井 良樹 (62)
兼担	教授	〈令和2年4月〉 博士(史学)
×114.3—		国際関係論 麗澤スタディーズ※
		日本史概論 A 日本史概論 B
		サトウ マサノリ
		佐藤 政則 (65)
兼担	教授	〈令和2年4月〉 経済学博士
		経営史 日本経済史
		シミス [*] ウララ 清水 麗
兼担	教授	(52) 〈令和2年4月〉 博士(国際政治経済学)
		博士(国際政治経済学) 中国語 I
		中国語Ⅱ

また	I	T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		シモタ [*] タテヒト 下田 健人
		(62) 〈平成32年4月〉
兼担	教授	経済学修士※ 人事管理論
		八事官 垤調 労働経済学 現代社会と道徳科学A※
		スキ゛ウラ シケ゛コ
** !=		杉浦 滋子 (62)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 Ph. D. (米国)
		英語特別演習 A 英語特別演習 B
		タカ イワオ 高 巖
		(64) 〈平成32年4月〉
兼担	教授	商学博士 ビジネスエシックス
		Corporate Governance and Business Ethics
		現代社会と道徳科学B※
		チハ゛ショウシ゛ュ
		千葉 庄寿 (49)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 修士(文学)※
		プログラミング 情報リテラシー
		Webオーサリング
	教授	チョウ カリン 趙 家林
兼担		(64) 〈平成32年4月〉 商学修士※
		中国社会論【隔年】
		トヨシマ タテヒロ
		豊嶋 建広 (67)
		〈平成32年4月〉 博士(体育科学)
兼担	教授	健康科学
		スポーツ・健康と社会スポーツ科学概論
		スポーツの理論と実習 スポーツ実習S
		ナカカ゛ワ トシアキ
		中川 敏彰 (69) 〈平成32年4月〉
兼担	教授	学士(文学)
		キャリア形成入門キャリア形成研究
		キャリア形成演習 麗澤スピリットとキャリア
		ジェンダーとキャリア形成 ナカジマ マサシ
		中島 真志 (61)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 博士(経済学)
		金融論
		/パヤシ ヤスヒコ 野林 靖彦
		(51) 〈平成32年4月〉
兼担	教授	博士(文学)
		文化の多様性と価値一道徳科学 A一※
		インターンシップA インターンシップB 自主企画ゼミナール
		マツシマ マサアキ
		松島 正明 (60)
兼担	教授	〈平成32年4月〉 学士(外国語学)
		国際協力論

専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		シミス゚ チヒロ 清水 千弘
兼担	教授	(52) 〈令和2年4月〉
水坦	教授	博士(環境学)
		AI ビジネス AI ビジネス入門
		シモタ [*] タテヒト 下田 健人 (62)
兼担	教授	(02) 〈令和2年4月〉 経済学修士※
N)E	7人]文	人事管理論
		労働経済学 現代社会と道徳科学A※
		スキ゛ウラ シケ゛コ 杉浦 滋子
兼担	教授	(62) 〈令和2年4月〉
		Ph. D. (米国) 英語特別演習 A
		英語特別演習B
		高 巖 (64)
兼担	教授	〈令和2年4月〉 商学博士
NK)E	1 X1X	ビジネスエシックス
		Corporate Governance and Business Ethics 現代社会と道徳科学B※
		タカツシ・ヒデ・オキ 高辻 秀興
** 10	4/L 170	(67) 〈令和2年4月〉
兼担	教授	博士 (工学)
		IT実務演習 コンピューターネットワーク
		チバ ショウジュ 千葉 庄寿 (49)
兼担	教授	(49) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※
		プログラミング
		情報リテラシー Webオーサリング
	教授	チョウ カリン 趙 _. 家林
兼担		(64) 〈令和2年4月〉
		商学修士※
		トヨシマ タテヒロ
		豊嶋 建広 (67) 〈令和2年4月〉
		博士(体育科学)
兼担	教授	健康科学 スポーツ・健康と社会 スポーツ科学概論
		スポーツ科学城論 スポーツの理論と実習 スポーツ実習SA
		スポーツ実習SB
		ナカカ゛ワ トシアキ 中川 敏彰
		(69) 〈令和2年4月〉 学士(文学)
兼担	教授	学士(文学) キャリア形成入門
		キャリア形成研究
		麗澤スピリットとキャリア <mark>グローバルキャリア研究</mark>
		ナカシ゛マ マサシ 中島 真志
兼担	教授	(61) 〈令和2年4月〉
NK3_	3232	博士(経済学)
		金融論
		野林 靖彦 (51)
		〈令和2年4月〉 博士(文学)
兼担	教授	文化の多様性と価値一道徳科学 A - ※
		イーベ インターンシップA インターンシップB
		自主企画ゼミナール
		マツシマ マサアキ 松島 正明 (60)
兼担	教授	(60) 〈令和2年4月〉 学士(外国語学)
		国際協力論
		マツタ・テツ
	ت مدور	松田 徹 (62) 〈令和2年4月〉
兼担	教授	文学修士
		中国語 I 中国語 II

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	
兼担	教授	ヤマカワ カス・ヒコ 山川 和彦 (60) 〈平成32年4月〉 国際学修士 観光文化概説 観光ホスピタリティ論 観光フィールドワーク A 観光フィールドワーク B
		観光デザイン論
兼担	准教 授	健康科学 スポーツ・健康と社会 スポーツ科学概論 スポーツの理論と実習 スポーツコンディショニング実 習 ポーツ実習S 救急処置法 レクリエーション理論と実習 I レクリエーション理論と実習 I
兼担	准教 授	エシマ ケンイチ 江島 顕一 (38) 〈平成32年4月〉 修士(教育学)※
		現代社会と道徳科学A※ 道徳科学A 道徳科学B 麗澤スタディーズ※ スポーツとモラル
兼担	准教 授	材コシトシュキ 大越 利之 (42) 〈平成32年4月〉 博士(経済学) Principles of Economics B 経済原論 B
		Macroeconomics マクロ経済学 中級マクロ経済学 Intermediate Macroeconomics
兼担	准教 授	温 琳 (41) 〈平成32年4月〉 博士(文学) 中国語 I 中国語 II 中国語 II 中国語 II
兼担	准教 授	カワクホ ツヨシ 川久保 剛 (46) 〈平成32年4月〉 修士(国際文化)※ 道徳科学A
		道徳科学B 人間学 麗澤スタディーズ※ クサモト アキラ 草本 晶
兼担	准教 授	(49) 〈平成32年4月〉 修士(文学)※ ドイツ語 I ドイツ語 I
兼担	准教 授	コント・ウ 7キヒト 近藤 明人 (44) (平成32年4月) 博士(経済学)
		ファミリービジネス論 サイトウ タカシ 齋藤 貴志 (44) 〈平成32年4月〉
兼担	准教 授	修士(言語学) 現代中国入門 A 現代中国入門 B 中国語 I 中国語 II 中国語 II 中国語 II 中国語 II 中国語 IV 中国語特別演習 A 中国語特別演習 B 海外語学研修(中国語) I 海外語学研修(中国語) II
		海外語学研修(中国語) A 海外語学研修(中国語) B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		L
兼担	教授	至力 正過 (61) 〈令和2年4月〉 Ph. D (英国)
		海外語学研修(英語) I 海外語学研修(英語) I 海外語学研修(英語) A
		海外語学研修(英語)B ヤマカワ カズ・ヒコ
		山川 和彦 (60) 〈令和2年4月〉 国際学修士
兼担	教授	観光文化概説 観光ホスピタリティ論
		観光フィールドワーク A 観光フィールドワーク B 観光デザイン論
		イノシタ カオリ 井下 佳織 (42)
		〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		健康科学 スポーツ・健康と社会
兼担	准教 授	スポーツ科学概論 スポーツの理論と実習 スポーツコンディショニング実
		習 スポーツ実習SA
		スポーツ実習 S B 救急処置法 レクリエーション理論と実習 I
		レクリエーション理論と実習Ⅱ
		ェシマ ケンイチ 江島 顕一 (38)
***	准教	〈令和2年4月〉 修士(教育学)※
兼担	授	現代社会と道徳科学A※ 道徳科学A
		道徳科学B 麗澤スタディーズ※ スポーツとモラル
		オオコシ トシュキ 大越 利之
		(42) 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
兼担	准教 授	Principles of Economics B 経済原論日
		Macroeconomics マクロ経済学
		中級マクロ経済学 Intermediate Macroeconomics
		オン リン 温 琳 (41)
兼担	准教 授	〈令和2年4月〉 博士(文学)
	<i>*</i>	中国語 I 中国語 I 中国語 II 中国語 IV
		カワクボ ツヨシ 川久保 剛
** !-	准教	(46) 〈令和2年4月〉 修士(国際文化)※
兼担	授	道徳科学A 道徳科学B
_		人間学 麗澤スタディーズ※
		コント・ウ アキヒト
	准教	近藤 明人 (44)
兼担	授	〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		ファミリービジネス論 サイトウ タカシ
		齋藤 貴志 (44) 〈令和2年4月〉
		修士(言語学)
	-24 T**	現代中国入門 A 現代中国入門 B <mark>中国語 I</mark>
兼担	准教 授	中国語工 中国語工 中国語IV
		中国語特別演習 A 中国語特別演習 B
		海外語学研修(中国語) I 海外語学研修(中国語) II 海外語学研修(中国語) A
		海外語学研修(中国語)B

専任・		氏 名
兼担・ 兼任		(年 齢)
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
		担当授業科目名
		サキ [*] サカ トモコ
		句坂 智子 (49)
	<i>`#</i> - ±/-	〈平成32年4月〉 博士(工学)
兼担	准教 授	
		PC実務演習
		情報技術活用 マルチメディア活用
		データ解析の基礎
		シュッテレ ホルカ゛— Schuetterle, Holger
		(46)
		〈平成32年4月〉 Magister Artium(ドイツ)
兼担	准教	
N/I	授	ドイツ語 I
		ドイツ語Ⅱ
		ドイツ語特別演習A
		スス [*] キ ダ イスケ 会本 大介
	准教	鈴木 大介 (45)
兼担	准教 授	〈平成32年4月〉 博士(経済学)
		会計学原理A
		会計学原理B
		セガワ マユミ 瀬川 真由美
		(56) 〈平成32年4月〉
		〈平成32年4月〉 文学修士
兼担	准教 授	
		海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) Ⅱ
		海外語学研修(ドイツ語) A
		海外語学研修(ドイツ語) B
		ハシモト トミタロウ
		橋本 富太郎
↑ 10	准教	(45) 〈平成32年4月〉
兼担	授	博士(神道学)
		道徳科学A 道徳科学B
		麗澤スタディーズ※
		ミヤシタ カス゛ヒロ 宮下 和大
		(47) 〈平成32年4月〉
		博士(文学)
兼担	准教 授	現代社会と道徳科学A※
	12	文化の多様性と価値ー道徳科学
		A - ※ 道徳科学 A
		道徳科学B 麗澤スタディーズ※
		ŧリ ユウシュン 森 勇俊
		(59) 〈平成32年4月〉
		〈平成32年4月〉 文学修士※
↑ 10	准教	韓国語 I
兼担	授	韓国語 II 韓国語 II
		韓国語Ⅳ
		韓国語特別演習 A 韓国語特別演習 B
		海外語学研修(韓国語) I 海外語学研修(韓国語) Ⅱ
		3シタ ケンイチロウ
		吉田 健一郎
		(42) 〈平成32年4月〉
		博士(経営情報学)
兼担	准教	マーケティング総論A
	授	マーケティング総論B
		経営情報 A 経営情報 B
		グローバルマーケティング 観光ホスピタリティ論
		情報リテラシー
		情報科学
		ヴルガリス ゲラシモス
	講師	Voulgaris, Gerasimos (35)
		〈平成32年4月〉 博士(地球環境科学)
兼担		
水担		Global Studies I Global Studies II
		English Communication I
		English Communication II English Communication III
		1

専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		 サキ* サカ トモコ ケード ヤコフ
		│
兼担	准教	博士(工学)
	授	情報リテラシー PC実務演習 情報技術活用
		マルチメディア活用 データ解析の基礎
		シュッテレ ホルカ゛- Schuetterle, Holger
		(46) 〈令和2年4月〉
** +0	准教	Magister Artium(ドイツ) ドイツ語 I
兼担	授	ドイツ語Ⅱ ドイツ語特別演習A 海外語学研修(ドイツ語)Ⅰ
		海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) A
		海外語学研修(ドイツ語) B
		スス [*] キ ダイスケ 鈴木 大介 (45)
兼担	准教 授	〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		会計学原理 A 会計学原理 B
		セガワ マユミ 瀬川 真由美
		(56) 〈令和2年4月〉 文学修士
兼担	准教 授	ドイツ語 I
	,	ドイツ語 II 海外語学研修(ドイツ語) I 海外語学研修(ドイツ語) II
		海外語学研修(ドイツ語)A 海外語学研修(ドイツ語)B
		// ハシモト トミタロウ 橋本 富太郎
* 15	准教	(45) 〈令和2年4月〉
兼担	授	博士(神道学) 道徳科学A
		道徳科学B 麗澤スタディーズ※
		ミヤシタ カス [*] ヒロ 宮下 和大 (47)
		〈令和2年4月〉 博士(文学)
兼担	准教 授	現代社会と道徳科学A※ 現代社会と道徳科学B※
		文化の多様性と価値-道徳科学 A-※
		道徳科学A 道徳科学B 麗澤スタディーズ※
		EU ユウシュン
		森 勇俊 (59) 〈令和2年4月〉
		文学修士※ 韓国語 I
兼担	准教 授	韓国語 II 韓国語 II
		韓国語IV 韓国語特別演習 A 韓国語特別演習 B
		^{異国語行別演省日} 海外語学研修(韓国語) I 海外語学研修(韓国語) II
		ヨシタ゛ ケンイチロウ
		吉田 健一郎 (42) 〈令和2年4月〉
		博士(経営情報学) マーケティング総論A
兼担	准教 授	マーケティング総論B 経営情報A
		経営情報 B グローバルマーケティング 観光ホスピタリティ論
		情報リテラシー 情報科学
		基本情報実務演習
		ウ゛ルカ゛リス ケ゛ラシモス Voulgaris, Gerasimos (35)
		〈令和2年4月〉 博士(地球環境科学)
兼担	講師	Global Studies I Global Studies II
		English Communication I English Communication II
		English Communication III English Communication IV

		_
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼担	講師	が リマルディ アレサンド ロ Grimaldi, Alessandro (31) 〈平成32年4月〉 Bachelor of Science in Commerce(米国) English Communication I English Communication II English Communication IV
兼担	講師	サンプ・・ジャヤ ラクシミ Samboo, Jaya Luxmi (40) 〈平成32年4月〉 M.A.(International Relations)(英国) Global Studies Ⅲ Global Studies Ⅳ English Communication Ⅱ English Communication Ⅲ English Communication Ⅳ
兼担	講師	スニース ロビン S. Sneath, Robin Neil S. (45) 〈平成32年4月〉 学士(History、European studies)(英国) English Communication II English Communication III English Communication IV
兼担	講師	ハ・カーブラットリー Barker, Bradley (39) 〈平成32年4月〉 M.A.(オーストラリア) English Communication Ⅲ English Communication Ⅳ 英語特別演習A 英語特別演習B
兼担	講師	バッハマイヤー エルウ・ィラ Bachmaier, Elvira (35) 〈平成32年4月〉 修士(日本学・ドイツ文学・社会 学)(ドイツ) ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I ドイツ語 I
兼担	講師	へ、ロブ・ロヴィ アンナ Belobrovy, Anna (41) 〈平成32年4月〉 M.A.(TESOL)(米国) English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV
兼担	講師	マクリーシュ ディ化デット McLeish, David (51) 〈平成32年4月〉 M.A.(Fine Arts)、 M.A.(Education)(米国) English Communication II English Communication IV Reading and Writing Workshop I Reading and Writing Workshop I
兼担	講師	ミッチェル コリン Mitchell, Colin (34) 〈平成32年4月〉 M.A.(Applied Linguistics and TESOL)(英国) English Communication I English Communication II English Communication II English Communication IV Reading and Writing Workshop II

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	が リマルディ アレサンド ロ Grimaldi, Alessandro (31) 〈令和2年4月〉 Bachelor of Science in Commerce(米国) English Communication I English Communication III English Communication IV Reading and Writing Workshop I Reading and Writing Workshop II
兼担	講師	ジ・ョンストン シェイマス Johnston, Seamus (38) 〈令和2年4月〉 M. A. (TESOL) (米国)
		English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV
兼担	講師	ハ・ッハマイヤー エルヴ・ィラ Bachmaier, Elvira (35) 〈令和2年4月〉 修士(日本学・ドイツ文学・社会 学)(ドイツ) ドイツ語 I ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅲ
		ドイツ語特別演習B
		マクリーシュ デイビッド McLeish, David (51) 〈令和2年4月〉 M.A.(Fine Arts)、 M.A.(Education)(米国)
兼担	講師	English Communication I English Communication II English Communication III English Communication IV Reading and Writing Workshop I Reading and Writing Workshop II

専任・ 兼担・		氏 名
兼任		(年 齢) <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		イケカ゛ワ マリア
		池川 真里亜 (33)
		〈平成32年4月〉 博士(学術)
兼担	助教	Statistics A Statistics B
		統計学A 統計学B
		入門計量経済学 ビッグデータ分析
		計量経済学 Econometrics
		ዕቶオ タイチ
		内尾 太一 (35)
兼担	助教	〈平成32年4月〉 博士(国際貢献)
		NPO/NGO論 短期海外研修 A
		短期海外研修B
		キュウ イーキ 邱 瑋琪
		(50) 〈平成32年4月〉
兼担	助教	博士(文学)
>11×3=	23.3%	中国語 I 中国語 II
		中国語取中国語取
		台湾語と東アジアの文化
		ナカツカ コス゛ェ 中司 梢
		(39) 〈平成32年4月〉
兼担	助教	博士(文学) 中国語 I
		中国語工中国語工
		中国語Ⅳ ハナタ゛タイへイ
		花田 太平 (38)
兼担	助教	〈平成32年4月〉 Ph.D.(English Studies)(英国)
		メディア社会論
		モーカ゛ン シ゛ェイソン M. Morgan, Jason M.
兼担	助教	(42) 〈平成32年4月〉
WIE	助教	PhD, History(米国)
		国際関係論
		ヨコタ リウ 株田・理学
		横田 理宇 (39) 〈平成32年4月〉
兼担	助教	博士(経営学)
		経営戦略論
		7+ヤマ マキコ
		秋山 まき子 (57)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		English Communication I
		English Communication II 757 FELD
		荒谷 友碩 (25)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 学士(文学)
		スポーツ実習S
		イイオ ジュン 4年 日 : 京
兼任	講師	飯尾淳 〈平成32年4月〉
-n×1±	HITHU!	博士(工学)
		AI ビジネス イケザキ シンヤ
		175 年 ソンヤ 池崎 真也 (48)
兼任	講師	(48) 〈平成32年4月〉 学士(文学)
		TOEFL A TOEFL B
		ן יטבו ב ט

#担			
## 担	専任・ 兼担・ 兼任		(年 齢) <就任(予定)年月>
#担 助教		職名	保有学位等
#担 助教			ፈታ ታ ላታ መጀመር የ
兼担 助数 Statistics A Statistics B Statis			(33) 〈令和2年4月〉
 ・ 株教	兼扫	助教	Statistics A
# 担	WIT.	功玖	統計学A 統計学B
#担 推教 授			ビッグデータ分析 計量経済学
#担			内尾 太一
#担 助教	兼担		〈令和2年4月〉
#担 助教		授	麗澤・地域連携実習※
#担 助教			短期海外研修B キュウ イーキ
#担 助教 中国語語 I 中国語語 I 中国語語 II 中国国語語 II 中国国語語 II 中国国語語 II 中国国语 II 中国国语語 II 中国国语语 II 中国国语语 II 中国国语语 II 中国国语语 II 中国国语语 II 中国国语语 Studies) (英国 メディア社会論 メディア社会論 メディア社会論 メディア社会論 A 1 日本			(50) 〈令和2年4月〉
#担 助教 中国語(内)	兼担	助教	中国語 I 中国語 II
#担 助教			中国語Ⅳ 中国語特別演習 A
#担 助教			ナカツカ コス゛ェ
#担 即教 中国語 I 中国語 I 中国語 II 中国语	本 中	₽₩₩	(39) 〈令和2年4月〉
#担	水担	可叙	中国語Ⅱ
#担			中国語IV ハナタ [*] タイヘイ
#担	兼担		(38) 〈令和2年4月〉
#担		130	メディア社会論
PhD, History(米国) PhD, History(米国) 国際関係論 Elly リュウシ森田 龍二 (43) (令和2年4月〉修士(経済学) 基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 F コック 横田 理字 (39) (令和2年4月〉博士(経営学) 様式(経営学) 様式(経営学)			Morgan, Jason M. (42)
#担 助教 基礎・学際演習 A 基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 C 基礎・学際演習 C 基礎・学際演習 C 基礎・学際演習 F まで・学際演習 F まで・学際演習 F まで・学際演習 F まで・学際演習 F まで・学際演習 F まで・学のでは、	兼担		PhD, History(米国)
#担 助教 基礎・学際演習 A 基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 C 基礎・学際演習 C 基礎・学際演習 F ヨコタ リウ横田 理字 (39) 〈令和2年4月〉博士(経営学) 経営戦略論 情報リテラシー			モリタ リュウシ
基礎・学際演習 B 基礎・学際演習 C 基礎・学際演習 C 基礎・学際演習 E 基礎・学際演習 F ヨコタ リウ 横田 理宇 (39) 〈令和2年4月〉博士(経営学) 経営戦略論 情報リテラシー			(43) 〈令和2年4月〉
基礎・学際演習 D 基礎・学際演習 F 基礎・学際演習 F 3コタリウ 横田 理宇 (39) 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 経営戦略論 情報リテラシー	兼担	助教	基礎・学際演習B
### まままでは、ままままでは、ままでは、まままでは、まままでは、まままでは、まままでは、ままではでは、ままではでは、ままではではではでは			基礎・学際演習 D 基礎・学際演習 E
兼担助教〈令和2年4月〉 博士(経営学)経営戦略論 情報リテラシー			3コタ リウ 横田 理宇
情報リテラシー	兼担	助教	〈令和2年4月〉
			情報リテラシー
[

専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	融夕	(年 齢) <就任(予定)年月>
[ادر ۵۷	職名	保有学位等
		担当授業科目名
		イシミッ トシアキ 石光 俊明
		(44) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	修士(大学アドミニストレーショ ン)
		基礎・学際演習A※
		基礎・学際演習C※ 基礎・学際演習E※
		イ ジョンミ 李 貞美
兼任	講師	(51) 〈平成32年4月〉
71141	HI TH'	修士(教育学)※ 韓国語 I
		韓国語Ⅱ
		イ ホンギョン 李 _. 憲卿
兼任	講師	(58) 〈平成32年4月〉
		博士(文学) 韓国語 I
		韓国語 II オカッカ テッヤ
		大塚 哲也 (35)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(法学)※
		民法
		オオヌマ ヒロヤス
44 (-++ 4	大沼 博靖 (52)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(体育学)※
		スポーツ実習S
		オルラント゛ ダビデ Orlando, Davide
		(49) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	修士(ドイツ)
		ドイツ語 I ドイツ語 Ⅱ
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
		カシ [*] タュキオ 梶田 幸雄
並に	講師	作の 辛雄 (65) 〈平成32年4月〉
兼任	神叫	法学博士
		労働法入門
	講師	カトウ 7キラ 加藤 朗
兼任		(68) 〈平成32年4月〉
		修士(政治学) 政治学 A
		政治学B カトウ スミエ
		加藤 澄恵 (53)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 Master of Education (英国)
.,,,,	er	TOEFL A TOEFL B
		Reading A Reading B
		カワハ・タ ケンシ゛
	=#- <i>t-</i>	川端 健嗣 (40) (双式22年4月)
兼任	講師	<平成32年4月> 修士(社会学)
		情報リテラシー
		カンリフ デイヴィッドJ Cunliffe, David John Dominic
		(54) 〈平成32年4月〉
		M.A.in Applied Linguistics(英 国)
兼任	講師	Dunimera Francisk
		Business English A Business English B
		Listening A Listening B
		Reading A Reading B
		クニハラ コウイチロウ
		國原 幸一朗 (53)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(教育学)※
		世界史概論 A 世界史概論 B
	l	ニットス・195.0間 ロ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
נית כס	明 也	担当授業科目名
		 イシミツ トシアキ 石光 俊明
兼任	講師	(44) (令和2年4月) 修士(大学アドミニストレーション)
ЖI	D4-3 Fulls	麗澤スピリットとキャリア 基礎・学際演習A※ 基礎・学際演習C※ 基礎・学際演習E※
		イリェ タマヨ 入江 珠代 (55)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 学士(法学)
		イタリアの言語と文化 イ ジョンミ
兼任	講師	李 貞美 (51) 〈令和2年4月〉 修士(教育学)※
		韓国語 I 韓国語 II
		イ ホンギョン 李 憲卿
兼任	講師	(58) 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		韓国語 I 韓国語 II
		オオツカ テツヤ 大塚 哲也 (35)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 修士(法学)※ 民法
		オオヌマ ヒロヤス
並に	=誰 台ェ	大沼 博靖 (52) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	修士 (体育学) ※ スポーツ実習 S A
		スポーツ実習SB オルランド ダビデ
		Orlando, Davide (49) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	修士(ドイツ) ドイツ語 I ドイツ語 I
		ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語特別演習A
		カシ [*] タュキオ 梶田 幸雄
兼任	講師	(65) 〈令和2年4月〉 法学博士
		労働法入門
		カワハ゛タ ケンシ゛
兼任	講師	川端 健嗣 (40) 〈令和2年4月〉
水江	神師	修士(社会学) 情報リテラシー
		情報技術活用 カンリフ デイヴィッドJ Cunliffe, David John Dominio
		(54) 〈令和2年4月〉 M.A. in Applied Linguistics(多
		国) English Communication I
兼任	講師	English Communication II English Communication II English Communication IV
		Business English A Business English B Listening A
		Listening B Reading A
		Reading B Writing A Writing B
		クニハラ コウイチロウ 國原 幸一朗
兼任	講師	(53) 〈令和2年4月〉 修士(教育学)※
_		世界史概論 A 世界史概論 B

専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
0,7,1,1	46X-11	保有学位等
		担当授業科目名
		コウ カン 耿 函
兼任	講師	(56) 〈平成32年4月〉
水江	바마	修士(国際学)
		中国語 I 中国語 II
		ュ゛ードン ピ−タ− Gordon, Peter Frederick
		(55) 〈平成32年4月〉
		トール32 44 月/ B. A. (英国)
兼任	講師	
		Writing A
		Writing B
		# <i>/</i> 77
		佐久間 裕秋 (66)
兼任	講師	〈平成34年4月〉 経済学士
		国際金融論
		EU経済社会論【隔年】 サクライ リョウシ゛ュ
		櫻井 良樹 (65)
兼任	講師	〈平成35年4月〉 博士(史学)
		日本史概論A
		日本史概論 B ササハラ ケン
		笹 原 健 (47)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 修士(文学)※
		情報リテラシー
		シェー スティーフ゛ン R.
		Shea, Steven Russell (50)
		〈平成32年4月〉 Bachelor of
兼任	講師	Arts(Sociology)(米国)
		English Communication I English Communication I
		Engitsi communication ii
		シミス゛ テツロウ 清水 哲郎
兼任	講師	(62) 〈平成32年4月〉
		文学士
		情報技術活用
		タク [*] チ ヒロユキ
		田口 博之 (61)
兼任	講師	〈平成32年4月〉 博士(学術)
		Japanese Economy and Policy
		チョン シチュン 丁 時春
¥ /-	<u>=</u> # 4~	」 時春 (41) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	修士(文学)※
		韓国語 I 韓国語 II
		ナカハタ クニオ 中畑 邦夫
¥ 1-	<u>=</u> # 4~	中畑 邦大 (48) 〈平成32年4月〉
兼任	講師	博士(哲学)
		哲学概論 A 哲学概論 B

専任・ 兼担・		氏 名 (年 齢)
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	190 🚨	担当授業科目名
		コウ カン 耿 函
	-#- / -	(56) (令和2年4月>
兼任	講師	修士(国際学)
		中国語 I 中国語 II
		コ [*] ードン ピーター Gordon, Peter Frederick
		(55) 〈令和2年4月〉 B. A. (英国)
		English Communication I
兼任	講師	English Communication II English Communication III
		English Communication IV Listening A
		Listening B Writing A Writing B
		サイトウ マサキ 齋藤 正樹 (45)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 修士(工学)、修士(文学)※
		ドイツ語 I
		サクマ ヒロアキ 佐久間 裕秋
兼任	講師	(66) 〈令和4年4月〉
水江	ᅄᅲᇚ	経済学士 国際金融論
		EU経済社会論【隔年】
		櫻井 良樹 (65)
兼任	講師	〈令和5年4月〉 博士(史学)
		 日本史概論 A 日本史概論 B
		The American
		シェー スティーフ゛ン R.
		Shea, Steven Russell (50)
***		〈令和2年4月〉 Bachelor of
兼任	講師	Arts(Sociology)(米国) English Communication I
		English Communication II English Communication III
		English Communication IV シミズ゛ テツロウ
		清水 哲郎 (62)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 文学士
		情報技術活用
		シュテーガー クリスティアン Steger, Christian
並に	会体が生	(36) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	修士(日本学、ドイツ文学、ド イツ語教育学)
		ドイツ語 I ドイツ語 II
		ソウ タケシ 宗 健
兼任	講師	(54) 〈令和2年4月〉 博士(社会工学)
		コンピュータ科学
		統計学入門
		田口 博之 (61) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	〈令和2年4月〉 博士(学術)
		Japanese Economy and Policy
		チョン シチュン 丁 時春 (41)
兼任	講師	(41) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※
		韓国語 I
		韓国語Ⅱ ナかパタ クニオ
		中畑 邦夫 (48) (令和2年4月>
兼任	講師	博士(哲学)
		哲学概論 A 哲学概論 B
		ナカミチ ヨシヒコ 中道 嘉彦 (67)
兼任	講師	〈令和2年4月〉 教育学修士※
		麗澤スタディーズ※
		<u> </u>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	けれまり ケンサク 中本 健作 (63) 〈平成32年4月〉 学士(文学) 情報リテラシー 情報科学
兼任	講師	ニシ /ブコ 西 暢子 (45) 〈平成32年4月〉 修士(文学)※ 中国語 I 中国語 I
兼任	講師	ニシカワ ヨシカツ 西川 佳克 (54) 〈平成32年4月〉 修士(体育学) スポーツ実習S
兼任	講師	ヒがチ7キ 樋口有記 (38) 〈平成32年4月〉 Bachelor of Arts specialized in Chinese Studies, International Business(オース トラリア) Writing A Writing B
兼任	講師	フーパート・/ウェン、A Hooper, Donevan Antonio (56) 〈平成32年4月〉 M. A. TEFL/TESL(英国) English Communication I English Communication II Reading A Reading B Writing A
兼任	講師	7クダ ダイジ 福田 大治 (53) 〈平成32年4月〉 修士(地域研究) スペイン語と文化
兼任	講師	プピッグミアン Poupi, Damien Georges Arnaud (45) 〈平成32年4月〉 学士(文学)
兼任	講師	71% リッ 冬月 律 (40) 〈平成32年4月〉 修士(宗教学)※ 道徳科学A 道徳科学B
兼任	講師	#Jウチ マサヒコ 堀内 正彦 (50) 〈平成32年4月〉 修士(心理学)※
兼任	講師	マハルザン ラビ Maharjan, Ravi (37) 〈平成32年4月〉 博士(英語学) English Communication I English Communication I Listening A Listening B
兼任	講師	ヤマザキ アヤ 山﨑 彩 (44) 〈平成32年4月〉 博士(文学) イタリアの言語と文化
兼任	講師	34/ 15 米井 由美 (34) 〈平成32年4月〉 修士(文学)※ 中国語 I 中国語 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		ニシ /ブコ 西 暢子
兼任	講師	(45) 〈令和2年4月〉 修士(文学)※
		中国語 I 中国語 I
		ニシカワ ヨシカツ 西川 佳克
兼任	講師	(54) 〈令和2年4月〉 修士(体育学)
		スポーツ実習SA スポーツ実習SB
		フクタ゛ タ゛イジ
		福田 大治 (53) 〈令和2年4月〉
兼任	講師	修士(地域研究)
		スペイン語と文化
兼任	講師	Poupi, Damien Georges Arnauc (45) 〈令和2年4月〉
жц	마다	学士(文学)
		フュッキ リッ 冬月 律
兼任	講師	(40) 〈令和2年4月〉
		修士(宗教学)※ 道徳科学A
		道徳科学B ポリウチ マサヒコ 堀内 正彦
兼任	講師	(50) 〈令和2年4月〉 修士(心理学)※
		心理学
		マハルサ゛ン ラヒ゛ Maharjan, Ravi
		(37) 〈令和2年4月〉 博士(英語学)
兼任	講師	English Communication I English Communication II
		Listening A Listening B Reading A
		Reading B Writing A Writing B
		military D
		<u> </u>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		ラフピーター アルバート Luff,Peter Albert (65) 〈平成32年4月〉 D.Phil.(英国)
兼任	講師	Philosophy and Economic Behavior Cultural Studies A Cultural Studies B Japan Studies A Japan Studies B
兼任	講師	リュウ コウセキ 劉 光赤 (64) 〈平成32年4月〉 文学士(中国)
		中国語 I 中国語 II

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	ラフピーター アルバート Luff, Peter Albert (65) 〈令和2年4月〉 D. Phil. (英国) Philosophy and Economic Behavior Japan Studies A Japan Studies B Cultural Studies A Cultural Studies B English Communication I English Communication II English Communication II English Communication II English Communication IV Business English A Business English B
兼任	講師	リコウコク 李 鴻谷 (68) 〈令和2年4月〉 修士(文学) 中国語 I 中国語 II

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任, 兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - その上で、<mark>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。</mark>
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、 **それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - · 令和元年 5 月 1 日 公表

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

```
大場 裕之教授において、担当科目の見直しにより、科目削除
徳永 澄憲教授において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
永田 雅啓教授において、担当科目の見直しにより、科目削除
中野 千秋教授において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
中村 昭裕教授において、新しく科目を担当することになり新規採用就任
堀内 一史教授において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
熊野 留理子准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
篠藤 涼子准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
陳 玉雄准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
┃山下 美樹教授において、准教授から教授に昇格および担当科目の見直しにより、科目追加および削除
内藤 知加恵助教において、新しく科目を担当することになり新規採用就任
藤野 真也助教において、担当科目の見直しにより、科目追加および削除
大塚 秀治(兼担)教授において、退職により就任辞退
大野 正英(兼担)教授において、所属学部の都合により、科目削除
小野 宏哉(兼担)教授において、所属学部の都合により、科目削除
籠 義樹(兼担)教授において、担当科目の名称変更およびオムニバスによる開講の追加
上村 昌司(兼担)教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
|川上 和久(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
櫻井 良樹(兼担)教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
【佐藤 仁志(兼担)教授において、死亡により就任辞退
|清水 麗(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
清水 千弘(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
髙辻 秀興(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
豊嶋 建広(兼担)教授において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
|中川 敏彰(兼担)教授において、担当科目の名称変更
松田 徹(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任
井下 佳織(兼担)准教授において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
草本 晶(兼担)准教授において、所属学部の都合により、就任辞退
齋藤 貴志(兼担)准教授において、所属学部の都合により、科目削除
|Schuetter|e, Ho|ger(兼担)准教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
|瀬川 真由美(兼担)准教授において、所属学部の都合により、科目追加および削除
宮下 和大(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
吉田 健一郎(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加
Voulgaris, Gerasimos(兼担)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
|Grimaldi, Alessandro(兼担)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
Samboo, Jaya Luxmi(兼担)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Johnston, Seamus(兼担)講師において、新しく科目を担当することになり就任
Sneath, Robin Neil S.(兼担)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Barker, Bradley(兼担)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Belobrovy, Anna(兼担)講師において、退職により就任辞退
McLeish, David(兼担)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
Mitchell, Colin(兼担)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
|内尾||太一(兼担)准教授において、助教から准教授に昇格および担当科目の見直しにより、科目追加
邱 瑋琪(兼担)助教において、担当科目の見直しにより、科目追加
|花田 太平(兼担)准教授において、助教から准教授に昇格
Morgan, Jason M. (兼担)准教授において、誤記により助教から准教授に修正
森田 龍二(兼担)助教において、新しく科目を担当することになり就任
横田 理宇(兼担)助教において、担当科目の見直しにより、科目追加
||秋山 まき子(兼任)講師において、退職により就任辞退
|荒谷 友碩(兼任)講師において、退職により就任辞退
|飯尾 淳(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
池崎 真也(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
石光 俊明(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加
入江 珠代(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
大沼 博靖(兼任)講師において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
Orlando, Davide(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加
加藤 朗(兼任)講師において、退職により就任辞退
加藤 澄恵(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
川端 健嗣(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
Cunliffe. David John Dominic(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
Gordon, Peter Frederick(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加
齋藤 正樹(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
笹原 健(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Shea, Steven Russell(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加
Steger. Christian(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
宗 健(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
中道 嘉彦(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
中本 健作(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
|西川 佳克(兼任)講師において、担当科目の名称変更および新規科目の追加
|樋口有記(兼任)講師において、退職により就任辞退
Hooper, Donevan Antonio(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
Maharjan, Ravi(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加および削除
山﨑 彩(兼任)講師において、退職により就任辞退
|米井 由美(兼任)講師において、退職により就任辞退
Luff,Peter Albert(兼任)講師において、所属学部の都合により、科目追加
|李 鴻谷(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任
劉 光赤(兼任)講師において、所属学部の都合により、就任辞退
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - · **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。<u>AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。</u>
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況							
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')		
6	6	0	2	14	0	10	4	0	2	16	0		
(10)	(4)	(0)	(2)	(16)	(0)								
	現在(報告時)の	完成年度時	の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画							
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')		
7	4	0	2	13	0	7	4	0	2	13	0		
[1]	[△2]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[2]	[△2]	[0]	[0]	[△1]	[0]		

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・<u>「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、</u> <u>完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入</u>するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	2
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')
$$=$$
 0 $=$ #DIV/0! % 20 $=$ 2 $=$ 2 $=$ 2 $=$ 2 $=$ 4 $=$ 5 $=$ 4 $=$ 6 $=$ 4 $=$ 6 $=$ 4 $=$ 6 $=$ 6 $=$ 6 $=$ 6 $=$ 7 $=$ 9 $=$ 9 $=$ 8 $=$ 7 $=$ 9

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目		後任	補充状況	兄	京	忧任辞退	(未	就任)の理Ⅰ	由	
1			該当なし														
2																	
			合計	(D)							後	· 经任補充状況	の集計	(E))		
疗	就任	を辞	退した教員数	担当科目	関数の合計	· (a)	+ (b) + (c)	1	の合計	·数(a)		②の合計	十数(b)		③の合計	数(c))
				必	修		科目	必	修		科目	必修		科目	必修		科目
				選	択		科目	選	፤ 択		科目	選択		科目	選択		科目
		0	人	自	由		科目	自	由		科目	自由		科目	自由		科目
					†	0	科目	Ī	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目		後任	補充状況	況 辞任等の理由						
1			該当なし														
2																	
			合計	(F)							後	经任補充状況	の集計(G)			
	辞	任し	した教員数	担当科目	目数の合計	(a)	+ (b) + (c)	1)0	の合計	数(a)		②の合計	数(b)		③の合計	数(c)
				必	修		科目	必作	修		科目	必修		科目	必修		科目
				選	択		科目	選扎	択		科目	選択		科目	選択		科目
		0	人	自	由		科目	自日	由		科目	自由		科目	自由		科目
				į	H	0	科目	計	t I	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)		後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計					
		必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
0	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	0 _	_	0	04
(2)-②設置時の計画(A)	_	14	_	U	90

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況			辞任等の	理由	
1			該当なし										
2													
			4	計						後任補充物	犬況の集計		
	話	辞任し	ンた教員数	担当科目数の合詞	† (a) + (l	b) + (c)	①の合計	·数(a)		②の合計	十数(b)	③の合計	·数 (c)
				必修		科目	必修		科目	必修	科目	必修	科目
		•		選択		科目	選択		科目	選択	科目	選択	科目
		0	Α	自由		科目	自由		科目	自由	科目	自由	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認可時(令和2年)	経済学部経営学科の入 学定員超過の是正に努 めること。	遵守事項	経営学科の昨年度入学定員 超過率が1.26倍だったが、 今年度は1.24倍に是正し た。	履行中	入学定員の是正に引き続き 努めていく。
認可時(令和2年)	完成年度のは、	遵守事項	本学専任教員の定年は65 歳、嘱託専任教員は70歳ま でである。経済学・経営学 の学問領域で30代から40代 の専任教員2名を令和2年4月 に採用予定であったが、40 代教員1名(助教)を新規採 用した。	履行中	年齢構成及び学問領域を考慮しながら採用していく。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 グローバルビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

全学的な組織としてファカルティディベロップメント(FD)委員会を設置し、研究科(大学院)の代表も委員として委嘱し、全学的な取り組みとして実施している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

<2019年度>

第1回:6月13日(木) 教員12名中10名参加 第2回:12月12(木) 教員12名中10名参加

c 委員会の審議事項等

<2019年度>

第1回:授業評価アンケートの件

第2回:2019年度第2学期授業評価アンケートにおける記名の件、2020年度以降の授業評価アンケートの件

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ①アクティブラーニングの基礎と実践(授業方法について研究会)
 - ②新任教員研修会
 - b 実施方法
 - ①外部講師を招き、実際にアクティブラーニングを取り入れ、実践的にFDを実施した。
 - ②学内にて集合型の研修を行った。
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)

①第1回:7月11日(木)45名参加 第2回:9月11日(水)35名参加 第3回:11月7日(火)35名参加 ②9月11日(火)新任教員4名、大学執行部3名、事務局1名参加

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ①各授業へのアクティブラーニング取り組みに向け、各専攻及び教員が授業計画及びシラバス作成を行ってい
- る。 ②建学の理念や教育目的に関する理解を深め、麗澤大学の一員としての自覚を深めた。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・授業評価アンケート:1学期(7月11日(木)~7月24日(水))、 2学期(1月6日(月)~1月20日(月))に行った。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・集計結果を該当教員にフィードバックし、必要な回答を求めた。その結果は、図書館で閲覧可能にした。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・本学部設置の趣旨・目的およびその教育内容を入試要項、ホームページ等で分かりやすく紹介した。 入学者選抜の段階から、提出された書類の審査や口頭試問を実施することによって、学部で の学習に適合しているかどうかをより明確に審査した。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・自己点検・評価の結果は『麗澤大学年報』に取りまとめ、令和2年7月末 公表(予定)
 - b 公表方法
 - ・大学ウェブサイト上に公開予定(令和2年7月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・2014年度に大学機関別認証評価を受け、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」 と認定された。次回認証評価は、2021年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和2年度)	
a 公表予定の有無 〔 有 · 無 〕	
≪aで「有」の場合≫	
b 公表(予定)時期 〔< <u>調査結果公表後1ヶ月以内</u> ・ 公表後2~3ヶ月以内 · 公表後3ヶ月以降)
c 公表方法 [つ	1
O ASSIMA COLONIA	,
≪aで公表「無」の場合≫	
d 公表しない理由 〔)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

麗澤大学委員会規程

昭和62年4月1日制定令和元年6月13日最近改正

(目的)

第1条 この規程は、麗澤大学学則第13条第2項の規定に基づき、本学に設置する委員会に関する総括的事項について定めることを目的とする。

(委員会の種類)

第2条 本学に設置する常設の委員会は、次のとおりとする。

- (1) 学生委員会
- (2) 自己点検委員会
- (3) FD 委員会
- (4) 入学試験委員会
- (5) 教員倫理委員会
- (6) 紀要編集委員会
- (7) 寮教育委員会
- 2 臨時の委員会は、必要に応じ学長が設置するものとする。

(任務・業務)

第3条 委員会は、学長の諮問に答えるとともに、必要事項の立案及び実施に当たる。

2 委員会の業務は、本学の中期計画及び当該年度の事業計画に基づき、毎年度当初に確認する。

(構成・委嘱・任期)

第4条 委員会は、委員長並びに委員をもって構成する。ただし、必要に応じて副委員長を置くことができる。

- 2 委員長、副委員長及び委員は、学長がこれを委嘱する。
- 3 委員長、副委員長及び委員の任期は1年とし、毎年4月1日付けで委嘱する。ただし、 再任を妨げない。

(委員長・副委員長)

第5条 委員長は、委員会を主宰するとともに、学長の諮問事項について、答申及び報告の 義務を負う。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第6条 削除

第7条 削除

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、大学事務局教育研究支援グループが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学執行部会議の意見を聴取した後、学長がこれを定める。

附則

- 1 この規程は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成2年4月1日から改定施行する。
- 3 この規程は、平成4年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、次の規程は、廃止する。
 - (1) 運営会議規程(昭和 62 年 4 月 1 日施行)
 - (2) 企画常任委員会規程(昭和62年4月1日施行)
 - (3) 規程委員会規程(昭和62年4月1日施行)
 - (4) 留学生制度検討委員会規程(平成2年4月1日施行)
- 4 この規程は、平成5年4月1日から改定施行する。
- 5 この規程は、平成6年4月1日から改定施行する。
- 6 この規程は、平成6年7月16日から改定施行する。
- 7 この規程は、平成7年4月1日から改定施行する。
- 8 この規程は、平成9年4月1日から改定施行する。
- 9 この規程は、平成12年4月1日から改定施行する。
- 10 この規程は、平成14年4月1日から改定施行する。
- 11 この規程は、平成 15年 10月1日から改定施行する。
- 12 この規程は、平成16年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学同和教育推進委員会規程、麗澤大学安全衛生委員会規程及び麗澤大学奨学生委員会規程は廃止する。
- 13 この規程は、平成16年6月1日から改定施行する。
- 14 この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学特別教育活動委員会細則は、廃止する。
- 15 この規程は、平成18年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学図書館委員会細則、麗澤大学紀要等編集委員会 細則、麗澤大学就職指導委員会細則、麗澤大学入試制度検討委員会細則及び麗澤大学麗澤教 育編集委員会細則は、廃止する。

- 16 この規程は、平成20年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の道徳科学教育委員会細則は、廃止する。
- 17 この規程は、平成22年4月1日から改定施行する。
- 18 この規程は、平成23年4月1日から改定施行する。
- 19 この規程は、平成24年4月1日から改定施行する。
- 20 この規程は、平成25年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学 I-Lounge 委員会細則は、廃止する。
- 21 この規程は、平成27年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学広報戦略委員会細則、麗澤大学ホームカミング デイ委員会細則、麗澤大学社会的責任推進委員会細則、麗澤大学寮教育委員会細則及び麗澤 大学出版会運営委員会細則は、廃止する。
- 22 この規程は、平成29年4月1日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学教職課程委員会細則は、廃止する。
- 23 この規程は、平成30年4月1日から改定施行する。
- 24 この規程は、平成30年10月1日から改定施行する。
- 25 この規程は、令和元年6月13日から改定施行する。
- この規程の改定施行に伴い、従前の麗澤大学学生委員会細則、麗澤大学自己点検委員会細則、 麗澤大学教育課程委員会細則、麗澤大学 FD 委員会細則、麗澤大学入学試験委員会細則、麗 澤大学教員倫理委員会細則、麗澤大学紀要編集委員会細則、麗澤大学留学・国際交流委員会 細則及び麗澤大学寮教育委員会細則は廃止する。